

# 令和 8 年 度 当 初 予 算 資 料

1	会計別予算	P	3
2	一般会計歳入歳出予算（歳入）	P	4
3	歳入の主な増減	P	5
4	一般会計歳入歳出予算（歳出）	P	6
5	歳出の主な増減	P	7
6	歳出予算款別財源内訳表	P	8
7	歳出予算性質別目的別分類表	P	10
8	一般会計当初予算の推移	P	12
9	税等収入予算資料	P	14
10	市税等の推移（決算ベース）	P	16
11	地方債年度末現在高の推移	P	18
12	一般会計歳出予算（部局別）	P	20
13	各部局当初予算説明資料	P	21
	危機管理統括部	P	21
	政策推進部	P	29
	総務部	P	41
	財政経営部	P	53
	市民生活部	P	59
	健康福祉部	P	67
	こども未来部	P	85
	シティプロモーション部	P	98
	商工農水部	P	116
	環境部	P	133
	都市整備部	P	143
	会計管理課	P	162
	議会事務局	P	163
	監査事務局	P	166
	教育委員会	P	167
	消防本部	P	180
	上下水道局	P	185
	市立四日市病院	P	197
14	行政のデジタル化関連事業について	P	203
15	中期財政収支見通し総括表（一般会計）	P	205



# 令和8年度会計別予算

(単位 千円)

区 分		令和8年度 予算額(A)	令和7年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) — × 100(%) (B)
会 計 名					
一 般 会 計		152,230,000	145,320,000	6,910,000	104.8
特 別 会 計	競 輪 事 業	36,624,000	33,135,000	3,489,000	110.5
	国 民 健 康 保 険	24,136,000	25,988,000	△ 1,852,000	92.9
	食 肉 セ ン タ ー 食 肉 市 場	1,013,000	970,000	43,000	104.4
	土 地 区 画 整 理 事 業	68,000	59,000	9,000	115.3
	介 護 保 険	24,996,000	23,989,000	1,007,000	104.2
	後 期 高 齢 者 医 療	8,935,000	8,422,000	513,000	106.1
	計	95,772,000	92,563,000	3,209,000	103.5
公 会 営 企 業 計	水 道 事 業	12,647,825	13,519,336	△ 871,511	93.6
	市 立 四 日 市 病 院 事 業	32,096,596	31,083,964	1,012,632	103.3
	下 水 道 事 業	34,032,091	30,737,358	3,294,733	110.7
	農 業 集 落 排 水 事 業	540,197	550,346	△ 10,149	98.2
	計	79,316,709	75,891,004	3,425,705	104.5
桜 財 産 区		46,000	50,900	△ 4,900	90.4
合 計		327,364,709	313,824,904	13,539,805	104.3

## 令和8年度一般会計歳入歳出予算（歳入）

(単位 千円, %)

区 分 款 別	令和8年度 予算額(A)	令和7年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) —— × 100(%) (B)	構成比率 (%)	
					令和8年度	令和7年度
① 市 税	74,971,970	72,219,101	2,752,869	103.8	49.3	49.7
2. 地 方 譲 与 税	1,281,065	1,282,995	△ 1,930	99.8	0.8	0.9
3. 利 子 割 交 付 金	120,000	25,000	95,000	480.0	0.1	0.0
4. 配 当 割 交 付 金	591,000	410,000	181,000	144.1	0.4	0.3
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	819,000	400,000	419,000	204.8	0.5	0.3
6. 法 人 事 業 税 交 付 金	1,187,000	1,108,000	79,000	107.1	0.8	0.8
7. 地 方 消 費 税 交 付 金	8,989,000	8,660,000	329,000	103.8	5.9	6.0
8. ゴルフ場利用税交付金	90,000	80,000	10,000	112.5	0.1	0.1
9. 自動車取得税交付金	1	1	0	100.0	0.0	0.0
10. 環境性能割交付金	1	190,000	△ 189,999	0.0	0.0	0.1
11. 地方特例交付金	588,347	363,239	225,108	162.0	0.4	0.2
12. 地 方 交 付 税	466,000	487,000	△ 21,000	95.7	0.3	0.3
うち普通交付税	0	0	0	—	(0.0)	(0.0)
13. 交通安全対策特別交付金	27,900	31,740	△ 3,840	87.9	0.0	0.0
⑭ 分 担 金 及 び 負 担 金	522,460	508,148	14,312	102.8	0.3	0.3
⑮ 使 用 料 及 び 手 数 料	1,886,488	1,879,061	7,427	100.4	1.2	1.3
16. 国 庫 支 出 金	25,799,802	24,250,398	1,549,404	106.4	17.0	16.7
17. 県 支 出 金	10,664,401	9,418,975	1,245,426	113.2	7.0	6.5
⑯ 財 産 収 入	1,279,392	2,512,743	△ 1,233,351	50.9	0.8	1.7
⑰ 寄 附 金	1,012,601	806,601	206,000	125.5	0.7	0.6
⑱ 繰 入 金	3,049,950	3,955,708	△ 905,758	77.1	2.0	2.7
⑲ 繰 越 金	150,946	150,280	666	100.4	0.1	0.1
⑳ 諸 収 入	6,484,576	7,258,110	△ 773,534	89.3	4.3	5.0
23. 市 債	12,248,100	9,322,900	2,925,200	131.4	8.0	6.4
うち臨時財政対策債	0	0	0	—	(0.0)	(0.0)
歳 入 合 計	152,230,000	145,320,000	6,910,000	104.8	100.0	100.0

○付数字は自主財源

【款別の主な増減(歳入)】		(単位:千円)		
	令和7年度予算額	令和8年度予算額	増減	
<b>市税</b>	<b>72,219,101</b>	<b>74,971,970</b>	<b>2,752,869</b>	
固定資産税(償却資産)	15,925,700	⇒ 17,200,900 (	1,275,200)	
個人市民税	21,579,700	⇒ 22,347,700 (	768,000)	
法人市民税	5,245,000	⇒ 5,652,900 (	407,900)	
<b>株式等譲渡所得割交付金</b>	<b>400,000</b>	<b>819,000</b>	<b>419,000</b>	
株式等譲渡所得割交付金	400,000	⇒ 819,000 (	419,000)	
<b>地方消費税交付金</b>	<b>8,660,000</b>	<b>8,989,000</b>	<b>329,000</b>	
地方消費税交付金	8,660,000	⇒ 8,989,000 (	329,000)	
<b>環境性能割交付金</b>	<b>190,000</b>	<b>1</b>	<b>△189,999</b>	
環境性能割交付金	190,000	⇒ 1 (	△189,999)	
<b>地方特例交付金</b>	<b>363,239</b>	<b>588,347</b>	<b>225,108</b>	
地方特例交付金	343,764	⇒ 586,500 (	242,736)	
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	19,475	⇒ 1,847 (	△17,628)	
<b>使用料及び手数料</b>	<b>1,879,061</b>	<b>1,886,488</b>	<b>7,427</b>	
霊園使用料	31,607	⇒ 74,906 (	43,299)	
市営住宅使用料	349,039	⇒ 329,770 (	△19,269)	
<b>国庫支出金</b>	<b>24,250,398</b>	<b>25,799,802</b>	<b>1,549,404</b>	
循環型社会形成推進交付金	27,006	⇒ 460,232 (	433,226)	
地域未来交付金(地域未来推進型)	0	⇒ 411,071 (	411,071)	
保育所事務費事業費負担金	1,956,401	⇒ 2,324,716 (	368,315)	
障害者自立支援給付費負担金	3,635,570	⇒ 3,956,984 (	321,414)	
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	0	⇒ 229,390 (	229,390)	
学校施設環境改善交付金	132,635	⇒ 325,000 (	192,365)	
デジタル基盤改革支援補助金	596,470	⇒ 18,882 (	△577,588)	
<b>県支出金</b>	<b>9,418,975</b>	<b>10,664,401</b>	<b>1,245,426</b>	
給食費負担軽減交付金	0	⇒ 801,280 (	801,280)	
障害者自立支援給付費負担金	1,817,784	⇒ 1,978,491 (	160,707)	
保育所事務費事業費負担金	885,363	⇒ 1,022,073 (	136,710)	
地域スポーツクラブ活動体制整備事業委託金	31,258	⇒ 134,251 (	102,993)	
基幹統計調査費委託金	168,716	⇒ 13,562 (	△155,154)	
<b>財産収入</b>	<b>2,512,743</b>	<b>1,279,392</b>	<b>△1,233,351</b>	
物品売払収入(学校給食)	1,257,496	⇒ 568,965 (	△688,531)	
市有地売払収入	785,746	⇒ 18,174 (	△767,572)	
<b>寄附金</b>	<b>806,601</b>	<b>1,012,601</b>	<b>206,000</b>	
ふるさと応援寄附金	801,000	⇒ 1,000,000 (	199,000)	
<b>繰入金</b>	<b>3,955,708</b>	<b>3,049,950</b>	<b>△905,758</b>	
財政調整基金繰入金	1,637,000	⇒ 689,000 (	△948,000)	
<b>諸収入</b>	<b>7,258,110</b>	<b>6,484,576</b>	<b>△773,534</b>	
都市再生協議会受託費	841,900	⇒ 1,210,433 (	368,533)	
消防指令センター共同運用整備負担金	1,071,816	⇒ 35,147 (	△1,036,669)	
<b>市債</b>	<b>9,322,900</b>	<b>12,248,100</b>	<b>2,925,200</b>	
文化会館整備事業資金	165,800	⇒ 1,928,800 (	1,763,000)	
河川改良事業資金	1,174,200	⇒ 2,551,300 (	1,377,100)	
街路築造事業資金	1,371,600	⇒ 2,564,000 (	1,192,400)	
ごみ処理施設整備事業資金	41,600	⇒ 825,900 (	784,300)	
消防施設設備整備事業資金	1,481,700	⇒ 255,500 (	△1,226,200)	
社会体育施設整備事業資金	2,000,800	⇒ 165,000 (	△1,835,800)	

## 令和8年度一般会計歳入歳出予算（歳出）

(単位 千円, %)

区 分  款 別	令和8年度 予算額(A)	令和7年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) —— × 100% (B)	構成比率 (%)	
					令和8年度	令和7年度
1. 議 会 費	669,489	661,822	7,667	101.2	0.4	0.4
2. 総 務 費	19,077,577	19,016,724	60,853	100.3	12.5	13.1
3. 民 生 費	59,200,811	56,041,241	3,159,570	105.6	38.9	38.6
4. 衛 生 費	14,708,653	13,614,903	1,093,750	108.0	9.7	9.4
5. 労 働 費	118,264	61,544	56,720	192.2	0.1	0.0
6. 農林水産業費	2,145,548	2,031,780	113,768	105.6	1.4	1.4
7. 商 工 費	4,101,480	4,099,051	2,429	100.1	2.7	2.8
8. 土 木 費	27,808,052	24,401,925	3,406,127	114.0	18.3	16.8
9. 消 防 費	4,977,858	7,209,811	△ 2,231,953	69.0	3.3	5.0
10. 教 育 費	14,974,315	13,732,594	1,241,721	109.0	9.8	9.4
11. 公 債 費	4,297,953	4,298,605	△ 652	100.0	2.8	3.0
12. 予 備 費	150,000	150,000	0	100.0	0.1	0.1
歳 出 合 計	152,230,000	145,320,000	6,910,000	104.8	100.0	100.0

※構成比は四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

【款別の主な増減(歳出)】

(単位:千円)

	令和7年度予算額	令和8年度予算額	増減
<b>総務費</b>	<b>19,016,724</b>	<b>19,077,577</b>	<b>60,853</b>
公共施設アセットマネジメント事業費(文化会館)	182,400 ⇒	1,941,900 (	1,759,500)
知と交流の拠点施設整備事業費(新図書館等拠点施設整備)	34,700 ⇒	305,100 (	270,400)
大学等拠点施設整備事業費	0 ⇒	240,500 (	240,500)
一般職退職手当	579,360 ⇒	776,523 (	197,163)
文化会館等施設整備事業費	0 ⇒	149,454 (	149,454)
一般職給(一般管理費)	2,934,555 ⇒	3,047,191 (	112,636)
霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費(推進計画)	1,041,900 ⇒	148,471 (	△ 893,429)
その他運動施設整備事業費(三滝武道館空調設備整備設計等)	1,683,595 ⇒	4,100 (	△ 1,679,495)
<b>民生費</b>	<b>56,041,241</b>	<b>59,200,811</b>	<b>3,159,570</b>
保育所事務費事業費(児童一般分)	4,053,211 ⇒	4,739,563 (	686,352)
介護保険特別会計繰出金	3,756,314 ⇒	4,215,063 (	458,749)
民間保育所等整備事業費	266,244 ⇒	520,640 (	254,396)
就労継続支援事業費	1,480,000 ⇒	1,715,000 (	235,000)
共同生活援助事業費	1,121,000 ⇒	1,353,000 (	232,000)
一般職給(保育士等)	2,365,488 ⇒	2,575,891 (	210,403)
地域型保育事業費	1,032,368 ⇒	1,180,708 (	148,340)
幼稚園事務費事業費(児童一般分)	1,072,323 ⇒	1,213,303 (	140,980)
学童保育事業費	928,804 ⇒	1,067,734 (	138,930)
保育所事務費事業費(市単民間施設加算分)	398,563 ⇒	506,159 (	107,596)
後期高齢者医療特別会計繰出金	3,333,325 ⇒	3,434,428 (	101,103)
扶助費(生活保護費)	6,635,000 ⇒	6,496,930 (	△ 138,070)
<b>衛生費</b>	<b>13,614,903</b>	<b>14,708,653</b>	<b>1,093,750</b>
清掃施設整備事業費	81,020 ⇒	1,385,387 (	1,304,367)
病院事業繰出金(負担金)	1,633,189 ⇒	2,527,133 (	893,944)
北大谷斎場火葬炉整備事業費	0 ⇒	300,300 (	300,300)
予防接種事業費	846,196 ⇒	763,706 (	△ 82,490)
高齢者新型コロナウイルスワクチン事業費	154,471 ⇒	56,932 (	△ 97,539)
清掃工場管理運営費	1,921,530 ⇒	1,810,278 (	△ 111,252)
水道事業会計基準内補助金	622,342 ⇒	161,874 (	△ 460,468)
保健所関連施設整備事業費(食品衛生検査所)	738,000 ⇒	0 (	△ 738,000)
<b>農林水産業費</b>	<b>2,031,780</b>	<b>2,145,548</b>	<b>113,768</b>
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費補助金	0 ⇒	73,602 (	73,602)
土地改良事業費	241,275 ⇒	289,200 (	47,925)
海岸保全施設整備事業費	73,900 ⇒	44,000 (	△ 29,900)
<b>商工費</b>	<b>4,099,051</b>	<b>4,101,480</b>	<b>2,429</b>
四日市市地場産業振興センター運営費	114,406 ⇒	516,142 (	401,736)
観光施設等整備事業費	27,900 ⇒	152,658 (	124,758)
民間研究所立地奨励金等交付事業費	257,700 ⇒	216,800 (	△ 40,900)
企業立地奨励金交付事業費	968,000 ⇒	365,000 (	△ 603,000)
<b>土木費</b>	<b>24,401,925</b>	<b>27,808,052</b>	<b>3,406,127</b>
堀川内水対策事業費	880,000 ⇒	2,303,000 (	1,423,000)
中央通り再編事業費	3,048,100 ⇒	3,748,408 (	700,308)
街路単独事業費	883,850 ⇒	1,529,537 (	645,687)
下水道雨水処理費等負担金	4,677,289 ⇒	4,957,070 (	279,781)
道路維持修繕費	993,260 ⇒	1,179,300 (	186,040)
都市再生協議会負担金	420,950 ⇒	605,217 (	184,267)
道路改良単独事業費	219,808 ⇒	372,270 (	152,462)
下水道汚水処理費等基準内補助金	1,271,140 ⇒	1,144,490 (	△ 126,650)
橋梁メンテナンス補助事業費	508,400 ⇒	355,272 (	△ 153,128)
橋梁整備単独事業費	353,239 ⇒	154,430 (	△ 198,809)
<b>消防費</b>	<b>7,209,811</b>	<b>4,977,858</b>	<b>△ 2,231,953</b>
一般職給	3,329,410 ⇒	3,451,570 (	122,160)
退職手当	97,050 ⇒	190,700 (	93,650)
消防車両購入費	458,600 ⇒	240,230 (	△ 218,370)
消防出張所整備事業費	292,286 ⇒	0 (	△ 292,286)
消防指令システム整備事業費	2,001,656 ⇒	66,698 (	△ 1,934,958)
<b>教育費</b>	<b>13,732,594</b>	<b>14,974,315</b>	<b>1,241,721</b>
大規模改修事業費(小学校)	531,518 ⇒	957,183 (	425,665)
大規模改修事業費(中学校)	257,764 ⇒	664,618 (	406,854)
その他施設整備費(中学校)	133,237 ⇒	325,136 (	191,899)
部活動サポート事業費	56,351 ⇒	194,177 (	137,826)
その他施設整備費(幼稚園)	9,600 ⇒	115,739 (	106,139)
新学習指導要領教材整備費(中学校)	69,759 ⇒	0 (	△ 69,759)
要保護準要保護児童就学援助費(小学校)	142,347 ⇒	71,993 (	△ 70,354)
教育情報通信システム運営費	232,389 ⇒	99,840 (	△ 132,549)
<b>公債費</b>	<b>4,298,605</b>	<b>4,297,953</b>	<b>△ 652</b>
地方債利子	236,221 ⇒	485,672 (	249,451)
地方債償還金	4,060,384 ⇒	3,810,281 (	△ 250,103)

歳 出 予 算 款 別

款 別	本 年 度 予 算 額	左 の 財		
		国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債
1. 議 会 費	669,489			
2. 総 務 費	19,077,577	382,400	650,574	2,374,300
3. 民 生 費	59,200,811	21,523,258	8,287,058	190,500
4. 衛 生 費	14,708,653	818,380	115,432	1,048,600
5. 労 働 費	118,264			
6. 農林水産業費	2,145,548	5,815	269,304	78,700
7. 商 工 費	4,101,480	117,456	3,797	359,300
8. 土 木 費	27,808,052	2,428,326	264,138	6,449,900
9. 消 防 費	4,977,858		111,634	255,500
10. 教 育 費	14,974,315	524,167	962,464	1,491,300
11. 公 債 費	4,297,953			
12. 予 備 費	150,000			
計	152,230,000	25,799,802	10,664,401	12,248,100
歳入振替項目	/			
総 計	152,230,000	25,799,802	10,664,401	12,248,100

# 財 源 内 訳 表

(単位 千円)

源 内 訳			前 年 度 一 般 財 源	一般財源投入率 (%)	
使 用 料 及 び 手 数 料	そ の 他	一 般 財 源		本 年 度	前 年 度
	196	669,293	661,635	0.7	0.7
199,966	1,498,957	13,971,380	13,500,418	15.1	15.0
94,690	985,579	28,119,726	26,530,686	30.5	29.5
847,977	1,421,811	10,456,453	10,128,504	11.3	11.3
505		117,759	61,048	0.1	0.1
263	50,255	1,741,211	1,824,963	1.9	2.0
14,963	2,003,876	1,602,088	2,187,943	1.7	2.4
604,370	2,275,018	15,786,300	15,300,617	17.1	17.0
78,718	383,050	4,148,956	4,040,844	4.5	4.5
34,713	669,165	11,292,506	11,199,268	12.2	12.5
		4,297,953	4,298,605	4.7	4.8
		150,000	150,000	0.2	0.2
1,876,165	9,287,907	92,353,625	89,884,531	100.0	100.0
10,323	3,212,018	△ 3,222,341	△ 4,627,455	—	—
1,886,488	12,499,925	89,131,284	85,257,076	—	—

歳出予算性質別

区 分	本 年 度		前 年 度	
	予 算 額 (A)	一般財源(B)	予 算 額 (C)	一般財源(D)
1. 人 件 費	26,249,861	24,685,196	24,886,380	23,082,389
(1) 報 酬	5,295,337	5,009,776	5,112,993	4,689,967
(2) 基 本 給	10,167,650	9,147,112	9,733,912	8,697,875
(3) その他の手当	5,808,391	5,647,136	5,687,986	5,433,481
(4) 退 職 手 当	1,096,944	1,084,821	756,342	749,941
(5) 恩 給 退 職 年 金	88	88	86	86
(6) そ の 他	3,881,451	3,796,263	3,595,061	3,511,039
2. 物 件 費	24,891,260	18,824,277	25,272,803	19,474,944
3. 維 持 補 修 費	3,204,283	2,519,214	2,956,630	2,366,173
4. 扶 助 費	36,806,357	10,714,933	34,989,149	10,079,111
5. 補 助 費 等	17,110,462	14,327,276	16,225,323	13,743,249
6. 投資・出資金・貸付金	1,867,367	85,632	1,857,147	104,912
7. 積 立 金	1,435,052	1,021,367	1,198,623	1,000,000
8. 繰 出 金	11,038,148	9,117,415	10,408,412	8,558,329
9. 公 債 費	4,297,953	4,297,953	4,298,605	4,298,605
10. 投 資 的 経 費	25,178,327	6,610,362	23,076,569	7,026,819
(1) 普通建設事業	25,120,427	6,578,062	23,033,944	6,990,194
イ、補 助	10,739,642	1,108,851	7,334,613	718,939
ロ、単 独	14,380,785	5,469,211	15,699,331	6,271,255
(2) 災害復旧事業				
イ、補 助				
ロ、単 独				
(3) 失業対策事業				
イ、補 助				
ロ、単 独				
(4) 県営事業負担金	57,900	32,300	42,625	36,625
11. 予 備 費	150,930	150,000	150,359	150,000
合 計	152,230,000	92,353,625	145,320,000	89,884,531

# 目的別分類表

(単位 千円)

比 較				構 成 比 率 (%)			
予 算 額		一 般 財 源		本 年 度		前 年 度	
(A) - (C)	(A)/(C)×100 (%)	(B) - (D)	(B)/(D)×100 (%)	予 算 額	一 般 財 源	予 算 額	一 般 財 源
1,363,481	105.5	1,602,807	106.9	17.3	26.7	17.1	25.7
182,344	103.6	319,809	106.8	3.5	5.4	3.5	5.2
433,738	104.5	449,237	105.2	6.7	9.9	6.7	9.7
120,405	102.1	213,655	103.9	3.8	6.1	3.9	6.1
340,602	145.0	334,880	144.7	0.7	1.2	0.5	0.8
2	102.3	2	102.3	0.0	0.0	0.0	0.0
286,390	108.0	285,224	108.1	2.6	4.1	2.5	3.9
△ 381,543	98.5	△ 650,667	96.7	16.4	20.4	17.4	21.7
247,653	108.4	153,041	106.5	2.1	2.7	2.0	2.6
1,817,208	105.2	635,822	106.3	24.2	11.6	24.1	11.2
885,139	105.5	584,027	104.2	11.2	15.5	11.2	15.3
10,220	100.6	△ 19,280	81.6	1.2	0.1	1.3	0.1
236,429	119.7	21,367	102.1	0.9	1.1	0.8	1.1
629,736	106.1	559,086	106.5	7.3	9.9	7.2	9.5
△ 652	100.0	△ 652	100.0	2.8	4.6	3.0	4.8
2,101,758	109.1	△ 416,457	94.1	16.5	7.2	15.8	7.8
2,086,483	109.1	△ 412,132	94.1	16.5	7.1	15.8	7.8
3,405,029	146.4	389,912	154.2	7.1	1.2	5.0	0.8
△ 1,318,546	91.6	△ 802,044	87.2	9.4	5.9	10.8	7.0
15,275	135.8	△ 4,325	88.2	0.0	0.1	0.0	0.0
571	100.4	0	100.0	0.1	0.2	0.1	0.2
6,910,000	104.8	2,469,094	102.7	100.0	100.0	100.0	100.0

※構成比については、四捨五入しておりますので合計が合わない場合があります。

# 一 般 会 計 当 初

年度	一 般 会 計		歳 入						
			市 税		地 方 交 付 税		市 債		繰 入 金
	伸び率	税率	普通	特別	発行額	市 債 依存度	3基金		
		%	%	実績	実績		%		
H22	99,141,000	1.8	57,959,600	58.5	1,651,021	842,323	5,817,500	5.9	849,041
H23	104,560,000	5.5	59,886,600	57.3	1,944,240	874,184	6,705,400	6.4	14,253
H24	102,774,000	△ 1.7	60,879,200	59.2	1,856,109	896,497	6,187,800	6.0	15,169
H25	102,697,438	△ 0.1	60,739,300	59.1	2,088,363	808,494	6,176,900	6.0	70,887
H26	107,890,000	5.1	60,871,900	56.4	1,749,810	800,469	9,233,100	8.6	18,000
H27	118,390,000	9.7	60,365,900	51.0	1,588,793	755,354	10,890,100	9.2	47,892
H28	108,688,051	△ 8.2	62,522,600	57.5	697,085	576,612	4,763,900	4.4	1,425,125
H29	108,475,000	△ 0.2	64,942,900	59.9	488,618	561,201	3,744,000	3.5	1,128,733
H30	116,846,000	7.7	68,814,000	58.9	274,453	550,185	5,266,700	4.5	1,799,680
R1	121,000,000	3.6	76,870,800	63.5	83,539	555,749	2,889,600	2.4	0
R2	119,870,000	△ 0.9	72,861,401	60.8	0	512,399	2,657,800	2.2	301,000
R3	121,160,000	1.1	68,531,001	56.6	0	539,035	4,240,900	3.5	3,600,000
R4	130,920,000	8.1	71,685,301	54.8	0	537,040	5,680,700	4.3	2,256,100
R5	129,900,000	△ 0.8	72,587,301	55.9	0	487,403	4,377,600	3.4	1,389,394
R6	137,320,000	5.7	72,398,401	52.7	0	466,444	8,648,500	6.3	3,115,992
R7	145,320,000	5.8	72,219,101	49.7	(当初予算) 0	(当初予算) 487,000	9,322,900	6.4	3,451,834
R8	152,230,000	4.8	74,971,970	49.2	0	466,000	12,248,100	8.0	2,417,278

# 予 算 の 推 移

(単位:千円)

繰 入 金	歳 出						繰 出 金
	公 債 費	構成比	地方債 年度末残高	投 資 的 経 費		繰 出 金	
				うち普通建設事業費			
				補 助	単 独		
実績		%	実績				
500,000	11,614,100	11.7	92,581,596	8,259,618	1,861,904	5,993,839	7,900,832
100,000	11,406,188	10.9	87,503,991	10,059,127	3,217,941	6,437,746	8,088,790
100,000	11,719,608	11.4	80,643,109	10,121,445	2,364,877	7,382,216	8,068,206
100,000	11,623,543	11.3	75,627,184	10,191,981	3,554,440	6,366,623	8,064,360
100,000	10,684,521	9.9	72,817,345	14,749,747	6,737,842	7,748,505	8,208,646
150,000	9,846,287	8.3	72,722,310	23,926,626	14,031,382	9,539,244	8,593,504
180,000	9,481,311	8.7	67,763,459	13,084,859	5,036,590	7,850,244	9,010,047
180,000	8,775,679	8.1	61,293,772	13,013,782	3,482,636	9,265,983	8,942,700
200,000	7,746,598	6.6	56,375,167	19,365,366	6,198,229	12,959,212	9,306,301
200,000	7,321,307	6.1	53,277,420	21,207,019	7,102,953	14,021,316	9,532,135
100,000	6,726,369	5.6	48,741,433	15,627,290	4,837,821	10,517,769	9,746,670
180,000	6,381,078	5.3	43,511,915	15,367,872	5,256,167	10,093,705	9,818,041
180,000	6,075,359	4.6	39,104,794	20,031,609	9,685,752	10,328,557	9,926,190
200,000	5,695,138	4.4	35,511,075	16,947,955	8,545,529	8,394,526	10,405,376
301,761	5,038,224	3.7	34,644,225	20,599,020	9,148,343	11,444,677	10,593,511
(当初予算)			(1月補正後)				
1,114,823	4,298,605	3.0	40,098,841	23,076,569	7,334,613	15,699,331	10,408,412
1,257,861	4,297,953	2.8	48,536,661	25,178,327	10,739,642	14,380,785	11,038,148

## 令和8年度 税等収入予算資料

(単位 千円)

科目	税率	調定見込額	収納率 見込%	本年度 当初予算 計上額(A)	前年度 当初予算 計上額(B)	(A) 100 ——× (B) %
<b>市税</b>		76,202,092	98.4	74,971,970	72,219,101	103.8
1. 市民税		28,790,946	97.3	28,000,600	26,824,700	104.4
一個人		23,071,790	96.9	22,347,700	21,579,700	103.6
イ、現年課税分		22,418,500	98.6	22,104,700	21,342,500	103.6
所得割	6%	21,909,712	98.6	21,603,000	20,830,600	103.7
均等割	3,000円	508,788	98.6	501,700	511,900	98.0
ロ、滞納繰越分		653,290	37.2	243,000	237,200	102.4
二法人		5,719,156	98.8	5,652,900	5,245,000	107.8
イ、現年課税分		5,664,596	99.6	5,641,900	5,240,200	107.7
法人税割	7.2%	4,564,596	99.6	4,546,300	4,143,500	109.7
均等割	5, 12, 13, 15, 16, 40, 41,175, 300 (万円)	1,100,000	99.6	1,095,600	1,096,700	99.9
ロ、滞納繰越分		54,560	20.2	11,000	4,800	229.2
2. 固定資産税		37,271,528	99.0	36,902,200	35,388,500	104.3
一固定資産税		37,247,528	99.0	36,878,200	35,364,900	104.3
イ、現年課税分		36,900,147	99.5	36,732,300	35,210,700	104.3
土地	1.4%	8,199,512	99.2	8,133,900	8,089,000	100.6
家屋	1.4%	11,489,409	99.2	11,397,500	11,196,000	101.8
償却資産	1.4%	17,211,226	99.94	17,200,900	15,925,700	108.0
ロ、滞納繰越分		347,381	42.0	145,900	154,200	94.6
二国有資産等所在 市町村交付金		24,000	100.0	24,000	23,600	101.7
イ、交付金	1.4%	24,000	100.0	24,000	23,600	101.7
3. 軽自動車税		1,033,577	96.3	994,970	1,032,101	96.4
一環境性能割		18,370	100.0	18,370	82,201	22.3
イ、現年課税分	0.5%, 1%, 2%	18,369	100.0	18,369	82,200	22.3
ロ、滞納繰越分		1	100.0	1	1	100.0
二種別割		1,015,207	96.2	976,600	949,900	102.8
イ、現年課税分	2,000円～12,900円	980,846	98.5	966,100	937,300	103.1
ロ、滞納繰越分		34,361	30.6	10,500	12,600	83.3
4. 市たばこ税	6,552円/千本	2,289,000	100.0	2,289,000	2,295,000	99.7
5. 入湯税	日帰り 1人 80円 宿泊 1人1泊 150円	2,500	100.0	2,500	2,400	104.2
6. 事業所税		3,966,494	99.95	3,964,400	3,886,900	102.0
イ、現年課税分		3,964,475	99.95	3,962,500	3,884,900	102.0
資産割	600円/㎡	3,350,587	99.95	3,348,900	3,300,700	101.5
従業者割	0.25%	613,888	99.95	613,600	584,200	105.0
ロ、滞納繰越分		2,019	94.1	1,900	2,000	95.0
7. 都市計画税		2,848,047	99.0	2,818,300	2,789,500	101.0
イ、現年課税分		2,821,018	99.5	2,806,900	2,778,300	101.0
土地	0.2%	1,307,307	99.5	1,300,800	1,297,100	100.3
家屋	0.2%	1,513,711	99.5	1,506,100	1,481,200	101.7
ロ、滞納繰越分		27,029	42.2	11,400	11,200	101.8

(単位 千円)

科目	税率	調定見込額	収納率 見込%	本年度 当初予算 計上額(A)	前年度 当初予算 計上額(B)	(A) 100 — × (B) %
<b>地方譲与税</b>		1,281,065	100.0	1,281,065	1,282,995	99.8
1. 地方揮発油譲与税		168,000	100.0	168,000	202,000	83.2
2. 自動車重量譲与税		645,000	100.0	645,000	630,000	102.4
3. 地方道路譲与税		1	100.0	1	1	100.0
4. 森林環境譲与税		44,064	100.0	44,064	40,994	107.5
5. 特別とん譲与税		424,000	100.0	424,000	410,000	103.4
<b>利子割交付金</b>		120,000	100.0	120,000	25,000	480.0
利子割交付金		120,000	100.0	120,000	25,000	480.0
<b>配当割交付金</b>		591,000	100.0	591,000	410,000	144.1
配当割交付金		591,000	100.0	591,000	410,000	144.1
<b>株式等譲渡所得割交付金</b>		819,000	100.0	819,000	400,000	204.8
株式等譲渡所得割交付金		819,000	100.0	819,000	400,000	204.8
<b>法人事業税交付金</b>		1,187,000	100.0	1,187,000	1,108,000	107.1
法人事業税交付金		1,187,000	100.0	1,187,000	1,108,000	107.1
<b>地方消費税交付金</b>		8,989,000	100.0	8,989,000	8,660,000	103.8
地方消費税交付金		8,989,000	100.0	8,989,000	8,660,000	103.8
<b>ゴルフ場利用税交付金</b>		90,000	100.0	90,000	80,000	112.5
ゴルフ場利用税交付金		90,000	100.0	90,000	80,000	112.5
<b>自動車取得税交付金</b>		1	100.0	1	1	100.0
自動車取得税交付金		1	100.0	1	1	100.0
<b>環境性能割交付金</b>		1	100.0	1	190,000	0.0
環境性能割交付金		1	100.0	1	190,000	0.0
<b>地方特例交付金</b>		588,347	100.0	588,347	363,239	162.0
地方特例交付金		586,500	100.0	586,500	343,764	170.6
新型コロナウイルス感染症対策 地方税減収補填特別交付金		1,847	100.0	1,847	19,475	9.5

## 基金の状況

(単位 千円)

基金名	令和8年度末 残高見込	基金名	令和8年度末 残高見込
企業版ふるさと納税基金	96,457	ふるさと・水と土保全基金	0
旧四日市市土地開発公社取得土地活用基金	4,334,718	中小企業振興基金	5,082
国際交流基金	89,509	広域基幹道路整備基金	1,011,124
文化振興基金	161,896	内部・八王子線基金	360,082
財政調整基金	13,851,167	緑化基金	51,790
減債基金	229,220	市営住宅整備基金	215,080
都市基盤・公共施設等整備基金	7,543,900	学校施設整備基金	1,183,350
アセットマネジメント基金	15,531,170	小菅科学教育振興基金	14,120
まちづくり事業基金	1,836,200	図書館充実基金	6,435
社会福祉事業振興基金	485,405	土地開発基金	1,151,154
こどもまんなか基金	2,826	競輪事業財政調整基金	1,807,020
災害救助基金	96,201	競輪事業施設等整備基金	3,470,902
廃棄物処理施設整備等基金	395,799	国民健康保険支払準備基金	1,441,842
市立四日市病院整備基金	16,321	介護保険給付費支払準備基金	5,625,801
森林環境基金	139,345		

## 市税等の推移

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市 税	102.2%	105.6%	115.9%	99.0%	94.9%
	63,919,683	67,528,628	78,265,507	77,483,022	73,554,812
	101.5%	101.0%	103.3%	104.0%	98.9%
	19,110,304	19,296,871	19,929,489	20,734,568	20,503,186
	86.7%	129.0%	203.5%	46.9%	71.4%
うち法人市民税	5,024,830	6,483,985	13,197,003	6,186,166	4,418,915
うち固定資産税	105.6%	105.6%	109.1%	115.9%	94.6%
31,123,086	32,860,206	35,850,038	41,562,550	39,312,551	
うち事業所税	105.6%	108.0%	113.0%	90.0%	108.9%
3,097,747	3,344,740	3,777,979	3,399,264	3,702,775	
地 方 譲 与 税	99.1%	98.6%	102.1%	101.1%	101.1%
1,183,754	1,167,055	1,191,735	1,205,341	1,218,214	
利 子 割 交 付 金	83.0%	140.9%	97.9%	45.5%	106.9%
83,160	117,152	114,657	52,162	55,774	
配 当 割 交 付 金	59.7%	143.9%	78.8%	115.7%	97.1%
203,669	293,051	230,969	267,172	259,552	
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	38.6%	242.5%	63.9%	79.0%	193.1%
119,835	290,603	185,751	146,710	283,240	
法 人 事 業 税 交 付 金					皆増 898,040
地 方 消 費 税 交 付 金	90.5%	104.9%	106.9%	97.4%	121.2%
5,338,100	5,597,466	5,981,478	5,826,730	7,060,800	
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	96.7%	97.0%	97.9%	101.6%	94.8%
90,364	87,630	85,823	87,210	82,657	
自 動 車 取 得 税 交 付 金	110.1%	136.9%	106.3%	56.2%	0.0%
224,509	307,260	326,658	183,654	57	
環 境 性 能 割 交 付 金				皆増 45,785	219.1% 100,307
地 方 特 例 交 付 金	106.3%	109.5%	112.3%	338.8%	41.0%
202,795	222,010	249,329	844,648	346,452	
地 方 交 付 税	54.3%	82.4%	78.6%	77.5%	80.2%
1,273,697	1,049,819	824,638	639,288	512,399	
うち普通交付税	43.9%	70.1%	56.2%	30.4%	皆減
697,085	488,618	274,453	83,539		
うち特別交付税	76.3%	97.3%	98.0%	101.0%	92.2%
576,612	561,201	550,185	555,749	512,399	

## (決算ベース)

(単位 千円)

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (現計予算)	令和8年度 (当初予算)
98.3%	99.8%	102.4%	97.2%	100.5%	103.8%
72,288,634	72,121,088	73,869,528	71,836,840	72,219,101	74,971,970
98.4%	101.8%	102.4%	92.9%	110.5%	103.6%
20,170,621	20,527,975	21,030,845	19,530,742	21,579,700	22,347,700
113.6%	111.0%	90.5%	106.9%	97.3%	107.8%
5,018,154	5,572,251	5,043,123	5,391,215	5,245,000	5,652,900
95.7%	96.3%	104.4%	97.7%	95.8%	104.3%
37,623,097	36,230,956	37,814,681	36,932,225	35,388,500	36,902,200
101.4%	101.4%	103.6%	99.4%	99.2%	102.0%
3,753,835	3,805,640	3,942,441	3,917,768	3,886,900	3,964,400
105.1%	100.4%	101.7%	100.9%	97.3%	99.8%
1,280,394	1,285,510	1,306,756	1,318,467	1,282,995	1,281,065
72.6%	56.8%	88.2%	124.4%	99.1%	480.0%
40,507	22,999	20,277	25,225	25,000	120,000
154.6%	87.4%	115.9%	145.3%	69.4%	144.1%
401,241	350,873	406,793	590,888	410,000	591,000
154.2%	58.1%	175.8%	183.5%	48.8%	204.8%
436,855	253,870	446,197	818,957	400,000	819,000
146.9%	88.4%	85.0%	108.8%	102.7%	107.1%
1,319,334	1,166,277	991,560	1,079,286	1,108,000	1,187,000
108.7%	104.1%	99.8%	102.7%	105.8%	103.8%
7,675,135	7,988,594	7,969,735	8,186,656	8,660,000	8,989,000
104.7%	102.1%	100.7%	104.2%	86.3%	112.5%
86,542	88,378	88,954	92,670	80,000	90,000
26.3%	11,120.0%	506.5%	皆減	皆増	100.0%
15	1,668	8,448		1	1
101.5%	123.3%	109.7%	114.2%	120.8%	0.0%
101,807	125,491	137,722	157,233	190,000	1
238.2%	45.7%	98.1%	495.0%	18.1%	177.9%
825,416	376,908	369,657	1,829,899	330,629	588,347
105.2%	99.6%	90.8%	95.7%	104.4%	95.7%
539,035	537,040	487,403	466,444	487,000	466,000
105.2%	99.6%	90.8%	95.7%	104.4%	95.7%
539,035	537,040	487,403	466,444	487,000	466,000

上段は対前年度比

# 地 方 債 年 度 末

年 度		令和2年度 決 算	令和3年度 決 算	令和4年度 決 算	令和5年度 決 算	令和6年度 決 算
区 分						
普 通 会 計	一 般 会 計	48,741,433	43,511,915	39,104,794	35,511,075	34,644,225
	うち減税補てん債 (借換債含む)	797,853	566,709	376,893	225,700	112,124
	うち臨時財政対策債	15,529,357	13,420,741	11,305,815	9,343,067	7,713,074
	特別会計 土地区画整理事業	66,219	20,488	369		
	住宅新築資金等 貸付事業	426				
	(都市下水道分)	138,850	99,757	60,184	41,081	86,713
	計	48,946,928	43,632,160	39,165,347	35,552,156	34,730,938
	うち合併特例債 (基金造成含む)	3,766,068	2,597,870	1,615,009	773,659	191,726
準 公 営 企 業 公 司	食 肉 セ ン タ ー 食 肉 市 場 事 業	687,932	725,417	714,473	642,086	627,969
	農 業 集 落 排 水 事 業	1,559,805	1,443,048	1,325,028	1,208,438	
	計	2,247,737	2,168,465	2,039,501	1,850,524	627,969
公 営 企 業	水 道 事 業	12,191,291	11,667,447	11,531,625	11,348,559	11,767,119
	市立四日市病院事業	10,469,703	11,704,866	11,277,821	11,211,600	11,860,336
	下 水 道 事 業	76,961,444	75,065,100	73,861,794	72,441,678	71,533,716
	農 業 集 落 排 水 事 業					1,097,406
	計	99,622,438	98,437,412	96,671,240	95,001,837	96,258,578
重複分		138,850	99,757	60,184	41,081	86,713
合 計		150,678,254	144,138,280	137,815,904	132,363,436	131,530,772

# 現在高の推移

(単位 千円)

令和7年度 決算見込	令和8年度 当 初 予 算				
	償還元金	償還利子	元利合計	発行額	残高
40,098,841	3,810,281	485,672	4,295,953	12,248,100	48,536,661
35,387	35,387	3	35,390		
6,305,754	1,232,480	14,588	1,247,068		5,073,274
134,416	7,216	2,521	9,737		127,200
40,233,257	3,817,497	488,193	4,305,690	12,248,100	48,663,861
94,458	43,772	920	44,692		50,686
705,931	116,971	4,214	121,184	216,900	805,861
705,931	116,971	4,214	121,184	216,900	805,861
13,393,740	833,836	220,089	1,053,925	1,646,200	14,206,104
12,293,598	1,289,813	182,478	1,472,291	2,114,900	13,118,685
75,608,020	4,548,134	952,831	5,500,965	7,810,000	78,869,886
988,870	107,480	16,234	123,714		881,390
102,284,228	6,779,263	1,371,632	8,150,895	11,571,100	107,076,065
134,416	7,216	2,521	9,737		127,200
143,089,000	10,706,515	1,861,518	12,568,032	24,036,100	156,418,587

※数値は四捨五入していますので合計が合わない場合があります。

※農業集落排水事業については、令和6年度から公営企業に移行したため、令和5年度までは特別会計として準公営企業の欄に記載し、令和6年度からは公営企業の欄に記載しています。

## 一般会計歳出予算【部局別】

(単位：千円、%)

区分 部 局	令和 8 年度当初 A	令和 7 年度当初 B	増減額 A - B C	伸率 C / B × 100
危機管理統括部	380,725	237,158	143,567	60.5
政策推進部	2,238,123	2,118,351	119,772	5.7
総務部	7,038,359	7,136,550	△ 98,191	△ 1.4
財政経営部	19,421,882	18,505,806	916,076	5.0
市民生活部	2,067,121	2,320,769	△ 253,648	△ 10.9
健康福祉部	21,713,199	22,102,611	△ 389,412	△ 1.8
こども未来部	31,974,064	29,784,273	2,189,791	7.4
シティプロモーション部	5,152,311	4,934,219	218,092	4.4
商工農水部	4,894,483	4,900,688	△ 6,205	△ 0.1
環境部	7,772,540	6,279,352	1,493,188	23.8
都市整備部	20,295,475	17,045,222	3,250,253	19.1
会計管理課	109,548	141,844	△ 32,296	△ 22.8
議会事務局	669,489	661,822	7,667	1.2
選挙管理委員会	117,477	299,609	△ 182,132	△ 60.8
監査事務局	89,418	86,942	2,476	2.8
教育委員会	13,893,065	12,694,216	1,198,849	9.4
消防本部	4,967,718	7,207,318	△ 2,239,600	△ 31.1
企業補助 費に対する等				
上下水道局	6,907,870	7,230,061	△ 322,191	△ 4.5
市立四日市病院	2,527,133	1,633,189	893,944	54.7
合 計	152,230,000	145,320,000	6,910,000	4.8

※令和 8 年 1 月時点で、令和 7 年度の組織機構に基づき、令和 8 年度当初予算を部局別を集計

## 危機管理統括部

### 新年度予算における基本的な方針

南海トラフ地震等の災害から市民の生命と財産を守るため、地域の防災力を高めるまちづくりに向けて、防災・減災に関する情報発信や地域防災力の向上、指定避難所の環境整備などに取り組む。また、令和7年9月12日からの大雨を教訓に、関係部局と連携し、さらなる降雨災害対策を進める。

### 1. 防災・減災への取り組みについて

激甚化・頻発化する自然災害から市民の生命・財産を守るため、降雨災害対策として止水板設置補助の実施やSNS投稿を活用した被害状況把握システムを導入するとともに、地震・津波対策として住宅耐震化の推進、津波避難計画の策定及び津波避難マップの全戸配布等に取り組む。

【主な事業】	防災計画等策定事業費	3,900千円
	防災啓発事業費	34,476千円
	防災機器維持管理経費	84,140千円
	防災システム整備事業費	30,070千円
	止水板等設置補助金	7,900千円

### 2. 指定避難所の環境整備について

災害時に拠点防災倉庫の荷捌き及び避難所への配送業務等を円滑に行えるよう、防災備蓄品管理システムを導入するほか、南海トラフ地震等の大規模災害の発生に備え、貯留式マンホールトイレの整備や既設受水槽等を活用した水の確保により避難所機能の強化を図るとともに、災害時の円滑な避難行動を支援するため、各指定緊急避難場所に避難場所案内看板を設置する。

【主な事業】	防災倉庫管理費	29,710千円
	防災倉庫整備事業費	32,000千円
	避難施設等整備事業費	65,723千円
	避難施設等整備事業費（下水道総合地震対策）	21,550千円

### 3. 地域防災の取り組みの推進について

災害時には、住民の自助・共助の果たす役割が重要であることから、地域の防災組織が行う防災・減災活動に対する支援を行う。また、防災大学等の防災教育の充実を図り、災害発生時に的確に対応できる能力を高めるとともに、将来の地域における防災活動の人材育成に取り組む。

【主な事業】	自主防災組織活性化事業費	38,450千円
	防災減災人材養成事業費	1,876千円

## 防災計画等策定事業費

### 1. 目的

南海トラフ地震等の大規模災害に備え、本市が重点的に取り組むべき防災対策を明確化し、迅速かつ計画的に施策を推進するため、各種防災計画を策定する。

### 2. 内容

**【拡充】** 津波避難計画策定業務委託 3,900千円

南海トラフ地震の被害想定の見直しや本市が津波災害警戒区域<sup>\*</sup>に指定されることを踏まえ、津波発生時の市民の主体的な避難行動の徹底を図るため、避難対象地域や避難路の指定、津波警報・注意報等の情報収集・伝達等について定めた津波避難計画を策定する。

※津波災害警戒区域…津波が発生した場合に、住民等の生命・身体に危害が生じるおそれがある区域で、津波による人的災害を防止するため警戒避難体制を整備し、いざというときに津波から「逃げる」ことができるよう、県知事が指定する区域。

**3. 予算額** 3,900千円 (財源内訳) 一般財源 3,900千円  
(前年度 0千円)

担当 危機管理統括部危機管理課  
林 (正)  
Tel 354-8119

## 地域防災取組支援事業

### 1. 目的

自主防災組織が行う防災・減災活動に対する支援や、地域における防災活動の中核を担う人材育成を行い、地域防災力を強化する。

### 2. 内容

(1) 自主防災組織活性化事業費	38,136千円
・自主防災組織設置補助金	300千円
・地区防災組織活動補助金	37,836千円

- ① 令和8年度は、四日市市地区防災組織活動補助金交付要綱の改正に伴い、令和7年4月1日時点の人口を基に、補助上限額の再算定を実施
- ② 補助上限額については、基礎割420千円及び人口割84円(77円から物価高騰を勘案し引き上げ)から積算
- ③ 補助率は、ソフト事業10/10、ハード事業2/3

(2) 防災減災人材養成事業費	1,876千円
-----------------	---------

防災大学、ステップアップ講座、防災・減災女性セミナーや、災害に備えて家族で防災意識を共有できるようファミリー防災講座を開催することで、災害発生時に的確に対応できる能力を高め、将来の地域における防災・減災活動の中核となる人材育成に取り組む。

3. 予算額	40,012千円	(財源内訳) 一般財源	40,012千円
(前年度)	38,178千円)		

担当 危機管理統括部危機管理課  
伊藤・林(真)  
TEL 354-8119

# 防災システム整備事業費

## 1. 目的

近年、防災分野におけるDX化が進んでおり、さまざまなICT機器を利用した情報共有や避難支援の仕組みなどが導入され始めている。

災害時における被害の早期把握や対応の迅速化を図るシステムに加え、市民の円滑な避難を支援するためのシステムを導入することで、本市の災害対応力の向上を図る。

## 2. 内容

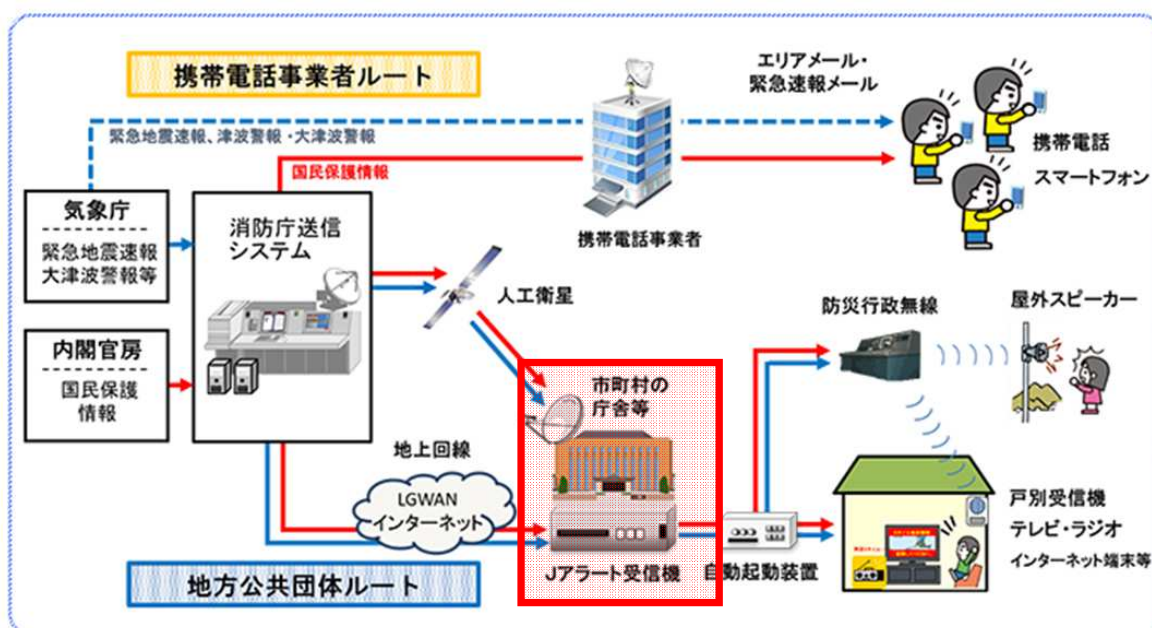
### (1) 【拡充】 防災行政無線連動型鍵ボックス整備事業 13,400千円

令和6年能登半島地震では、津波警報が発表されたにもかかわらず、感震式鍵ボックス（震度5弱以上で開錠）が作動条件に達せず、施設の鍵が開錠されない事例があった。このため、南海トラフ地震に備え、津波警報等の発表と同時に施設を確実に開放できるよう、津波避難ビルとして指定している公共施設等において、Jアラートと連動した自動開錠式の鍵ボックスを整備し、市民の円滑な避難行動の確保を図る。

### (2) 【拡充】 Jアラート受信機更新業務委託等 10,800千円

令和8年度中に現行受信機のサポートが終了となることから、次期受信機に更新する。

### 【Jアラートの概要】



参考：総務省消防庁

(3) **【拡充】** 移動系防災行政無線機種選定・実施設計業務委託 4,600千円  
 四日市市で運用している移動系防災行政無線（MCA無線）は、令和11年5月31日でサービスが終了するため、新たな通信体制の構築に向けて機種選定及び実施設計を行う。災害時にも円滑に通信ができ、地図情報やチャット機能を活用して迅速に情報共有を行える新たなシステムの導入を検討する。

(4) **【拡充】** 災害情報収集高度化事業 847千円  
 被害の早期把握と対応の迅速化を図るため、SNS投稿の活用により状況把握が可能なシステムを導入する。

(5) **【拡充】** 浸水センサ情報発信連携事業 231千円  
 ワンコイン浸水センサの検知情報と市の安全安心防災メールを連動させ、市民へ自動配信する仕組みを構築する。

(6) 緊急告知ラジオ購入補助金 192千円  
 [参考] 販売予定価格 18,150円  
 補助率

- ・避難行動要支援者名簿に登載された者のうち、携帯電話、スマートフォン等の携帯情報端末を所有していない方 9/10
- ・上記以外の市民及び市内に事業所を有する法人の代表者 2/3

**3. 予算額** 30,070千円 (財源内訳) 市債 10,800千円  
 (前年度 22,783千円) 一般財源 19,270千円

担当 危機管理統括部危機管理課  
 高橋・服部  
 TEL 354-8119

# 防災倉庫備蓄品等整備事業

## 1. 目的

大規模災害時における円滑な物資の配送のため、備蓄物資や資機材等の整備、防災倉庫等の備蓄品管理の効率化に取り組む。

## 2. 内容

**【拡充】** 防災備蓄品管理システム構築業務委託 32,000千円

本市では126箇所の防災倉庫、5箇所の拠点防災倉庫を整備し、分散備蓄を推進しているが、防災備蓄品の種類及び数は年々増加している。

一方で、管理方法は従来どおりExcel管理や目視確認となっており、備蓄品の管理に膨大な業務時間を要している。

そこで、防災備蓄品管理システムを構築し、デジタル化により、業務効率化を図りつつ、備蓄品を適正に管理する。また、災害対策基本法改正に伴う備蓄状況の公表義務への対応を行う。

さらに、災害時における民間物流会社への業務移行を促進し、拠点倉庫での荷捌きや避難所への配送の円滑化を実現する。

**【表】** 防災備蓄品管理システムの構築スケジュール（案）

年月	R8.4	R8.5	R8.6	R8.7	R8.8	R8.9	R8.10	R8.11	R8.12	R9.1	R9.2	R9.3
主な業務	業者選定・契約手続き			システム構築調整、基礎データ入力	防災倉庫棚卸				システム登録、QRコード等貼付			システム本格稼働

**3. 予算額** 32,000千円 (財源内訳) 国庫支出金(1/2) 16,000千円  
 (前年度 9,173千円) 一般財源 16,000千円

担当 危機管理統括部危機管理課  
 柳川・服部  
 TEL 354-8119

# 避難施設等整備事業

## 1. 目的

南海トラフ地震等の大規模災害の発生に備え、避難所等における衛生環境の確保及び避難者の健康管理に資する施設整備を推進する。

## 2. 内容

(1) **【拡充】** 貯留式マンホールトイレの整備 73,060千円

本庁舎周辺において貯留式マンホールトイレを整備するとともに、津波被害により多くの住民が中長期的に避難することが想定される内陸部の指定避難所においても、整備に向け測量・調査・設計に着手する。

**【本庁舎周辺】** (R8)

- ・ 工事 42,000千円
- ・ 仮設トイレ資機材等 9,510千円

**【指定避難所】** (R8～R13)

- ・ 測量調査設計※国補助事業 21,550千円  
(泊山小、笹川小、大谷台小)

(2) 災害時の水（飲料水・生活用水）の確保 7,730千円

指定避難所に設置されている既設受水槽等を活用し、災害時にも水を確保できる体制を整備する。

- ・ 工事 (18校) **【緊急用取水口】** 4,910千円  
(浜田小、富田小、富洲原小、羽津小、常磐小、内部小、河原田小、県小、八郷小、下野小、泊山小、楠小、塩浜中、山手中、西陵中、保々中、常磐中、西笹川中)
- ・ 設計 (4校) **【緊急遮断弁】** 2,520千円  
(富田小、河原田小、高花平小、楠小)
- ・ 資機材 (2校) **【貯水タンク】** 300千円  
(笹川小、三重西小)

**3. 予算額** 80,790千円 (財源内訳) 国庫支出金(1/2) 10,775千円  
(前年度 14,400千円) 市債 31,500千円  
一般財源 38,515千円

担当 危機管理統括部危機管理課  
中村 (英)  
TEL 354-8119

# 止水板等設置促進事業

**1. 目的**

市民や事業者が主体的に行う浸水防止対策を支援し、被害の最小化を図る。

**2. 内容**

市民及び事業者が行う浸水対策を支援するため、止水板の設置工事、購入に要する経費の一部を補助する。

(1) 補助制度の内容

区分	内容
補助対象者	四日市市内に所在する建物等の所有者または使用者
対象経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物等に止水板を設置する工事及び関連工事     (①工事、②小規模工事)</li> <li>・設置工事を要しない止水板の購入 (③購入)</li> </ul>
補助率	対象経費の2分の1
補助上限額	500千円
対象区域	市内全域

(2) 止水板イメージ



【①工事】



【②小規模工事】



【③購入】

**3. 予算額** 7,900千円  
(前年度 0千円)

(財源内訳) 一般財源 7,900千円

担当 危機管理統括部危機管理課  
高橋  
TEL 354-8119

# 政 策 推 進 部

## 新年度予算における基本的な方針

「四日市市総合計画（2020年度～2029年度）」の基本構想に掲げた4つの将来都市像の実現に向けて、本市が、市民の皆さんが豊かで幸せに暮らせる都市となり、日本の活力を支える東海エリアにおける西の中核都市として存在感を高めるため、中間見直しを踏まえた重点的横断戦略プラン及び分野別基本政策に位置付けた施策や取組を着実に力強く推進する。

### 1. 総合計画の推進について

「四日市市総合計画（2020年度～2029年度）」における、将来都市像の実現に向けて、令和6年度に実施した中間見直しを踏まえ、3年間の具体的な実施事業を示した令和8年度推進計画（令和8～10年度）の着実な推進を図る。

政策提案事業について、意欲ある職員から多くの提案を受けられるよう取り組み、柔軟な発想から生まれる斬新なアイデアを政策形成に活かし、先進かつ魅力的な市政運営につなげる。

【主な事業】 総合計画推進事業費 5,565千円

### 2. 知と交流の拠点施設整備事業について

中心市街地の市役所北側民有地において、滞在型の「知」と「交流」の拠点施設整備に向け、市民意見をいただきながら、建物の配置、間取り、外観、構造、設備などの基本的な内容を図面としてとりまとめる基本設計を行うとともに、拠点施設からの雨水の流出抑制方策についての検討、地質調査を行う。あわせて、設計施工一括発注方式（デザインビルド方式）による工事発注に向け、要求水準書の作成や審査会の運営支援等について業務委託を行う。

【主な事業】 知と交流の拠点施設整備事業費 305,100千円

### 3. 新保々工業用地関連事業について

新保々工業用地について、民間活力を導入した工業団地化に向け、猛禽類の繁殖状況や居場所の把握、営巣誘導等に取り組む。また、地元要望道路の整備設計を行う。

【主な事業】 新保々工業用地関連事業費 21,064千円

### 4. 大学等拠点施設整備事業について

JR四日市駅前への大学整備に向け、建物の配置、間取り、外観、構造、設備などの基本的な内容を図面としてとりまとめる基本設計を行うとともに、用地

測量、建物補償積算、地質調査を行う。あわせて、設計施工一括発注方式（デザインビルド方式等）による工事発注に向け、要求水準書の作成や審査会の運営支援等について業務委託を行う。また、学長や学部長候補となる人材の検討を進め、教育研究体系や企業との連携の具体的な検討を行う。

【主な事業】 大学等拠点施設整備事業費 240,500千円

## 5. 産学官連携の推進について

四日市市内の企業や大学等研究機関との連携を強化し、産学官それぞれがもつ知的・人的・物的資源を相互活用することで、教育、産業、環境など様々な分野に係るこれからの社会情勢の変化に応じた課題解決につなげる。

【主な事業】 産学官連携事業推進費 3,000千円  
三重大学との連携強化事業費 4,500千円

## 6. 国際交流の推進について

ロングビーチ市からの交換学生・教師の受け入れ事業や、天津市からの青少年スポーツ交流団の受け入れ事業を実施し、市民交流を深めるとともに、両市との友好親善を図る。

【主な事業】 姉妹友好都市交流事業費 16,659千円

## 7. 四日市港の機能強化及びみなとまちづくりについて

四日市港戦略計画（2023～2026）に掲げる政策を着実に推進し、港湾機能の充実をより一層図るとともに四日市港長期構想や四日市港港湾脱炭素化推進計画、港湾計画に基づき、次期戦略計画の策定を行う。

本市の産業を支える物流の観点からは、耐震性能を有する霞ヶ浦地区北ふ頭81号岸壁の整備を促進する。また、地震・台風等の大規模災害に備えた港湾施設・海岸保全施設の防災・減災対策を促進するとともに、令和6年度から国直轄事業化された石原・塩浜地区の海岸保全施設整備事業についても、三重県や四日市港管理組合、産業界とともに国への働きかけを行うなど、事業の計画的な進捗に向けて取組を進める。

みなとまちづくりにおいては、本市の特色ある産業観光資源を活かし、四日市港の発祥の地である四日市地区を活性化するため、関係者と連携し策定した「みなとまちづくりプラン」について、千歳運河の整備を実施するとともに、プランの実現に向けて引き続き関係者と協議を進めていく。継続的にプランの実施体制や実施時期、具体的な方策等を検討するとともに、実証実験的なイベントの開催や千歳運河などを含む一帯に関し、動線の確保をはじめ集客施設の方向性やコンセプト等についてみなとまちづくり協議会で協議していく。

【主な事業】	四日市港管理組合負担金	1, 335, 677千円
	みなとまちづくり協議会負担金	5, 500千円

## 8. 首都圏における情報拠点事業について

首都圏における行政・政治等に関する情報収集を図るとともに、国への要望活動等における関係機関との連絡・調整を行う。

また、本市のシティプロモーションの一つとして、首都圏という立地を活用し、四日市の情報や魅力を発信することで、都市イメージや認知度向上を図る。

【主な事業】	東京事務所一般管理経費	3, 708千円
	シティプロモーション推進事業費	2, 700千円

## 9. 魅力収集発信について

本市の人と風土が育む地場産品を紹介する動画を活用し、市内外へ広くPRすることで、地場産品を通じた本市の魅力発信および良好な都市イメージの構築を図る。

【主な事業】	魅力収集発信事業費	24, 376千円
--------	-----------	-----------

## 10. 広報施策について

多様化する市民の情報取得手段に応じて、紙媒体「広報よっかいち」をはじめ、テレビ、ラジオ、インターネットなどのさまざまな媒体を活用し、本市の政策・施策を市民に分かりやすく丁寧に伝える。

【主な事業】	情報発信事業費	156, 670千円
--------	---------	------------

## 11. 広聴施策について

無作為に抽出した5,000人の市民を対象に毎年実施している「市政アンケート」をはじめ、インターネットを活用した意見聴取システム「市政ごいけんばん」、市ホームページに設置している「市政への提案箱」などの広聴事業を引き続き実施し、行政上の課題や市民生活上の問題点を把握するよう努める。

【主な事業】	広聴活動事業費	3, 596千円
--------	---------	----------

# 知と交流の拠点施設整備事業費 (新図書館等拠点施設整備)

## 1. 目的

知識や情報、人に出会える滞在型図書館を核とし、市民の創造・交流活動の場となる多目的ホール、カフェ等を組み合わせた、「知」と「交流」の拠点施設の整備を進める。

## 2. 内容

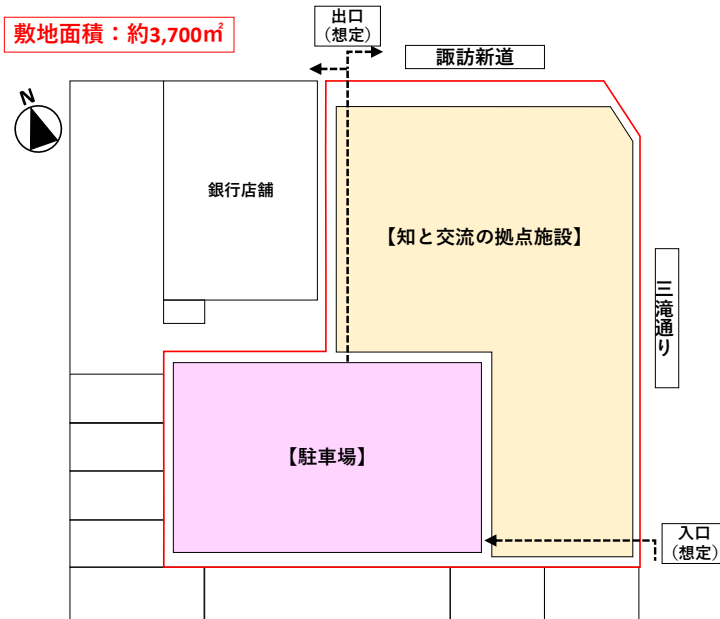
中心市街地の市役所北側民有地において、滞在型の「知」と「交流」の拠点施設整備に向け、市民意見をいただきながら、建物の配置、間取り、外観、構造、設備などの基本的な内容を図面としてとりまとめる基本設計を行うとともに、拠点施設からの雨水の流出抑制方策についての検討、地質調査を行う。

基本設計に合わせて実施する市民ワークショップについては、スターアイランド跡地での市民ワークショップ等でいただいた新図書館に関する市民意見に加えて、新たに多目的ホールなど図書館以外の機能を中心に市民意見をいただき、多目的ホールやワークショップスペースなど交流機能の使い方等について、基本設計に反映していく。

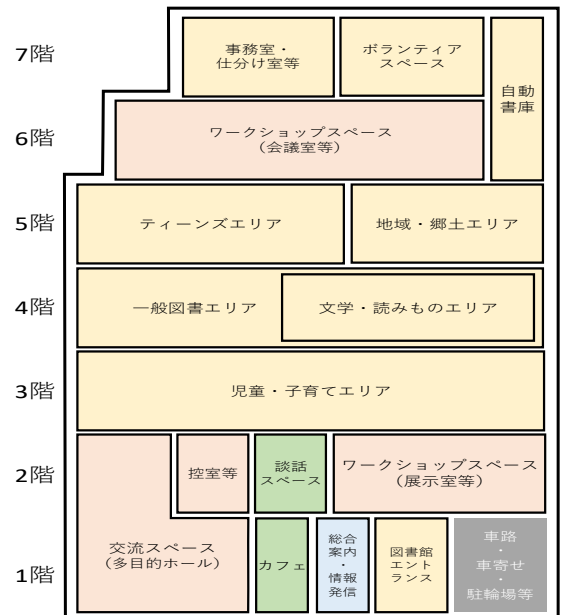
また、基本設計の次の段階である、実施設計から工事の段階においては、「設計施工一括発注方式（デザインビルド方式）」を採用する方針としている。そのため、基本設計と並行して、公募型プロポーザルによる施工者選定に向け、設計・工事の実施条件、建築の基本方針、施工者に求める内容や最低限の水準を取りまとめた要求水準書の作成や、審査会の運営支援等について業務委託を行う。

なお、要求水準書作成等プロポーザル支援業務については、業務期間が2か年に渡ることから債務負担行為を計上する。

【建物配置のイメージ】



【フロア構成のイメージ】



※建物配置・フロア構成については、基本計画（平成30年策定）の想定規模を基に配置したイメージであり、今後進める基本設計の中で内容を固める。

※2階のワークショップスペース（展示室等）については、活動の規模に応じて間仕切りを変更できる展示室のほか、多目的ホール（発表の場）と一体となった、音楽・ダンス・演劇など様々な活動の練習の場を設けるものとしている。

※6階のワークショップスペース（会議室等）については、知の拠点としてグループでの学習等に利用できる研修室・学習室のほか、市民が企画する講座等の開催場所や準備段階でのミーティングに利用できる、会議室等を設けるものとしている。

※なお、ワークショップスペースの規模（面積）については、他の公共施設との使い分けや役割分担を踏まえて、今後、基本設計を進める中で、基本計画の想定規模から見直しを検討する。

### 【業務区分】

業務区分	当初予算額	債務負担行為	合計額
基本設計	271,000千円	—	271,000千円
地質調査	26,000千円	—	26,000千円
要求水準書作成等 プロポーザル支援	8,100千円	18,900千円	27,000千円
合計	305,100千円	18,900千円	324,000千円

※基本設計については、現在、基本設計者の選定に向けた公募型プロポーザルを実施している。

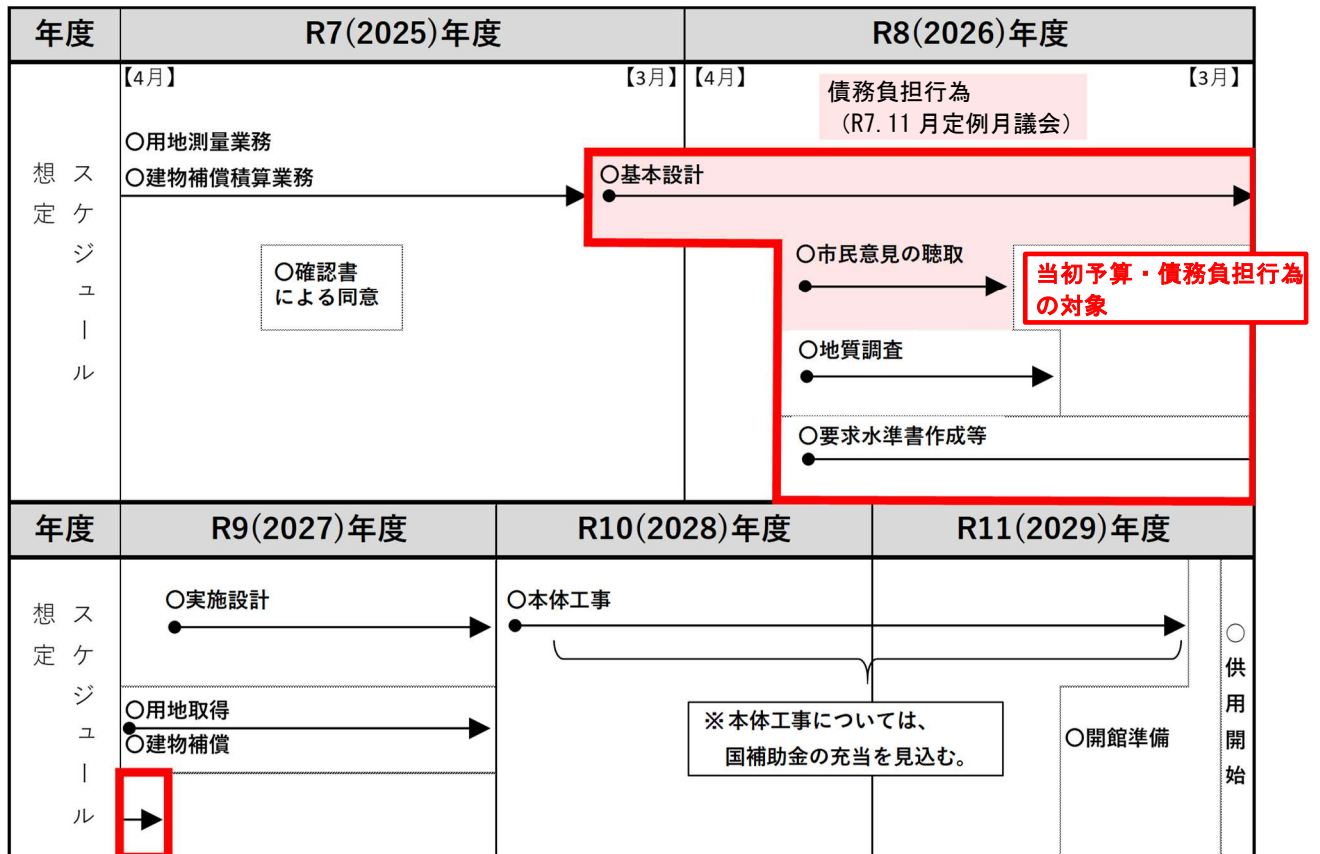
**3. 予算額** 305,100千円 (財源内訳) その他特財 305,100千円  
 (前年度 34,700千円) (都市基盤・公共施設等整備基金繰入金)

### 4. 債務負担行為

- ・知と交流の拠点施設整備要求水準書作成等プロポーザル支援業務委託費  
 限度額 18,900千円 (総事業費 27,000千円)  
 期間 令和8年度から令和9年度まで

## 5. スケジュール

- 各地権者等が、知と交流の拠点施設整備事業にご協力いただくに際し、「収用等の課税の特例（5,000万円控除等）」の適用に向け、三重県等の関係機関との協議を進める。
- この特例を適用するための協議には、「事業計画を示した各階平面図、立面図等」が必要となることから、今後、基本設計を進め関係機関との協議が整った後に、正式な買取申し出を行い、用地取得契約を結ぶこととなる。



担当 政策推進部 政策推進課  
後藤、疋田  
TEL 354-8112



# 大学等拠点施設整備事業費

## 1. 目的

人口減少・高齢化の進展、生産年齢人口の減少による労働力供給の不足が予測される中、デジタル化、脱炭素化等の世界的な潮流に伴う産業構造の変化に対応し、本市が、将来にわたり産業都市としての持続的な成長を遂げていくためには、地域の企業を支援、共に発展していくことが重要である。

人口減少が進む中で特に企業にとって人材の獲得が課題となっていることから、JR四日市駅前に大学を設置することで、地域産業界で活躍できる人材を育成するとともに、研究等を通じたイノベーションの創出により、地域産業の持続的な発展を目指す。

## 2. 内容

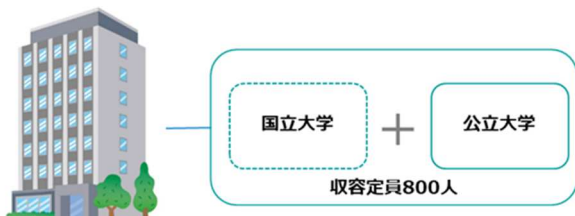
JR四日市駅前への大学整備に向け、建物の配置、間取り、外観、構造、設備などの基本的な内容を図面としてとりまとめる基本設計を行うとともに、用地測量、建物補償積算、地質調査を行う。加えて、建物の基本設計に合わせて施設からの雨水流出抑制方策についても検討を行う。

また、基本設計の次の段階である、実施設計から工事の段階においては、設計・工事を一括して発注する方式を採用することとしている。そのため、基本設計と並行して、公募型プロポーザルによる施工者選定に向け、設計・工事の実施条件、建築の基本方針、施工者に求める内容や最低限の水準を取りまとめた要求水準書の作成や、審査会の運営支援等について業務委託を行う。

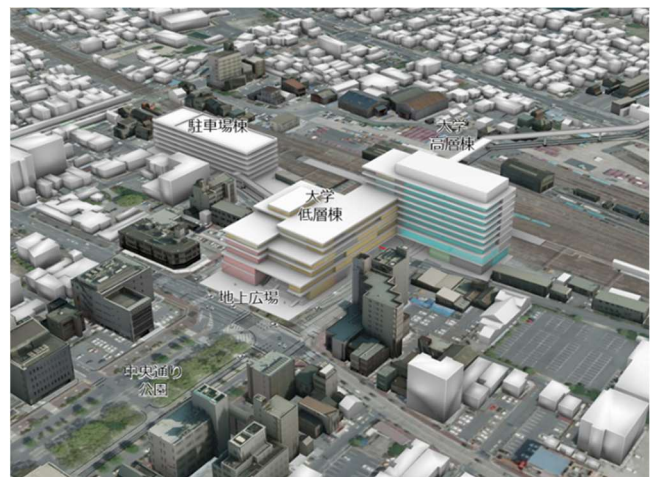
なお、基本設計及び要求水準書作成等プロポーザル支援については、業務期間が2か年に渡ることから債務負担行為を計上する。

あわせて、学長や学部長候補となる人材の検討を進め、これらの人材の意見を聞きながら、教育研究体系や企業との連携の具体的な検討を行う。

### 【JR四日市駅前に設置する大学】



### 【施設イメージ】



## 【業務区分】

業務区分	当初予算額	債務負担行為	合計額
基本設計	87,700千円	204,600千円	292,300千円
用地測量	79,200千円	-	79,200千円
建物補償積算	14,500千円	-	14,500千円
地質調査	41,500千円	-	41,500千円
要求水準書作成等 プロポーザル支援	13,600千円	31,600千円	45,200千円
教育研究体系の検討	4,000千円	-	4,000千円
合計	240,500千円	236,200千円	476,700千円

## 【スケジュール】

年度	大学整備	(参考) 大学設置
令和8年度	基本設計、用地測量、建物補償積算、地質調査、 要求水準書作成等プロポーザル支援	詳細計画検討 (教育課程、教員体制、 事務組織の検討)
令和9年度	基本設計、要求水準書作成等プロポーザル支援、 実施設計	
令和10年度	実施設計	
令和11年度	整備工事	設置認可申請書類作成
令和12年度	整備工事	設置認可申請
令和13年度	整備工事、備品搬入	設置認可、入試
令和14年度	開学	

3. 予算額 240,500千円 (財源内訳) その他特財 236,500千円  
(都市基盤・公共施設等整備基金繰入金)  
一般財源 4,000千円

## 4. 債務負担行為

- ・大学等拠点施設整備基本設計業務委託費  
限度額 204,600千円 (総事業費 292,300千円)  
期間 令和8年度から令和9年度まで
- ・大学等拠点施設整備要求水準書作成等プロポーザル支援業務委託費  
限度額 31,600千円 (総事業費 45,200千円)  
期間 令和8年度から令和9年度まで

担当 政策推進部 政策推進課 大学構想推進室 富田、岩田 TEL 354-8103
-------------------------------------------------

# 四日市港施設整備事業 (四日市港管理組合負担金)

## 1. 目的

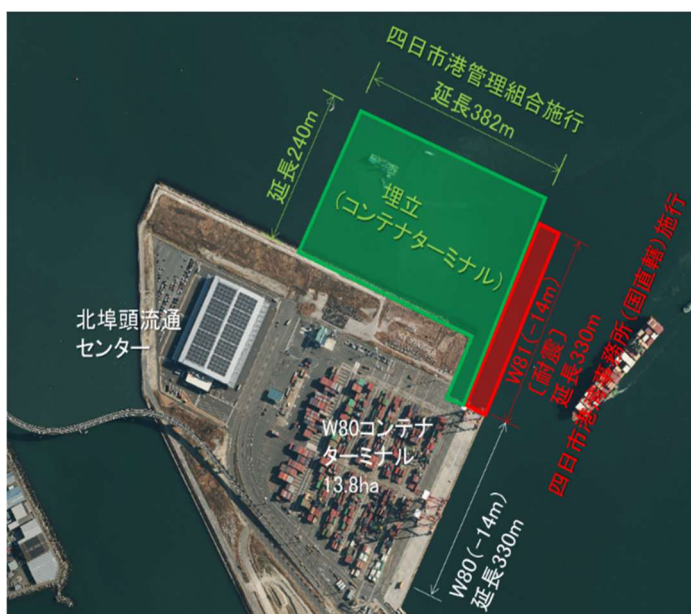
四日市港が、日本の代表的な国際拠点港湾として本市の多様なものづくり産業の成長と発展を物流面で支えるため、霞ヶ浦地区において、物流効率化や災害対応力の強化を図る。

また、石原・塩浜地区において、津波や高潮からの地域住民の生命・財産の防護や、企業活動の維持を図る。

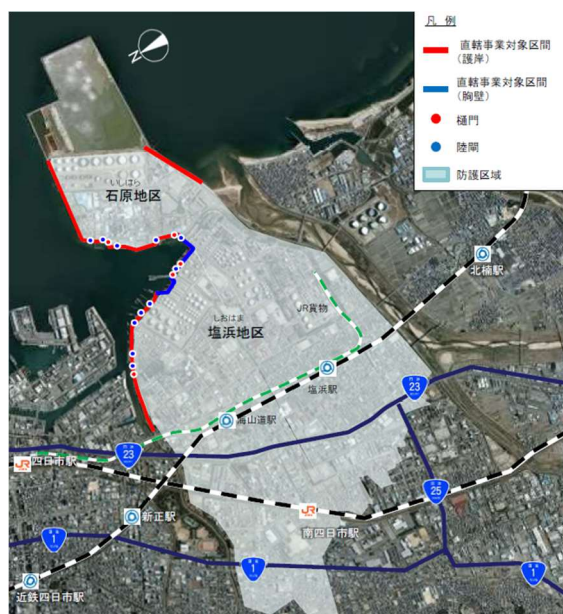
## 2. 内容

国が直轄事業として行う、霞ヶ浦地区北ふ頭のコンテナ船用耐震強化岸壁の整備（令和8年度における一部先行利用を予定）及び石原・塩浜地区の海岸保全施設の耐震改良と嵩上げを促進するにあたり、管理組合負担分を四日市港管理組合負担金の一部として負担する。

また、直轄事業が円滑に実施されるよう、三重県や四日市港管理組合、港湾事業者とともに設立した「四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会」及び「四日市港の海岸整備を進める会」の一員として、国に対して予算確保や計画的な事業推進を働きかける。



【霞ヶ浦地区北ふ頭】



【石原・塩浜地区海岸施設】

**3. 予算額**      37,296千円      (財源内訳) 一般財源      37,296千円  
 (前年度      38,184千円)

(参考：令和8年度四日市港管理組合負担金総額      1,335,677千円)

担当	政策推進部	政策推進課
	東内	
	TEL 354-8112	

# みなとまちづくり推進事業 (みなとまちづくり協議会負担金)

## 1. 目的

四日市港の発祥の地である四日市地区は、国指定重要文化財や国内唯一の現役の鉄道可動橋等の歴史的資源があり、中心市街地から比較的近くに位置していることから、従来の物流機能に加え、市民が憩い、賑わう交流拠点としての活用が求められている。

令和3年11月にみなとまちづくり協議会（主な構成員：四日市市、四日市港管理組合、四日市商工会議所、四日市港利用促進協議会、四日市港湾事務所）において策定された「みなとまちづくりプラン」に掲げる四日市地区みなとまちの将来像「モノ・ヒトがともに集う 出会い・憩い・賑わいのみなとまち～ 新たな“よっかいち庭浦”の実現～」に向け、中心市街地再開発プロジェクトと連携したみなとまちづくりを促進する。

## 2. 内容

「みなとまちづくりプラン」について、プランに示された将来像の実現に向けて引き続き関係者と協議を進めていく。

実証実験イベントである「YOKKAICHI BAURA ミーティング」を開催することで、みなとまちづくりの機運醸成を図る。また、将来的に目指す姿\*の実現に向け、中心市街地再開発プロジェクトとの連携を見据え、千歳運河の整備を実施するとともに、四日市地区を歩いて回ることができる動線の確保や、納屋防災緑地や千歳運河における集客施設の整備の方向性やコンセプト等について、外部有識者等の意見も取り入れながら、みなとまちづくり協議会で協議していく。

なお、みなとまちづくり推進事業にかかる費用は、四日市市、四日市港管理組合及び四日市商工会議所で負担する。



※千歳運河賑わい創造プロジェクトの将来的に目指す姿  
(みなとまちづくりプランより抜粋)



BAURA ミーティング「BAURA の夜市」の様子  
(令和7年10月)

**3. 予算額** 5,500千円 (財源内訳) 一般財源 5,500千円  
(前年度 3,500千円)

担当 政策推進部 政策推進課  
東内  
TEL 354-8112

# 魅力収集発信事業費

## 1. 目的

本市の魅力を市内外に効果的に発信することにより、東海エリアにおける西の中核都市としての存在感を示し、さらなる都市イメージの向上を図る。

また、三重県をリードする都市として、市外・県外からの評価を得ることにより、市民が本市を誇りに思う意識を醸成することを目的とする。

## 2. 内容

### (1) 地場産品等を活用した魅力発信および収集事業

20,000千円

本市の魅力あふれる地場産品の動画を活用した特設ホームページを制作し、この特設ページへ誘引するようなWEB広告を配信し、市内外に向け地場産品を通じた本市の魅力発信を行う。

あわせて、本市の都市イメージに関する調査を実施し、現状を把握するとともに、今後の更なる都市イメージの向上に向けた効果的な情報発信につなげる。



地場産品紹介のイメージ

### (2) 看板等を活用した魅力の発信

4,376千円

近鉄四日市駅周辺の柱看板等の各種広告媒体を活用し、本市の魅力を、鉄道利用者をはじめとする市内外の来街者に効果的に発信するほか、「地方版図柄入り四日市ナンバー」について、引き続き図柄入り四日市ナンバー普及促進協議会での協議を行うとともに、図柄入り四日市ナンバー普及に向けた周知を図る。



近鉄四日市駅南口のLED看板



図柄入り四日市ナンバー

3. 予算額 24,376千円  
(前年度 23,158千円)

(財源内訳) 一般財源 24,376千円

担当 政策推進部 広報マーケティング課  
大杉  
TEL 354-8244

# 総 務 部

## 新年度予算における基本的な方針

人口減少や高齢化などの社会環境の変化に対応し、本市が市民に不可欠な行政サービスを安定して提供していくため、多様な人材の確保に努めるとともに、職員の働き方改革を推進し、ワーク・ライフ・バランスの実現を図る。また、組織機構の改革に取り組むとともに、各種行政手続のデジタル化などを含めた「スマート自治体の実現」に向けた情報化の取組みを行うことで、さらなる業務の効率化と市民サービスの利便性向上を目指す。

公正な行政運営を推進するため、法務、公文書管理や入札契約制度、工事検査などの各種の内部管理業務を適正に執行するほか、個人情報取扱事務の適正な運用管理、情報セキュリティ対策を継続実施するとともに、開かれた市政の実現を図るため、市政情報の情報公開を推進する。

一人ひとりの人権が尊重されるまちを目指し、人権・同和行政についての答申等を踏まえた施策の推進を図る。

市民から信頼される市政の実現を図るため、職員研修を実施し、時代の変化に即応した高度・専門的な知識・技能や幅広い視野を持つ職員の育成に努めるとともに、職員の主体的な業務遂行や自発的な能力開発を促進する。

### 1. 働き方改革の推進について

庁内の働き方改革に向けた意識啓発と機運醸成を促し、職員のワーク・ライフ・バランスを実現するとともに、より一層の業務の効率化を図り、市民サービスの向上を目指す。

市民からの一般的な質問を一元的にまとめて回答するFAQ専用サイトと総合コールセンターを開設し、新たな問い合わせ窓口の拡充を図るとともに、窓口時間の見直しを行うことで、市民サービスの質の向上と働き方改革の推進の両立を図る。

#### 【主な事業】

総合コールセンター事業（行政手続のデジタル化事業） 38,900千円

### 2. 人権施策の推進について

総合計画に掲げた「多様な人権を尊重するまちづくり」の実現に向けて、市民一人ひとりが多様化・複雑化するあらゆる人権課題を自分自身の課題として受け止め、互いの違いを尊重しながら、誰もが自分らしく生きられる社会となるよう、よっかいち人権施策推進プランや同和行政についての答申等を踏まえ

た施策の推進を図る。

さらに、地域における人権教育・啓発・学習の拠点である人権プラザの利便性、安全性の向上を図るため、施設の改修等を行い、市民利用を促進する。

広く市民に対して人権を考える機会を提供するとともに、多くの市民が学習の機会を持つため人権研修を開催し、一人ひとりの人権尊重の意識を高め、差別をなくす行動がとれるよう教育・啓発に取り組んでいく。

四日市市部落差別をはじめとするあらゆる差別を無くすことを目指す条例について、人権施策等調査特別委員会の調査報告を踏まえ、令和8年度中の改正を目指し、見直し議論を進める。

【主な事業】	人権教育・啓発推進事業費	12,500千円
	人権意識向上・人材育成事業	6,250千円
	(うち職員研修所分)	1,200千円)
	人権相談体制強化事業費	1,200千円
	人権活動拠点施設整備事業費	31,724千円

### 3. 職員研修の充実について

職員研修については、職員の資質・能力の向上を図るため、引き続き階層別研修、建設技術系職員研修、特別研修、派遣研修を実施する。

階層別研修では、各階層に求められる職員の意識・職務遂行能力の向上を図るための研修を進めるほか、時間・場所を選ばない学習機会の提供及び多様な働き方への対応のため、研修の一部にeラーニングを導入する。

建設技術系職員研修では、新規採用職員を対象として、工事関連法規等の研修を実施するほか、高い専門性が求められる建設技術系職員の知識、技術力等の向上を目指したテーマ別の専門研修を実施する。

特別研修では、職員の資質向上や市民対応能力の向上、働きやすい職場づくりのための研修等を実施する。

派遣研修では、市町村アカデミー、技術系職員研修機関等の外部研修機関へ積極的に職員を派遣する。

【主な事業】	階層別研修費	9,494千円
	(うち人権意識向上・人材育成事業)	432千円)
	建設技術系職員研修費	1,313千円
	特別研修費	3,249千円
	派遣研修費	8,360千円
	(うち人権意識向上・人材育成事業)	768千円)

#### 4. 情報システム等の安定運用について

現在稼働している各情報システムについて、窓口業務を支援する住民情報システムや行政事務を支援する行政内部システムの安定運用に努めるとともに、市内のネットワークやパソコン、サーバ等の維持管理を継続して行う。

また、本市ホームページを再構築し、令和9年3月からの運用開始を目指す。

【主な事業】	窓口支援システム保守運用経費	285,961千円
	行政内部のIT化事業費	140,284千円
	行政内部のIT基盤整備費	556,322千円
	行政サービスのIT化事業費	61,553千円
	番号制度関連システム経費	7,930千円
	各種団体負担金	55,712千円

#### 5. スマート自治体の実現について

総合計画に掲げた「スマート自治体の実現」に向けて、令和8年度から開始する「第2次四日市市情報化実行計画」に基づき、以下の4つの推進計画事業を着実に進めることで、市民サービスの向上と行政事務の効率化を促進する。

AI・RPA等活用促進事業については、テレワーク及び職員間のコミュニケーションツールの利用促進を行うとともに、AI・RPA関連ソフトや自治体向け生成AIを活用し、業務効率の向上を図る。

標準化システム移行整備事業については、令和9年1月の本稼働に向けて、住民基本台帳や税などの業務を、国の標準仕様に準拠したシステムに移行する。

行政手続のデジタル化事業については、令和6年度に策定した「四日市市窓口業務デジタル化実施計画」に基づき、申請件数の多い行政手続のオンライン化を優先的にを行うとともに、窓口を訪れた市民が申請書を記載することなく行政手続を進められる「書かない窓口」や、複数の窓口を回ることなく1か所で事務手続きができる「回らない窓口」の開設と運用整備を行う。また、デジタル機器に不慣れな方でもデジタル化によるサービスを享受できるよう、スマホ教室の開催やオンライン申請サポート窓口での支援を継続する。また、LINE公式アカウントを再構築し、10月からの運用開始を目指す。

官民データ利活用事業については、官民データを蓄積するためのデータプラットフォームの維持管理を行うとともに、データを活用した地域課題解決のためのアプリ開発を行う。

【主な事業】	AI・RPA等活用促進事業費	75,139千円
--------	----------------	----------

標準化システム移行整備事業	290,209千円
行政手続のデジタル化事業	146,689千円
官民データ利活用事業	26,263千円

## 6. 入札契約制度について

入札及び契約の透明性、公正性及び競争性を高めることを基本理念として、適正な入札契約制度による執行を行う。

入札にあたって、総合評価方式等も含めた適正な入札方法の採用、適正な仕様及び納期等の契約条件の設定、過度な価格競争への対応等により、健全な競争環境の確保に努める。

また、電子入札システムを工事及び測量調査設計業務委託の入札並びに、~~物~~物品購入の見積合わせにおいて運用し、発注者及び応札者双方の事務の効率化、迅速化並びに応札者の利便性の向上を図っている。

【主な事業】 電子入札システム運用経費	22,748千円
---------------------	----------

## 7. 工事検査について

「公共工事の品質確保の促進に関する法律」に基づき、発注者の責務として、工事中及び完成時の履行状況の確認及び評価を適切に実施することが求められている。

このことから、施工中における適正な履行状況を確認し評価するため、監督職員に対して確実な段階確認の実施に努めるよう指導するとともに、完成時における適正な工事検査を実施し、工事の評価を適切に行う。

## 8. 選挙執行の準備について

令和9年4月の統一地方選挙における三重県議会議員選挙及び四日市市議会議員選挙の適正な執行に向けて、準備を着実に進める。

【主な事業】 県議会議員選挙費	36,605千円
市議会議員選挙費	27,283千円

# 人権教育・啓発推進事業

## 1. 目的

市民の人権尊重の意識を高め、差別をなくす行動に結びつけるため、教育・啓発に係る教材の開発に継続して取り組むとともに、それらを活用した人権教育・啓発を推進して、地域における人権・同和教育を充実させる。

令和6年度に実施した市民人権意識調査の結果をふまえ、インターネット時代におけるメディア・リテラシーを養成するため、社会教育の面からも教材開発に取り組むことで、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に努める。

## 2. 内容

- (1) 各地区人権・同和教育推進協議会等への支援 11,500千円  
各地区人権・同和教育推進協議会や各ブロック協議会がそれぞれの地域、及び複数の地域を対象として実施する教育・啓発・広報活動・交流活動等の支援を行う。
- (2) 人権学習教材調査・作成 1,000千円  
部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向けた施策に活用できるよう、市民人権意識調査や人権相談業務等を通じて差別の実態を把握し、インターネットと人権に関する啓発冊子等、人権啓発のための教材等の開発・作成を行う。

<b>3. 予算額</b>	12,500千円	(財源内訳) 県支出金 (1/2)	203千円
(前年度)	12,500千円)	一般財源	12,297千円

担当 総務部 人権センター  
高城  
TEL: 354-8609

# 人権意識向上・人材育成事業

## 1. 目的

市民が人権について基本的な知識を習得するとともに、より専門的な知識を深めるための学習機会の拡充を図る。

よっかいち人権大学を開講し、さまざまな人権課題やメディア・リテラシーと人権に関する講座等を実施することで、市民一人ひとりの人権意識を高める。

また、四日市人権啓発企業連絡会や各人権活動団体等の活動発表・啓発の機会を確保することで市民の人権意識の向上を図る。

さらに、職員が業務を遂行するにあたり、人権問題を正しく理解し、複雑化・多様化する人権課題に対し、職員自らが積極的に取り組むための研修を実施する。

## 2. 内容

(1) 人権学習推進事業 1, 850千円

①よっかいち人権大学の開催 1, 750千円

人権について広く学び、理解を深めるため、基本的な認識や知識を得ることができる「よっかいち人権大学あすてっぷ」と、より人権に関する専門的な知識を深める「よっかいち人権大学ステップアップ講座」を開催する。

②四日市人権啓発企業連絡会へ人権研修等の活動支援 100千円

多様な人権課題に対応できる企業づくりの推進と働く世代の人権意識の向上を図るため、企業の人事労務担当者に対する啓発や人権研修等の活動を支援する。

(2) じんけんフェスタの開催 3, 200千円

12月の人権週間に合わせて、広く市民に対して人権を考える機会として、人権講演会や、市内人権啓発活動団体の取り組み等を紹介する「じんけんフェスタ」を開催する。

(3) 職員人権研修 1, 200千円

部落差別について理解を深め、解消を推進する意識の向上を図るとともに、人権問題への認識を深め人権感覚を養うため、階層別研修等において、さまざまな人権に関する研修を実施する。また、外部で開催される人権研修等へ職員を派遣する。

3. 予算額 6, 250千円 (財源内訳) 県支出金 (10/10・1/2) 534千円  
(前年度 5, 050千円) その他特財 2, 896千円  
(まちづくり事業基金繰入金)  
一般財源 2, 820千円

担当 総務部 人権センター 高城  
TEL : 354-8609  
総務部 職員研修所 堀田  
TEL : 354-8128

# 人権相談体制強化事業

## 1. 目的

インターネット上での人権侵害や誹謗中傷など、様々な人権課題などに対応することができるように、相談業務に従事する職員自らの資質を検証・向上できる機会を提供する。

また、各相談員や関係課間で情報や内容等を共有するネットワークの充実を図るとともに、人権擁護委員など、人権に係わる各種団体等と連携し、相談者に寄り添うきめ細かな相談体制を目指す。

## 2. 内容

相談員間の連携強化が図られるよう、相談ネットワーク連絡会の充実を図り、法的知識の取得を目的とした、弁護士による法律学習会や、相談技法取得のための研修会など、様々な人権課題についての知識習得、相談対応の学習会を実施する。

人権擁護委員など、人権に係わる各種団体等との連携を図るために合同学習会や公開講座を実施する。

**3. 予算額** 1, 200千円 (財源内訳) 一般財源 1, 200千円  
(前年度 1, 200千円)

担当 総務部 人権センター  
高城  
TEL : 354-8609

# 人権活動拠点施設整備事業

## 1. 目的

人権啓発の拠点である人権プラザ等において、広域的な人権事業の展開、人権教育・啓発の推進、人権に関する市民活動の支援など、人権活動を推進していくために、誰もが利用しやすい人権活動拠点として整備していくとともに交流拠点機能の強化を図る。

## 2. 内容

空調設備改修事業	11,500千円
耐用年数を経過した空調設備を更新する。	
①小牧西児童集会所空調設備改修工事	9,800千円
②人権プラザ小牧空調設備改修工事設計業務委託	800千円
③人権プラザ神前・寺方児童集会所空調設備改修工事設計業務委託	900千円

<b>3. 予算額</b>	11,500千円	(財源内訳)	一般財源	11,500千円
(前年度	5,479千円)			

担当 総務部 人権・同和政策課  
山添  
TEL：354-8156

## A I ・ R P A 等活用促進事業費

### 1. 目的

A I（人工知能）・R P A（ロボットによる自動化）等の I C T の利活用により職員の働き方改革を進め、職員でなければできない業務に注力することで、市民サービスの質の向上を図る。

### 2. 内容

議事録作成支援サービス、自治体向け生成 A I の利用料や、A I ・ R P A 関連ソフトの更新ライセンス料等を計上する。なお、R P A についてはパソコンの自動操作を設定するシナリオの作成と維持管理を外部委託し、職員の活用意識を高めることで利用促進を図る。

また、職員間の迅速な情報共有を図るため、自治体専用のコミュニケーションツールや庁内無線 L A N 機器の維持管理に係る経費を計上する。

(1) 議事録作成支援サービス利用料	2, 4 2 0 千円
(2) A I ・ R P A ツール使用料	1 7, 4 2 4 千円
(3) R P A シナリオ作成業務委託	1 7, 5 0 0 千円
(4) デジタル人材育成研修実施業務委託	1, 9 8 0 千円
(5) コミュニケーションツール使用料	1 1, 8 8 0 千円
(6) 無線 L A N 機器維持管理経費	1 4, 6 3 5 千円
(7) 自治体向け生成 A I 利用料	6, 0 0 0 千円
(8) 証拠に基づく政策立案（E B P M）支援業務委託	3, 3 0 0 千円

<b>3. 予算額</b>	7 5, 1 3 9 千円	(財源内訳) 一般財源	7 5, 1 3 9 千円
(前年度)	9 3, 2 6 0 千円)		

担当 総務部デジタル戦略課  
行政 D X 推進室  
吉田  
TEL : 3 5 4 - 8 3 1 7

# (新) 総合コールセンター事業 (行政手続のデジタル化事業)

## 1. 目的

市役所によく問い合わせのある定型的な質問と回答（FAQ）を掲載した専用サイトと総合コールセンターを開設し、チャットボットとも連携することで市民がより迅速に問題を解決する手段を拡充し、利便性の向上を図る。

また、問い合わせ対応が少なくなることで得られた時間で、より丁寧な聞き取り等が必要な相談対応や他の業務に集中して取り組み、市民サービスの向上と職員の働き方改革の両立を図る。

## 2. 内容

(1) 総合コールセンター運営等業務委託 35,500千円  
令和9年1月に市役所によく問い合わせのある定型的な質問と回答（FAQ）を掲載した専用サイトと、電話オペレーターが対応する総合コールセンターを開設する。

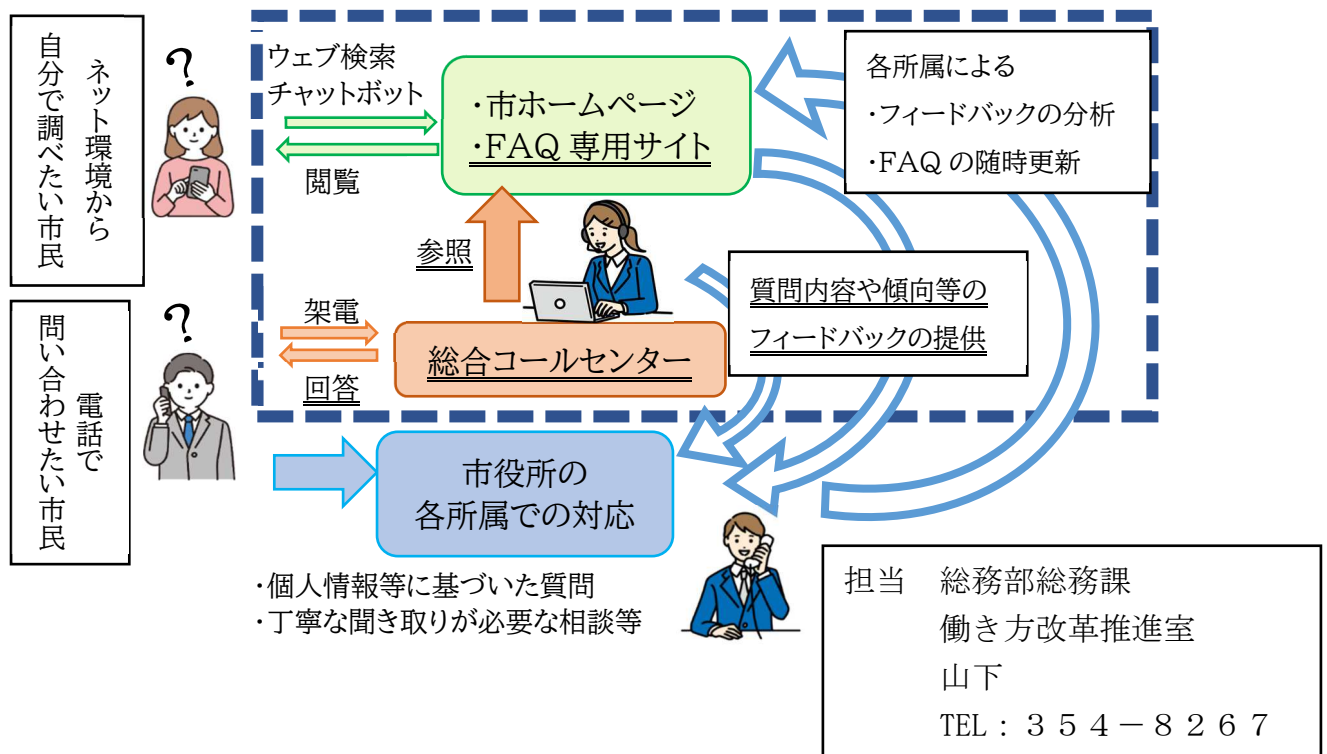
(2) 窓口時間等案内（自動応答）機能導入業務委託 3,400千円  
本庁舎等の所属に窓口時間外にかかってきた電話に対し、受付可能時間等について、自動音声による案内を行う電話機能を導入する。

3. 予算額 38,900千円（財源内訳） 国庫支出金（1/2） 7,950千円  
一般財源 30,950千円

## 4. 債務負担行為

- ・総合コールセンター運営等業務委託費  
限度額 229,266千円（総事業費 264,766千円）  
期間 令和8年度から令和11年度まで

【総合コールセンター運営イメージ】（ \_\_\_\_ …総合コールセンター運営等業務委託）



# 行政手続のデジタル化事業

## 1. 目的

自宅等で各種手続きがオンラインで完結できるしくみ（キャッシュレス化含む）の提供を目指し、市役所に来庁する手間を省く（行かない）とともに、窓口での手続においては同じ項目を何度も書く手間を省く（書かない）、待ち時間の短縮を図る（待たない）、1か所で複数の手続ができるようにする（回らない）などの取り組みを進め、市民の利便性の向上を図る。

## 2. 内容

(1) 電子申請システムの運用費 9,416千円

自宅等からオンラインで行政手続を可能とするための「電子申請システム」の運用を継続するとともに、申請件数の多い行政手続のオンライン化を優先的に行う。

(2) LINE公式アカウント運用管理費 19,180千円

市の公式LINEを活用し、各種行政手続の周知や案内を行うとともに、市民にとって有用な情報を配信するサービスを継続して提供する。また、新システムへの切り替えにより、利便性の向上と運用保守にかかる委託費の縮減を図る。

(3) デジタルデバイド対策費 11,370千円

スマホ等のデジタル機器に不慣れな市民にオンライン申請の操作方法等を理解していただくために、本庁舎内にてヘルプデスクの運用を継続するとともに、各地区市民センターでスマホ教室を開催することで、デジタル機器に親しみやすい場の提供を行う。

(4) 窓口のデジタル化推進費 106,723千円

窓口業務のデジタル化を推進するため、令和6年度に策定した「四日市市窓口業務デジタル化実施計画」に基づき、令和7年11月に提供を開始したチャットボットを引き続き運用する。また、1か所で複数の手続ができるようにする「回らない窓口」の開設に向け、システムおよび什器類の導入と運用整備を行う。

**3. 予算額** 146,689千円 (財源内訳)  
(前年度 84,141千円) 国庫支出金 (10/10・1/2) 46,198千円  
一般財源 100,491千円

担当 総務部デジタル戦略課  
行政DX推進室  
吉田  
TEL: 354-8317

## 官民データ利活用事業

### 1. 目的

行政や企業等が保有しているデータ（官民データ）を容易に利活用することができる環境を整備することにより、官民データを基にした市民サービスの向上や地域課題の解決を図る。

### 2. 内容

官民データを利活用するためのデータ連携基盤（データプラットフォーム）の運用費及びオープンデータの整備やデータを活用した地域課題解決のためのアプリ開発に係る経費などを計上する。

(1) データプラットフォーム保守運用業務	16,263千円
(2) オープンデータ整備・利活用支援業務	10,000千円

<b>3. 予算額</b> 26,263千円	(財源内訳) 一般財源	26,263千円
(前年度 34,682千円)		

担当 総務部デジタル戦略課  
行政DX推進室  
吉田  
TEL: 354-8317

# 財 政 経 営 部

## 新年度予算における基本的な方針

令和8年度当初予算の編成にあたっては、個人市民税及び法人市民税について、賃金の引上げや堅調な企業業績により増加するとした。固定資産税についても、企業の設備投資による償却資産増加などから増収が見込まれ、市税収入全体では、増収を見込んでいる。一方、歳出については、人件費増加のほか、人手不足による建設コスト増加など物価高騰の影響が見込まれることから、基金や市債を有効に活用しつつ、推進計画事業をはじめとした主要事業の着実な進捗を図る方針とした。

また、令和8年度は、総合計画の中間見直しから2年目にあたり、本市が目指す将来都市像に向けて、積極的な事業展開を図っていく。中心市街地再開発プロジェクトへの投資やこどもまんなか社会の実現など、中長期的な課題への対応を加速するとともに、令和7年9月の記録的な大雨の教訓から災害に強いまちづくりを推進していくために、これらの事業に対して重点的に財源を配分した。

その結果、令和8年度一般会計当初予算の規模は1,522億3,000万円となり、前年度と比べて69億円、4.8%増加し、過去最大の予算規模となった。

一方、予算の執行にあたっては、引き続き各部局において、最少の経費で最大の効果が得られるよう、適正な予算管理に努める。

歳入の約5割を占める市税については、引き続き課税対象の的確な把握に努め、税負担の公平性の観点から適正な課税を行う。また、税制度への納税者の十分な理解が得られるよう周知・広報を行いつつ、自主納付の推進と効果的かつ効率的な滞納整理に取り組むことにより、さらなる収納率の向上及び累積滞納額の削減を図る。

また、本市が保有するすべての公債権及び私債権については、債権管理推進本部及び各所管課の債権管理推進員が、債権管理の手続きや取り組み事例の情報共有を図り、債権管理基本方針に基づき主体的に滞納整理に取り組むことで効果的な回収に努める。

さらに、人口減少や少子高齢化の進行などの環境変化の中にあっても、持続可能な行政サービスを維持していくため、必要な改革には適切に投資を行う将来に備える行政改革に引き続き取り組む。また、市が保有する財産については、適正な管理を実施するとともに、不要な資産の売却・貸付や有効活用を図る。

## 1. 健全な財政運営の推進について

令和8年度の財政運営については、国によるバスタ整備と連携した中央通り再編事業の実施をはじめ、文化会館大規模設備等改修や堀川内水対策事業など投資的経費の増加に対応するため、都市基盤・公共施設等整備基金の繰り入れや市債の発行により着実な事業進捗を図っていく。

また、物価高騰対策については、学校や保育園等の給食食材費について、国の令和7年度総合経済対策における「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用す

る一方で、引き続き国の動向把握に努め、機動的な対応を行っていく。

一方、本市の中長期的な見通しでは、知と交流の拠点施設整備や四日市ドーム改修などの大規模事業のほか、高度成長期に建設された小中学校などの更新を見込んでいく。こうした見通しを踏まえ、令和8年度から開始する「財政プラン2026」のもと、引き続き計画的な基金の積み立てや適正な市債残高の維持に取り組み、将来を担う世代に過大な負担を先送りすることのないよう、健全かつ持続可能な財政運営に努めていく。

【主な事業】 財政管理経費

4, 181千円

## 2. 行財政改革等の推進について

### (1) 行財政改革の推進

市民ニーズに沿った将来にわたって持続可能な行政サービスの提供を目指し、令和8年度からスタートする「行政改革プラン2026」のもと、各改革アクション（取り組み）の着実な進捗を図る。

地方公会計制度にかかる取り組みでは、令和5年度に導入した固定資産管理システムへの資産登録等を通じ、各所属に減価償却費等を含めたフルコスト意識を定着させることで、政策立案に公会計の視点を生かせるよう、継続支援を行う。

また、財務書類及び施設別行政コスト計算書等から得られる情報を各所属における経年比較分析や適正な受益者負担（施設使用料・手数料）の検討に活用するほか、市民や議会に対し、公会計独自の指標を用いた本市の現状分析をわかりやすく発信する。

指定管理者制度においては、令和9年度から管理運営する施設について、指定管理者の公募や選定・適格審査を適正に行うとともに、管理運営中の施設については、公共サービスの水準、サービス提供の継続性、公共施設の安全性を担保する観点から、指定管理者モニタリングを実施する。

【主な事業】 行財政改革推進費

9, 855千円

### (2) 公共施設マネジメントの推進

高度経済成長期以降に建設された公共施設の大量更新を見据え、適正管理を目的とした公共施設マネジメントに継続的に取り組む。

施設保有量の適正化については、「行政改革プラン2026」の改革アクション（取り組み）に位置付けた対象施設の進捗管理を行う。特に、新たな施設の整備にあたっては、市民にとって必要なサービスが持続的に提供できる施設を目指し、利用率向上と経費縮減を目的に、民間ノウハウが最大限発揮できる効果的な官民連携を進める。また、「四日市市公共施設等総合管理計画」や「四日市市公共施設個別施設計画」の改定に向け、先進事例調査等の準備作業を進める。それ以外の施設についても、「公共施設あり方チェックシート」を用いて管理状況（老朽化状況、利用状況等）を確認し、効果的・効率的な管理運営及び施設適正化の必要性について検討する。

### 3. 市税の賦課徴収について

#### (1) 土地評価業務

土地の分合筆及び地目変更に伴う画地計測や、新設道路に対する新規路線価の算定等を行い、適正な評価による固定資産税の課税を図る。

令和9年度評価替えに向け、標準宅地の鑑定評価価格を基に、道路の幅員や駅までの距離等の価格形成要因に応じた路線価等を決定する。

【主な事業】 土地評価関係経費 63,801千円

#### (2) 市税自主納付の推進と滞納額の削減

市税収納については、引き続き納期内納付や口座振替の普及に努めるほか、地方税共通納税システムによる支払い方法の多様化にも対応しつつ、自主納付の一層の推進を図る。

市税滞納については、滞納額の削減のため、滞納初期の段階で納付催告を行い、納付困難な場合には収入状況に応じたきめ細かい納付相談を行うとともに、所管課から移管を受けた税外債権と併せて適正かつ効果的な滞納整理を実施する。

【主な事業】 自主納税推進経費 38,250千円  
累積滞納者対策事業費 19,697千円  
税外債権滞納整理事業費 15,544千円

### 4. 保有資産の適正な管理と有効活用について

市が保有する財産について、除草や剪定を行うなど、適正な維持管理を行うとともに、土地の境界確定や測量を進める。また、不要財産について、売却や貸付に取り組むとともに、市庁舎の空きスペースを活用して庁舎モニター広告等を設置するなど、市有財産の有効活用を図る。

【主な事業】 普通財産管理費 42,447千円  
登記事務費 8,134千円

### 5. 市庁舎等の適正な管理運営について

公共施設等総合管理計画に基づき、計画的な予防保全工事として、本町プラザ外壁改修及び屋上防水改修工事、市庁舎北館屋上防水改修ほか工事、市庁舎汚水ポンプほか更新工事、本町プラザ自家発電機更新工事設計業務委託を行う。

また、市庁舎冷温水発生機等の空調設備の更新にあたり、エネルギー等の削減につながる施策として、民間事業者の知見を生かした設計・施工、維持管理等を行うE S C O事業を進める。

【主な事業】 市庁舎等整備事業費（アセットマネジメント） 186,540千円

市庁舎等管理運営費	786,623千円
本町プラザ管理運営費	52,520千円

## 6. 桜財産区の管理について

桜財産区が所有する山林の一部を公益財団法人四日市市文化まちづくり財団に貸し付け、アスレチックコース等の用に供するほか、その貸付収入で山林保育等の管理を行う。

## 市庁舎等整備事業費（アセットマネジメント）

### 1. 目的

四日市市公共施設等総合管理計画に基づき、計画的な予防保全工事の実施により、施設・設備の長寿命化を図り、施設の維持管理経費の低減と財政負担の平準化を図る。

### 2. 内容

#### (1) 予防保全工事

・本町プラザ外壁改修及び屋上防水改修工事	111,624千円
・市庁舎汚水ポンプ更新ほか工事	25,078千円
・市庁舎北館屋上防水改修ほか工事	49,264千円

#### (2) 設計業務委託

・本町プラザ自家発電機更新工事設計業務委託	574千円
-----------------------	-------

<b>3. 予算額</b> 186,540千円	(財源内訳) 市債	18,800千円
(前年度 163,248千円)	一般財源	167,740千円



市庁舎北館屋上防水等改修工事



本町プラザ外壁改修及び屋上防水改修工事

担当 財政経営部 資産マネジメント課  
渡邊  
TEL 354-8288

**市庁舎等管理運営費**  
**(四日市市庁舎等設備更新型E S C O事業)**

**1. 目的**

市庁舎の冷温水発生機等の空調設備について、老朽化にともなう更新及び維持管理等を実施するにあたり、国が省エネルギー政策として推奨するE S C O事業を導入することで、環境負荷の低減を図る。

**2. 内容**

- ・冷温水発生機更新（2台）
- ・空調機更新（8台）等
- ・維持管理、省エネルギー保証



冷温水発生機



冷温水発生機

**3. 予算額** 292,600 千円  
(前年度 195,066 千円)

(財源内訳) 市 債 219,400 千円  
一般財源 73,200 千円

担当 財政経営部 資産マネジメント課  
渡邊  
TEL 354-8288

# 市 民 生 活 部

## 新年度予算における基本的な方針

少子高齢化の進展や生活様式の多様化、地震や風水害等の大規模災害への対応に加え、最低賃金や物価の急激な上昇など、本市の地域社会を取り巻く環境の変化に対応するため、地域住民に対する自治会への加入促進と自治会活動の推進、法人化を含めた自治会組織の体制強化を図るなど、地域コミュニティの維持・向上に努める。

併せて、市民一人ひとりが地域社会の構成員として互いの個性を認め合い、共に支えあって暮らすことができる地域社会の実現を目指し、令和8年度から新たにスタートする市民協働促進計画や男女共同参画プランをはじめとする各種計画に基づく様々な施策を実施する。また、安全なまちづくり基本計画及び多文化共生推進プランについては、計画の最終年度であることから、次期計画・プランを策定する。

市民課等の窓口での戸籍・住民異動届等の受付や各種証明書の交付にあたっては、個人情報取り扱いに留意し、正確かつ迅速に処理を行いつつ、一層の市民サービス向上に努める。また、マイナンバーカード及び電子証明書の更新手続き者数の増加に対応するため、引き続き窓口体制等を強化する。

あさけプラザについては、計画的に改修工事を行い、利用者に親しまれる施設として安全で快適な環境を提供していくとともに、今後の新たな利活用に向けた検討を行う。

## 1. 地域社会づくりについて

自治会、NPO、ボランティアなどが実施する、公益性が高く、継続的な市民活動に対して補助金の交付や活動の場の提供などの支援を行うことにより、それらを行う団体の育成及び市民活動の活性化を図る。

住民のつながりの醸成などさまざまな分野における地域の課題解決や特色ある活動、まちづくり構想の推進が迅速に遂行できるよう、地区市民センターの館長権限予算をコンペ方式で配分し対応する。

併せて、自治会への加入促進と自治会活動に対する理解を深めるため、自治会の活動や役割等を紹介するパンフレットを引き続き配布するなど、積極的な広報・啓発に努める。また、自治会の継続的な活動等に資する法人化を促進するため、これまでのパンフレットの配布に加え、令和7年度に作成した動画を市ホームページに掲載するなど、積極的な広報・啓発に努めるほか、法人化に係る費用への補助金等による支援を引き続き行う。

さらに、集会所建設費補助金を活用し、地域活動拠点である集会所の維持管理に対する支援を行うなど、自治会を含めた地域団体の持続的・安定的な運営に向けた支援を行う。

公共施設の適正化の一環として、令和7年度末で用途廃止する楠ふれあいセンターについては、その一部の機能を楠地区内の近隣施設へ移転させ、施設の集約化を図る。

また、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律に基づき、性の多様性に対する理解を深めるための講演会等を実施し、正しい理解を図るための啓発に努める。

市民活動の持続的な発展に向けて市民協働を促進するため、令和8年度からの5か年を計画期間とする第3次市民協働促進計画に基づき、これまでの取り組みを踏まえたうえで、専門的能力を提供して社会貢献するプロボノ支援事業、市民協働を促進するための担い手育成や中間支援の強化を目的とした協働委託、地域づくりの中心となる人材の育成とネットワークの構築を目的とした地域づくりマイスター養成講座など各事業の積極的な展開を図る。

さらに、なやプラザの管理運営を通じて、市民活動や生涯学習活動を行う市民活動団体等を支援する。

市民が安全で安心して生活できる地域社会の実現に向け、地域の自主防犯団体などが行うパトロールに必要な防犯用品の購入等に対する補助や自治会が管理する防犯外灯及び防犯カメラの設置・修繕等にかかる補助を行い、地域における防犯力の向上を図るとともに、市が設置する防犯カメラについても引き続き、未設置の駅前広場への設置を進める。

加えて、令和9年度からを計画期間とする第2次安全なまちづくり基本計画の策定に取り組む。

公共の場所における不当な客引き行為等の防止に向けた客引き行為等適正化指導について、県警OB等による巡視、指導に加え、警備業者への指導業務の委託を開始する。また、地域住民や警察との合同パトロールをはじめとした関係機関との連携による取り組みを推進する。

このほか、犯罪被害が生じた場合に、その被害者等が一日も早く平穏な暮らしを取り戻すための支援や制度等の周知に取り組む。

<b>【主な事業】</b>	性の多様性に対する理解促進事業費	480千円
	自治会連絡事務費	74,234千円
	連絡員経費	141,413千円
	地区市民センター管理運営費	279,326千円
	地区市民センター整備事業費	1,316千円
	地区市民センター整備事業費（アセットマネジメント）	820千円
	地域活動費（うち館長権限予算）	20,000千円
	地域社会づくり総合事業費補助金	114,294千円
	地区市民センター住民運営推進事業費	241千円
	集会所建設費補助金	32,400千円
	自治会法人化促進事業費	1,899千円
	市民活動総合保険経費	3,760千円

防犯外灯新設維持費補助金	75,317千円
市民協働促進事業費	3,603千円
地域づくりマイスター養成事業費	492千円
市民活動センター運営費	4,923千円
安全なまちづくり推進経費	6,147千円
犯罪被害者等支援事業費	1,152千円
客引き行為等防止啓発事業費	22,395千円
地域防犯活動推進事業費	2,700千円
防犯カメラ設置事業補助金	22,200千円
なや学習センター管理運営費	18,349千円

## 2. 生涯学習活動支援について

市民大学については、市民の主体的な学習活動を支援するため、市民活動団体や大学等が企画運営を行う講座を開催する。

熟年大学については、高齢者等が学びながら仲間づくりをし、社会参加への意欲を高め、地域づくりに参加できるよう、楽しく学べる場、活動できる場を提供する。

また、地域に根差した市民の生涯学習活動を推進するため、地域課題や住民・社会ニーズに基づく講座を地区市民センターで開催する。

【主な事業】	市民大学一般クラス経費	3,670千円
	熟年大学経費	3,755千円
	地区市民センター生涯学習事業費	5,200千円

## 3. 市民・消費生活相談室事業について

消費生活などの日常生活上の様々な問題を市民が自主的に解決できるよう、弁護士等の専門家による相談を実施するとともに、相談員の資質向上に努める。同時に、市民活動におけるトラブル等を未然に防ぐため、市民活動を対象とした弁護士相談を実施する。

また、特殊詐欺等の被害を未然に防止するため、満65歳以上の方を対象として、自動通話録音警告機能付きの固定電話機及び固定電話機に外付けする自動通話録音警告機の購入費の一部を補助するとともに、悪質商法や特殊詐欺の手口と対処法について、消費者講座、専門の講師を派遣する出前講座等や消費生活展の開催を通じて、若者から高齢者まで、市民が安全・安心な生活を送れるよう周知、啓発する。

【主な事業】	市民相談室運営費	2,546千円
	消費生活相談事業費	9,575千円
	自動通話録音警告機購入費補助金	1,400千円

#### 4. 多文化共生推進室事業について

国籍や文化の違いを豊かさとして生かし、すべての市民が共に支えあって暮らす「多文化共生社会」の実現に向けて、「多文化共生推進プラン」に基づき、施策を推進する。

外国人市民の増加が今後も見込まれる中、国・県等の関係機関と連携しつつ、日本語の理解が十分でない外国人市民が安心して相談できるよう、通訳者の配置やタブレット端末によるテレビ電話通訳、多言語電話通訳、多言語による情報提供等のサービスを継続的に提供し、多文化共生総合相談ワンストップサービスセンターの体制を維持する。また、地区市民センター窓口等においても、タブレット端末を活用したテレビ電話通訳サービスでの多言語対応を進める。

さらに、外国人市民の日本語学習環境を強化するための総合的な体制づくりに引き続き取り組む。加えて、災害時において、外国人市民自らが、支援者の立場として行動できるよう啓発・育成を行うとともに、外国人市民のコミュニティを把握し、外国人市民のセーフティネットの構築を図る。

なお、外国人市民が集住する笹川地区においては、多文化共生サロンを拠点に多文化共生推進コーディネーターの戸別訪問などを通じて、外国人市民の生活実態やニーズの把握を行うとともに、住民同士の交流の促進、生活に根差した日本語の学習支援等、多文化共生の地域づくりに向けた事業を、地域団体等と連携して実施する。

【主な事業】	国際化事業補助金	8,000千円
	多文化共生推進事業費	41,901千円
	笹川地区共生推進事業費	9,299千円
	多文化共生サロン管理運営事業費	5,007千円

#### 5. 男女共同参画課事業について

「男女共同参画社会の実現」に向けて、令和8年度から新たにスタートする「男女共同参画プランよっかいち（はもりあプラン）2026～2030」に基づき施策を推進する。また、男女共同参画センター「はもりあ四日市」が30周年を迎えるにあたり、はもりあフェスタ等を記念事業に位置付け実施する。

プランの基本目標に掲げる「男女ともに活躍できる環境づくり」に向け、市内企業の女性従業員を対象に、次世代リーダーを育成するためのキャリアデザイン研修や、デジタルスキルの習得及びデジタル分野への就労を支援するための女性デジタル人材育成事業を実施するほか、働く女性、働きたい女性が抱える、キャリア形成や働く上でのさまざまな悩みに関する相談を実施する。

DV等困難な問題を抱える女性の相談に対応するため、法律相談や心理相談、SNS相談を実施するほか、シングルマザーや離婚を考えている女性を対象に家計相談を行う。また、男性の臨床心理士による、男性のための電話相談を実施する。さらに、配偶者等からの暴力防止対策として、若年層を対象とした男女平等教育・デートDV予防教育を実施するとともに、DV防止啓発講演会を開催するなど、DVをはじめとする暴力のない社会づくりのための取り組みを進めていく。

【主な事業】	男女共同参画審議会委員報酬	205千円
	ワーク・ライフ・バランス推進事業費	7,967千円
	学習機会提供事業費	2,265千円
	相談事業費	8,151千円
	配偶者暴力防止対策事業費	2,055千円

## 6. 市民課事業について

個人情報 を適正に管理し、戸籍や住民異動届等の受付、各種証明書の交付など正確かつ速やかな窓口サービスを提供する。

行政事務のデジタル化の推進やマイナンバーカードの国際利用の促進などを図るため、本籍人に対して通知を送付した「氏名の振り仮名」について、順次、戸籍への記載を行う。

また、マイナンバーカード及び電子証明書の更新手続き者数の増加が引き続き見込まれることから、コールセンターと出張申請サポートを一体的に委託することで、さらにスムーズな運営に努める。

【主な事業】	戸籍住民基本台帳情報システム運営費	43,575千円
	戸籍住民基本台帳事務費	186,928千円
	市民窓口サービスセンター運営費	3,610千円
	住居表示管理経費	1,638千円
	番号制度関連経費	226,115千円
	コンビニ交付事業費	38,104千円

## 7. あさけプラザ事業について

開館から41年を経過した施設について、日常点検を徹底するとともに計画的な建物の保全及び設備の更新を進め、安全性・利便性の向上を図る。令和8年度においては、体育館の空調設備整備に向けた設計をはじめ、ホールのスピーカーの更新を行う。

また、幅広い年代の人々が交流する広域的な複合施設として、今後も安全で快適な施設運営や安定的な貸館サービスの提供に努めるとともに、各種講座やコンサートなど自主事業の充実に取り組む。

さらに、今後のあり方や利活用について、あさけプラザ運営協議会において協議を行う。

【主な事業】	あさけプラザ管理運営費（貸館事業）	117,568千円
	あさけプラザ管理運営費（図書館事業）	5,045千円
	あさけプラザ整備事業費（貸館事業）	12,000千円
	公共施設アセットマネジメント	2,000千円
	あさけプラザ図書資料整備費	3,244千円
	あさけプラザ運営協議会負担金	1,300千円

## 自動通話録音警告機購入費補助金

### 1. 目的

特殊詐欺や悪質な電話勧誘等から、市内の高齢者の被害を未然に防止するため、固定電話への自動通話録音警告機の設置を促進する。

### 2. 内容

- (1) 自動通話録音警告機購入費補助金 1,400千円  
 満65歳以上の方を対象に、固定電話機に外付けする自動通話録音警告機の購入費の一部補助に加え、令和8年度より、新たに自動通話録音警告機能付きの固定電話機の購入費の一部を補助することにより、特殊詐欺や悪質な電話勧誘等からの被害を未然に防止する。

	令和7年度	令和8年度
補助対象機器	① 自宅の固定電話へ外付けする自動通話録音警告機	① 自宅の固定電話へ外付けする自動通話録音警告機 ② <b>【拡充】</b> 自動通話録音警告機能付きの固定電話機 ※電話の着信時に、電話の相手方に警告音声を発する機能を有し、かつ、通話中に自動的に通話内容を録音する機能を有するもの
補助対象者	市内在住の満65歳以上の方	変更なし
補助金額	2分の1（上限7千円）	

- 3. 予算額** 1,400千円 (財源内訳) 一般財源 1,400千円  
 (前年度 1,400千円)

担当 市民生活部 市民協働安全課  
 市民・消費生活相談室 田中  
 TEL 354-8147

# 配偶者暴力防止対策事業費

## 1. 目的

配偶者等からの暴力の防止や被害者の保護及び自立支援を図るとともに、若年層から男女平等教育・デートDV予防教育を実施することに加え、親から子への暴力の連鎖をなくすなど、あらゆる世代に向けた暴力防止のための啓発を目的とする。

## 2. 内容

- (1) **【拡充】DV防止啓発講演会** 394千円  
DV防止のため、「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11月12日～25日)を見据えて、市民や関係機関等を対象としたDV防止啓発講演会を開催する。また、令和8年度は、男女共同参画センター「はもりあ四日市」が30周年を迎えることから、記念事業に位置付け広く市民に啓発する。
- (2) 男女平等教育・デートDV予防教育推進事業 717千円  
市内の保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校、高校等に講師を派遣し、学習の段階に合わせた講座を実施する。また、市内の教職員を対象に研修会を開催する。
- (3) スーパービジョン事業 200千円  
複雑・多様化する相談に適切に対応するため、相談員の資質向上を図るとともに、相談員自身の精神的ケアを行うスーパービジョンを実施する。
- (4) 弁護士及びカウンセラーとのアドバイザー事業 744千円  
相談員が弁護士及びカウンセラーに必要な応じて、いつでも専門的な助言や指導を得ることができる体制を整備する。

3. 予算額 2,055千円  
(前年度 1,875千円)

(財源内訳)  
国庫支出金(1/2) 100千円  
県支出金(1/2) 212千円  
一般財源 1,743千円



男女平等教育・デートDV予防教育推進事業

担当 市民生活部 男女共同参画課  
葛山  
TEL 354-8331

# 客引き行為等防止啓発事業費

## 1. 目的

公共の場所において、市民等に著しく不安を与え、迷惑をかける客引き行為等を防止し、市民等が安心して通行し、利用することができる快適な環境を確保するため、巡視活動及び周知啓発などを行う。

## 2. 内容

(1) **【拡充】** 巡視活動の実施 21,700千円  
「客引き行為等の防止に関する条例」(平成28年7月1日施行)に基づき、中心市街地の指定区域において、客引き行為等適正化指導員による定期的な巡視活動を行う。また、警察と連携した合同パトロールなどの取り組みを行う。  
現指導員の高齢化や県警OBの確保が困難な状況を踏まえ、令和8年度以降の指導体制の継続のための指導員確保策として、新たに客引き行為等適正化指導業務の警備業者への委託を行う。

(2) 周知啓発 695千円  
条例のさらなる周知を図り、安全安心なまちづくりに寄与するため、毎月、地域住民との繁華街のパトロールを実施する。また、年2回、地域住民、警察署と合同で横断幕を掲げた行進やチラシ配布による街頭啓発キャンペーンを実施する。  
さらに、「客引き行為等禁止区域」において、路面標示シートを設置し、歩行者や利用者に視覚的にわかりやすく周知するとともに、客引き行為の抑止力を高める。

3. 予算額 22,395千円 (財源内訳) 一般財源 22,395千円  
(前年度 1,179千円)



街頭啓発キャンペーン (令和7年7月)



路面シール

担当 市民生活部 市民協働安全課  
谷  
Tel 354-8179

# 健康福祉部

## 新年度予算における基本的な方針

高齢者や障害のある人をはじめ地域に暮らす全ての人が、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、公的福祉施策の適切な運営をはじめ、認知症施策の推進を図るとともに、担い手の育成や地域づくりに努める。

また、地域での支えあいや生活困窮者支援、孤独・孤立への対応等、地域福祉を取り巻く環境が厳しい状況にある中、必要な福祉サービスの提供が継続され、市民が安心して暮らすことのできるよう施策を講じていく。

感染症対策については、新たな感染症の発生に備え、現在、改定を進めている「新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき、平時から実践的な訓練などを実施しながら対策強化を図っていく。

加えて、誰もがいつまでも健康で自立した生活を送るために、働く世代から高齢者までのあらゆる世代が自らの健康に関心を持ち、健康づくりを実践することで、健康上の問題で日常生活が制限されることなく、いきいきと活躍できる社会を目指し取り組んでいく。

## 1. 地域福祉について

福祉施策を推進するため「第5次四日市市地域福祉計画（令和6年度～令和10年度）」に基づき、地域に暮らす誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、包括的な支援体制の整備をはじめ、安全・安心に暮らせる仕組みづくりなど地域福祉の推進を図っていく。

住み慣れた地域の身近な相談相手である民生委員・児童委員については、担い手の確保と活動しやすい環境整備に向け、令和7年度に開始した大学生が民生委員の活動支援をする民生委員協力員制度（エリアパートナーズ）に加え、令和8年度からは地域で民生委員が行う見守り活動の支援や、地域に関する情報提供など、個々の民生委員のサポーターとして役割を担う民生委員協力員制度（ペアパートナーズ）を実施する。

包括的な支援体制の整備については、引き続き「重層的支援体制整備事業」に取り組む。特に既存の福祉制度では解決が難しい事例については社会福祉士等の専門職の力を借りながら、一人ひとりの福祉課題に沿った伴走支援を行う。

また、高齢者や障害者など福祉的配慮が必要な人が安全・安心に暮らせるよう、発災時における個別避難計画の作成を進める。特に配慮が必要な人については、ケアマネジャー等福祉専門職による個別避難計画の作成を進めることにより、より実効性のある計画作成を目指す。

【主な事業】 社会福祉一般事業費（福祉総務課）（民生委員・児童委員関係部分）	8, 939千円
重層的支援体制整備事業費	12, 043千円
福祉防災関係経費	28, 126千円

## 2. 高齢者福祉について

本市の65歳以上人口は、令和7年10月1日現在、80,769人で、高齢化率は約26.5%と、依然として高い水準となっている。これに伴い、一人暮らし高齢者や認知症高齢者も増加し続けており、地域の高齢者を取り巻く環境は、ますます厳しくなりつつある。

こうした状況のもと、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう医療・介護・予防・住まい・生活支援などのサービスが切れ目なく一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の深化・推進を目指して、「第9次介護保険事業計画・第10次高齢者福祉計画」に基づいた介護保険事業・高齢者施策を展開する。

認知症施策については、現在策定を進めている「四日市市認知症施策推進計画」に基づき、認知症に関する地域の理解促進に努めるとともに、民間企業との連携体制構築を進め、認知症フレンドリー社会の実現に向けた取り組みを推進する。

また、「介護予防・日常生活支援総合事業」による住民主体の取り組みの育成・支援をさらに進めながら、地域における介護予防の推進、生活支援の充実に努め、フレイル対策として、引き続き難聴高齢者の補聴器購入費用を助成し、積極的な社会参加を促進していく。

【主な事業】 保険給付費（介護保険サービス）	22, 316, 494千円
地域包括ケア相談支援体制強化事業	497, 749千円
高齢者の元気づくり支援事業	114, 192千円
介護予防・生活支援体制整備事業	133, 646千円
認知症総合支援事業	104, 345千円

## 3. 障害者福祉について

「第5次障害者計画」「第7期障害福祉計画」に基づき、障害のある人が地域において自立した生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスの利用に向けた計画相談支援の充実に図り、居宅介護事業、生活介護事業などの障害者施策を推進する。また、住み慣れた地域で暮らし続ける場としての共同生活援助事業などの自立支援給付事業について、利用状況や施設整備の状況を把握し、安定した障害福祉サービスの提供に努める。

引き続き、障害者医療費助成を行い、障害のある人が必要な医療を受ける機会の保障とその負担の軽減によって、病状の進行や重症化の防止を図る。

また、障害者の夕方の時間帯における支援ニーズに対応するため、日常生活において常時介護が必要な方を対象に支援を拡充し、障害者の社会的な自立や家族等の介護者の負担軽減を図る。

障害福祉施設（あさけワークス、共栄作業所、たんぼぼ及び障害者体育センター）については、障害福祉サービス施設（多機能型）と障害者スポーツ施設として、西日野福祉エリアへの集約・再整備を行うための基本設計を行う。

【主な事業】	居宅介護等事業費	1, 006, 000千円
	生活介護事業費	2, 457, 000千円
	共同生活援助事業費	1, 353, 000千円
	計画相談支援事業費	97, 000千円
	日中一時支援事業費	47, 000千円
	障害者医療費	788, 017千円

#### 4. 生活保護、生活困窮者自立支援について

生活保護の状況は、令和7年12月末時点において保護率1.24%（前年1.27%）、受給世帯は2,992世帯（前年比60世帯減）となっている。今後も日常生活の支援及び社会的自立に向けた支援を行う。また、就労が可能な対象者に対しては就労支援を行い、経済的な自立促進を図る。

生活保護に至る前の段階にある生活困窮者に対しては、自立に向けたプラン作成や就労等の支援を行う自立相談支援事業、離職や就業機会の減少により住居を失うおそれのある者を支援する住居確保給付金事業などを実施するほか、社会的孤立者に対して、一般就労に向けての支援を行う就労準備支援事業、生活保護世帯の中学生等に対して、貧困の連鎖を断つべく子ども学習支援事業を実施する。

【主な事業】	自立相談支援事業費	69, 807千円
	住居確保給付金事業費	2, 986千円
	就労準備支援事業費	13, 394千円
	子ども学習支援事業費	12, 070千円
	生活保護適正化等事業費	20, 964千円
	扶助費	6, 496, 930千円

#### 5. 国民健康保険について

国民健康保険は加入者の年齢構成が高く、所得の低い加入者が多いなどの構造的な課題を抱えているほか、被用者保険の適用拡大により、一定所得がある被保険者の減少が進んでいることから、保健事業や収納対策に注力するとともに、国民健康保険支払準備基金に頼らず適正な保険料率を設定しつつ安定的な運営に努めていく。また、子どもや子育て世帯を全世代・全経済主

体が支えていく新しい分かち合い・連帯の仕組みとして、子ども・子育て支援金制度が創設されることに伴い、新たに支援金を徴収する。

保健事業については、被保険者が健やかに暮らしていけるよう、がん検診や脳ドックの助成といった各種保健事業の実施とともに、特定健康診査の受診率や特定保健指導の利用率の向上、糖尿病性腎症重症化予防事業の推進に取り組んでいく。

収納対策については、きめ細かな納付相談を行う一方、支払い能力がありながら納付しない滞納世帯に対しては、財産調査を徹底し滞納処分を行う。

また、収納率向上を目指し、保険加入時の原則口座振替の徹底、電話や文書での催告に加え、SMS（ショートメール）を利用した催告も実施し、初期未納対策に取り組んでいく。

【主な事業】	保険給付費	16,530,530千円
	保健事業費	325,091千円
	徴収費	27,831千円

## 6. 在宅医療の推進について

本市では、2040年代には65歳以上人口が最大となり、医療や介護の更なる需要の増加が見込まれる。そのため、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、医療機関と介護関係事業所の連携強化を図り、地域での医療や介護サービスが切れ目なく提供できる体制を充実させる。

また、在宅医療の中核を担う訪問看護師やケアマネジャーなどのスキルアップを図るために研修を行うとともに、自らの意思を家族や医療・介護関係者とあらかじめ共有し、人生の最期を望む形で迎えられるよう、人生会議（ACP）の普及啓発に向けた取り組みを推進する。

さらに、介護保険の対象とならない若年のがん患者の在宅療養生活を支援するため、訪問介護や福祉用具の貸与に係る費用について助成を継続して行うとともに、がん治療に伴うがん患者の外見変化に対する心理的・経済的負担を軽減し、QOL（生活の質）向上と社会参加を促進するため、ウィッグ等の購入費用の一部を助成する。

【主な事業】	在宅医療・介護連携推進事業費	24,667千円
	がん患者支援事業費	4,489千円

## 7. 成人保健事業について

がんを早期発見し治療につなげるため、市が実施するがん検診について、分かりやすい周知に努めるとともに、期間延長や土・日曜日の開催などの受診しやすい体制を整える。さらに、がん検診の受診を促すための受診券送付対象者の拡大や未受診者への受診勧奨の実施により、受診率の向上を図る。

また、市民の疾病予防・重症化予防を図るため、成人の予防接種の円滑な実施に努める。

健康づくり事業については、若い頃から健康づくりへの取り組みが推進されるよう、働く世代の健康増進に積極的に取り組む「健康経営」のさらなる普及をめざし、働きかけを行う。また、市民が身近な場所で楽しみながら歩くことや身体を動かすことが継続できるよう、スマートフォンアプリ等を活用した事業を実施し、健康づくりに取り組む環境の整備に努める。

【主な事業】	市民健康づくり推進事業費	4, 531千円
	検診事業費	542, 153千円
	予防接種事業費	498, 748千円

## 8. 保健予防事業について

医務については、医療機関等に対して計画的に立入検査を実施し、助言・指導を行うとともに、厚生労働省の資料を共有することで、適正な医療提供体制の堅持に努め、医療機関の自律的な取り組みを支援する。また、災害に強い医療体制の構築に向け、関係機関との連携を強化するほか、災害発生時に医療救護所を迅速に開設できるよう訓練を実施する。

感染症対策については、感染症発生動向調査の情報をもとに、市民に対して感染症に関する発生状況を提供し、正しい知識と予防対策の普及啓発を図る。また、集団感染リスクの高い施設（福祉施設や学校など）の職員を対象に、感染症の予防対策や感染拡大防止について研修会や出前講座を実施する。

さらに、新たな感染症の早期探知を図るため、急性呼吸器感染症サーベイランスを実施し、流行株や変異株の把握に努めるとともに、新興感染症の発生に備え、I H E A T要員や保健所職員等を対象に、積極的疫学調査、防護衣の着脱や移送等の実践的な訓練を実施することで、新興感染症への対応力を強化する。

精神保健については、こころの健康づくり講演会や健康講座、出前講座、広報等を通じて、こころの病気や精神障害に関する正しい知識の普及啓発を図り、早期発見と早期治療の促進に努める。

また、自殺予防対策については、学校や職場、地域等で一人ひとりの見守りと気づきを促すための普及啓発を行うとともに若者への早期支援や自殺未遂者の再発防止のため医療、保健、福祉、教育等の関係機関と連携を図りながら個別支援に努める。

【主な事業】	感染症対策事業費（防疫対策等）	5, 384千円
	（内訳 防疫対策事業費	4, 513千円
	エイズ等対策事業費	871千円
	新興感染症対応力強化事業	4, 093千円

〔	内訳 感染症対策推進事業費	1, 489千円	〕
	新型インフルエンザ等対策事業費	2, 604千円	
	こころの健康づくり支援事業費	9, 738千円	

## 9. 衛生指導事業について

食の安全・安心については、食品関連施設等に対する計画的かつ重点的な監視指導を実施するとともに、食品等の検査、食品表示の確認等も関係法令に基づき適切に実施する。また、食品事業者のHACCPに沿った衛生管理の取り組み状況の確認に重点を置き、食中毒が発生した場合に大きな影響を及ぼす可能性の高い施設を中心に監視指導を実施する。さらに、キッチンカーの相互乗入については、令和8年6月の開始に向け準備を進めている。

薬事については、薬局等への監視指導を通じて、医薬品等の安全性確保や事故等の防止に努める。また、薬物乱用防止対策については、近年社会問題化している若年層の大麻・危険ドラッグの乱用・市販薬等の過剰摂取(オーバードーズ)の防止に対し、自治会等と協働し薬物乱用防止啓発キャンペーンを実施する。さらに、ライオンズクラブ、学校薬剤師や警察と協力し、市内小・中学校、高校で薬物乱用防止教室を開催し、薬物乱用防止に努めていく。

動物愛護管理については、飼い主等に対して適正な飼養に関する助言・指導・啓発を行うほか、関係部局と連携し、災害時におけるペット同行避難の環境整備に向けた支援を行う。また、県や動物愛護団体等と協働し、犬・猫の譲渡事業を継続するとともに、犬・猫の避妊等手術費補助事業も継続実施する。特に、飼い主のいない猫を減らすための取り組みを推進し、地域環境の維持に努め「人と動物の共生できる社会」の実現を目指す。

生活衛生に関する事業については、理容所、美容所、公衆浴場、旅館等の施設について、関係法令に基づく監視指導を実施し、営業者の衛生水準の維持向上に努める。

【主な事業】	食の安全安心対策事業費（監視部門）	11, 912千円
	〔内訳 食品衛生監視指導事業費	6, 412千円
	食品検査事業費	5, 500千円
	薬事関係対策事業費	3, 869千円
	動物愛護関係事業費	50, 276千円
	環境衛生対策事業費	236千円

## 10. 衛生検査事業について

感染症対策については、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律により規定されている感染症に対し、感染の疑いがある人や感染者の家族・接触者等の微生物保有検査を実施し、感染症発生の予防及びまん延防止に努める。また、感染をより早く発見することにより、早期治療や二次感染防止につながるよう迅速な検査の実施に努める。

食の安全安心対策については、安全な食肉・食品を提供するためと畜場法に基づき、四日市市食肉センターに搬入された獣畜全頭に対してと畜検査を実施し、食品衛生法に基づき、市内で流通している食品の収去検査を実施する。また、食中毒発生時には、原因究明のための迅速かつ正確な検査を実施し、感染の拡大防止に努める。

感染症関連検査及び食品衛生関連検査については本年4月より衛生検査センターにて実施し、新たな感染症に対応できるよう平時から準備、訓練に努める。

【主な事業】	感染症対策事業費（検査部門）	11,347千円
	〔 内訳 防疫対策事業費	8,681千円
	エイズ等対策事業費	2,666千円
	食の安全安心対策事業費（検査部門）	29,841千円
	〔 内訳 食肉衛生検査事業費	19,416千円
	食品検査事業費	10,425千円

# 民生委員・児童委員関連事業(社会福祉一般事業費)

## 1. 目的

地域の身近な相談役である民生委員・児童委員（以下、「民生委員」という。）の担い手不足の解消のため、民生委員の活動支援、負担軽減、広報・周知啓発に関する施策を実施する。

## 2. 内容

### (1) 【拡充】 民生委員協力員制度

令和7年度から開始した、民生委員協力員制度（エリアパートナーズ）に引き続き、令和8年度からは新たな民生委員協力員制度としてペアパートナーズを新規に実施する。

エリアパートナーズが大学生による市内全域の民生委員の支援活動（主にイベント運営等）を行うのに対し、ペアパートナーズは、民生委員の個別活動をサポートする協力員を選出し、民生委員への地域住民の情報提供や、地域の見守りの支援等を行う。

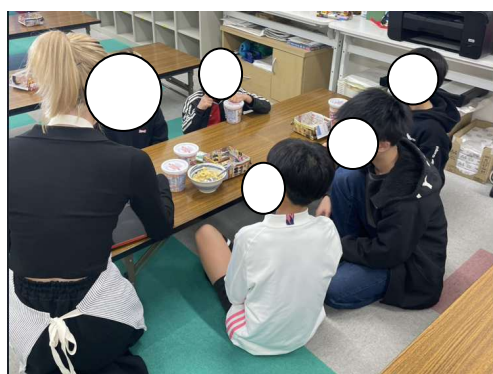
※活動月に活動費（実費弁償）を支給し、ボランティア活動保険の加入を行う。

### (2) 【拡充】 広報・周知啓発

商業施設での民生委員のPRイベント等を継続して行うことで、広く市民に民生委員の存在と活動内容について周知啓発を行う。併せて、各自治会におけるポスターの掲示や、四日市人権啓発企業連絡会、在宅介護支援センターにポスター掲示による周知依頼を行う。

エリアパートナーズについては、若い学生ならではの視点からSNSを活用した活動内容の周知を行っているが、今後より充実した広報活動に努めていく。

また、事業者には、働きながら民生委員活動を行うことへの理解と協力を求め、民生委員の活動しやすい環境づくりの整備や新たな人材発掘につなげていく。



(エリアパートナーズの活動の様子)

3. 予算額 (前年度)	8,939千円	(財源内訳) 国庫支出金(1/2)	3,707千円
	2,381千円)	一般財源	5,232千円

担当 健康福祉部 福祉総務課  
熊崎  
Tel 354-8109

## (新) 福祉防災関係経費

### 1. 目的

高齢者や障害者など、災害時に自ら避難することが困難または配慮を要する人を登録する「避難行動要支援者名簿」を整備するとともに、あらかじめ避難方針を定める「個別避難計画」の作成を推進することにより、発災時に安否確認や避難支援をスムーズに行うことができるようにする。

### 2. 内容

#### (1) 避難行動要支援者名簿の整備と個別避難計画の作成支援

対象者※に対し、名簿への登録同意の有無を確認し、登録同意者には、計画の作成案内を郵送する。また、コールセンターを設置することにより、問い合わせへの丁寧な対応に努める。

※避難行動要支援者名簿の対象者

種別	程度
要介護認定がある人	要介護3～5
身体障害者手帳を所持している人	1～2級
療育手帳を所持している人	A（最重度、重度）
精神障害者保健福祉手帳を所持している人	1級
75歳以上の単身者または75歳以上を含む70歳以上のみで構成される世帯の人	自力での避難が困難な人

#### (2) 福祉専門職による個別避難計画の作成支援

名簿登録者のうち、介護保険サービスや障害福祉サービスの受給者を主な対象者として、福祉専門職による計画の作成支援を行う。具体的には、対象者の心身の状態を把握している介護支援専門員（ケアマネジャー）、相談支援専門員等の専門職に作成を依頼することで、より精度・実効性が高い計画作成を目指す。

3. 予算額 28,126千円 (財源内訳) 一般財源 28,126千円

担当 健康福祉部 福祉総務課  
小西、伊藤  
TEL 354-8109



一般会計、介護保険特別会計

## 認知症総合支援事業

認知症高齢者等個人賠償責任保険等負担金、認知症早期診断事業費  
認知症初期集中支援推進事業費、認知症地域支援・ケア向上事業費  
認知症カフェ等推進事業費、認知症高齢者家族介護支援サービス事業費  
認知症サポーター等養成事業費

### 1. 目的

高齢化の進行とともに認知症高齢者が増加する中、認知症の人と家族が住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるよう、認知症があっても、なくても、誰もが暮らしやすい認知症フレンドリー社会の実現を目指す。

### 2. 内容

- (1) 認知症高齢者等個人賠償責任保険等負担金 523千円  
認知症高齢者が日常生活上の事故等に遭い、賠償責任を負った場合に備える損害賠償責任保険に市が加入し、認知症高齢者や介護する家族の不安・負担を軽減する。
- (2) 認知症早期診断事業費 1,843千円  
高齢者が無料で簡易な認知機能検査を受診できる仕組みである認知症早期診断事業を実施することで、認知症の早期発見・早期対応を進め、認知症の進行及び重症化の遅延に取り組むとともに、事業を通じて市民の認知症への関心を高め、認知症予防に取り組む意識の醸成を図る。
- (3) 認知症初期集中支援推進事業費 40,250千円  
市内3カ所の地域包括支援センターに配置した認知症初期集中支援チームが、認知症が疑われる人や認知症の初期段階にある人などの家庭を訪問し、適切な治療や介護サービスなどにつなげるための支援を行う。
- (4) 認知症地域支援・ケア向上事業費 31,950千円  
市及び地域包括支援センターに配置した認知症地域支援推進員が中心となって、啓発イベントや認知症フレンドリー宣言にかかる啓発などを実施する。また、認知症施策推進計画に基づき、認知症に関する地域の理解促進に努めるとともに、民間企業との連携体制構築を進め、認知症フレンドリーなまちづくりに取り組む。
- (5) 認知症地域支援・ケア向上事業費（介護予防等拠点施設分）21,289千円  
介護予防等拠点施設「ステップ四日市」に認知症地域支援推進員及び作業療法士を配置し、認知症の人や家族からの相談に応じ、必要な支援につなげるとともに、本人ミーティング、社会参加活動など、認知症の人が活躍する場を提供する。  
また、認知症に関わるボランティアの活動拠点として、「チームオレンジ」などの活動支援を行う。

(6) 認知症カフェ等推進事業費 4, 313千円

認知症の人の社会参加、家族の負担軽減等のため、認知症の人とその家族、地域住民、医療・介護の専門職が気軽に集える認知症カフェ等の運営を社会福祉法人等に委託して実施する。

(7) 認知症高齢者家族介護支援サービス事業費 3, 532千円

認知症高齢者等に対して、位置情報を検索できる小型のGPS機器を無償で給付するとともに、インターネット上の伝言板にアクセスできるQRコードシールを配付し、行方不明となった認知症高齢者の早期発見の体制を確保する。

(8) 認知症サポーター等養成事業費 645千円

認知症に関する理解を広げるため、認知症についての正しい知識や接し方を学び、良き理解者として、できる範囲で認知症の人と家族をサポートする「認知症サポーター」及び「認知症サポーター」から一歩踏み出し、具体的な支援に携わるパートナー（ボランティア）である「認知症フレンズ」の養成を進める。

<b>3. 予算額</b>	104, 345千円	(財源内訳)	国庫支出金 (38.5/100)	39, 261千円
(前年度)	116, 764千円)		県支出金 (19.25/100)	19, 630千円
			その他特財 (23/100)	23, 458千円
			(介護保険料)	
			一般財源	21, 996千円

担当 健康福祉部 高齢福祉課 水越 Tel 354-8170
--------------------------------------

## (新)がん患者ウィッグ等購入助成事業費

### 1. 目的

がん治療に伴うがん患者の外見変化に対する心理的・経済的負担を軽減し、QOL（生活の質）向上と社会参加を促進するため、ウィッグ等の購入費用の一部を助成する。

### 2. 内容

#### (1) 対象者

以下の全ての条件を満たすもの。

- ① 市内に住所を有する方
- ② がんの治療を受けた方、または現に受けている方
- ③ 医療用ウィッグ等の購入が令和8年4月1日以降であり、申請する日において購入日から1年以内のもの

#### (2) 助成対象

- ① 医療用ウィッグ、または装着に必要な頭皮保護用ネット（購入時に理美容室で行うウィッグのカット費用を含む）
- ② 補正下着などの乳房補正具
- ③ 乳がん用バスタイムカバー
- ④ その他爪などに生じる症状を予防、または補完するもの

#### (3) 助成金額・回数

上記購入費用の2/3（上限2万円）、生涯1回

#### <積算内容>

○事業費 1,600千円

○事務費 153千円

需用費（印刷製本費）

129千円

役務費（郵便料）

24千円

3. 予算額 1,753千円 (財源内訳) 県支出金(1/2) 800千円  
一般財源 953千円

担当 健康福祉部 保健企画課  
後藤  
TEL 354-8281

国民健康保険特別会計
------------

歳 入

(単位：千円)

科 目	令和8年度 当初予算(案)	令和7年度 当初予算	比 較	説 明
1 国民健康保険料	5,715,595	5,763,309	△ 47,714	被保険者の保険料
国民健康保険料	5,715,595	5,763,309	△ 47,714	
現年分	(5,470,210)	(5,501,328)	(△ 31,118)	
過年分	(245,385)	(261,981)	(△ 16,596)	
2 一部負担金	2	2	0	
3 国庫支出金	4,201	35,209	△ 31,008	子ども・子育て支援事業費補助金
4 県支出金	16,317,354	18,056,038	△ 1,738,684	医療給付費に充てるための交付金等
5 財産収入	13,639	4,727	8,912	国民健康保険支払準備基金の運用益
6 繰入金	1,921,372	1,963,479	△ 42,107	一般会計及び基金からの繰入金
一般会計繰入金	1,921,371	1,963,478	△ 42,107	
基金繰入金	1	1	0	
7 繰越金	100,000	100,000	0	前年度からの繰越金
8 諸収入	63,837	65,236	△ 1,399	第三者納付金、延滞金等
合 計	24,136,000	25,988,000	△ 1,852,000	

科 目	令和8年度 当初予算(案)	令和7年度 当初予算	比 較	説 明
1 総務費	328,505	371,309	△ 42,804	国民健康保険事業運営のための一般事務経費
2 保険給付費	16,530,530	17,828,329	△ 1,297,799	医療機関で支払う本人負担分を除いた費用等
3 国民健康保険事業費 納付金	6,801,736	7,286,607	△ 484,871	医療給付費等の財源として県に納める納付金
医療給付費分	4,407,071	4,989,850	△ 582,779	
後期高齢者支援金等分	1,698,502	1,717,517	△ 19,015	
介護納付金分	548,635	579,240	△ 30,605	
子ども・子育て支援 納付金分	147,528	—	147,528	
4 財政安定化基金拠出金	1	1	0	
5 保健事業費	325,091	321,379	3,712	特定健診実施費用、ヘルスアップ事業、がん検診等の費用の一部を負担する経費等
6 基金積立金	13,639	4,727	8,912	国民健康保険支払準備基金への積立金
7 公債費	100	100	0	一時借入金利息
8 諸支出金	36,398	75,548	△ 39,150	過年度に受けた交付金の精算にかかる費用、過年度に収納した保険料の過誤納付金を返還する費用等
9 予備費	100,000	100,000	0	
合 計	24,136,000	25,988,000	△ 1,852,000	

担当 健康福祉部 保険年金課  
櫻井  
TEL 354-8158

## 介護保険特別会計

歳 入

(単位：千円)

科 目	令和8年度 当初予算(案)	令和7年度 当初予算	比 較	説 明
1. 保 険 料	5,064,117	5,191,873	△ 127,756	65歳以上の被保険者の保険料
2. 分担金及び負担金	33,004	24,722	8,282	三重郡三町からの介護認定審査会 共同設置負担金
3. 使用料及び手数料	3,143	3,212	△ 69	総合事業にかかる利用者手数料
4. 国庫支出金	5,291,833	5,296,755	△ 4,922	保険給付費等に応じて支払われる 国からの負担金等
5. 支払基金交付金	6,337,474	6,148,490	188,984	40歳から64歳までの被保険者の保険 料（社会保険診療報酬支払基金より 保険給付費等に応じて支払われる交 付金）
6. 県支出金	3,335,822	3,242,273	93,549	保険給付費等に応じて支払われる 県からの負担金等
7. 財産収入	59,084	22,663	36,421	介護保険給付費支払準備基金の運用 益
8. 寄附金	1	1	0	寄附金
9. 繰入金	4,822,160	4,009,271	812,889	一般会計繰入金 基金繰入金
10. 繰越金	40,000	40,000	0	前年度からの繰越金
11. 諸収入	9,362	9,740	△ 378	第三者行為に係る損害賠償金等
合 計	24,996,000	23,989,000	1,007,000	

歳 出

(単位：千円)

科 目	令和8年度 当初予算(案)	令和7年度 当初予算	比 較	説 明
1. 総 務 費	1,095,429	861,109	234,320	介護保険事業運営のための一般事務経費
2. 保 険 給 付 費	22,316,494	21,639,621	676,873	各介護サービスにかかる費用
3. 基 金 積 立 金	59,084	22,663	36,421	介護保険給付費支払準備基金への積立金
4. 地域支援事業費	1,314,296	1,297,094	17,202	総合事業・包括的支援事業等にかかる費用
介護予防・生活支援サービス事業費	1,084,073	1,056,914	27,159	訪問型サービス事業費 通所型サービス事業費 介護予防・生活支援体制づくり事業費 審査支払手数料 等
一般介護予防事業費	12,608	18,351	△ 5,743	介護予防普及啓発事業費 地域リハビリテーション活動支援事業費
包括的支援事業費	116,224	114,646	1,578	認知症総合支援事業費 地域ケア会議推進事業費 在宅医療・介護連携推進事業費
任意事業費	101,391	107,183	△ 5,792	おむつ支援事業費 訪問給食事業費 緊急通報システム事業費 介護サービス相談員派遣事業費 等
5. 公 債 費	300	300	0	一時借入金利息
6. 諸 支 出 金	209,897	167,713	42,184	介護保険料還付金等
7. 予 備 費	500	500	0	
合 計	24,996,000	23,989,000	1,007,000	

担当 健康福祉部 介護保険課  
杉村  
TEL 354-8425

## 後期高齢者医療特別会計

歳 入

(単位：千円)

科 目	令和8年度 当初予算(案)	令和7年度 当初予算	比 較	説 明
<b>1 後期高齢者医療保険料</b>	4,585,475	4,228,640	356,835	広域連合にて算定する保険料
後期高齢者医療保険料	4,585,475	4,228,640	356,835	
特別徴収保険料	2,378,407	2,445,976	△ 67,569	
普通徴収保険料	2,207,068	1,782,664	424,404	
<b>2 使用料及び手数料</b>	1	1	0	
<b>3 国庫支出金</b>	6,096	28,149	△ 22,053	デジタル基盤改革支援補助金等
<b>4 寄附金</b>	1	1	0	
<b>5 繰入金</b>	4,305,955	4,128,538	177,417	一般会計からの繰入金
保険基盤安定繰入金	871,527	795,213	76,314	県3/4
療養給付費負担金繰入金	3,104,997	3,020,846	84,151	広域連合にて算定 市の負担金
その他広域連合負担金繰入金	210,415	212,873	△ 2,458	広域連合事務費、健康診査等
職員給与費等繰入金	119,016	99,606	19,410	
<b>6 繰越金</b>	1	1	0	前年度からの繰越金
<b>7 諸収入</b>	37,471	36,670	801	延滞金、広域連合からの返還金等
<b>合 計</b>	<b>8,935,000</b>	<b>8,422,000</b>	<b>513,000</b>	

歳 出

(単位：千円)

科 目	令和8年度 当初予算(案)	令和7年度 当初予算	比 較	説 明
<b>1 総務費</b>	149,956	152,599	△ 2,643	後期高齢者医療制度事務実施のための一般事務経費
<b>2 後期高齢者医療 広域連合納付金</b>	<b>8,773,491</b>	<b>8,258,448</b>	<b>515,043</b>	広域連合規約に基づく負担金
一般管理事務費負担金	116,484	116,711	△ 227	
健康診査事業負担金	44,250	44,587	△ 337	
健康診査事業事務費負担金	15,239	17,930	△ 2,691	
保険料等負担金	4,586,552	4,229,516	357,036	
保険基盤安定制度負担金	871,527	795,213	76,314	
療養給付費負担金	3,104,997	3,020,846	84,151	
市町負担金	34,442	33,645	797	
<b>3 公債費</b>	50	50	0	一時借入金利子
<b>4 諸支出金</b>	11,003	10,403	600	過年度に収納した保険料の過誤納付金を返還する費用等
<b>5 予備費</b>	500	500	0	
<b>合 計</b>	<b>8,935,000</b>	<b>8,422,000</b>	<b>513,000</b>	

担当 健康福祉部 保険年金課 櫻井 TEL 354-8158
--------------------------------------

# こども未来部

## 新年度予算における基本的な方針

令和8年度は、令和6年度末に策定した「四日市市こども計画」の基本理念「こどもと子育てにやさしいまち四日市」の実現を目指して、3つの基本方針に基づき、当計画に掲げる各施策を着実に実施し、こども施策のより一層の推進を図る。

特に、令和8年度については、喫緊の課題となっている待機児童対策などに重点的に取り組むとともに、次の各項目の事業を進める。

### 1. 就学前の教育・保育について

就学前の保育については、令和6年度より引き続き発生している年度当初の待機児童の早期解消に向けた緊急的な対策として、公立保育園・認定こども園への保育士派遣業務委託及び受け入れ増を行う私立の保育施設への待機児童緊急対策交付金の交付を継続するとともに、認可保育施設に入所できなかった2歳児の受け皿として、定期的な預かりを実施する私立幼稚園への補助を新たに導入する。

また、不足する保育人材の確保・定着に向けた支援として、私立園で働く保育士等の給与改善の補助や、一定の勤続年数に達した保育士等への就労奨励金の補助を引き続き実施する。併せて、保育士等の業務負担の軽減のため、私立保育園・認定こども園の用務員の配置等に対する補助や、保育業務支援システム等の導入に対する補助についても引き続き実施する。

民間保育所等が行う特別保育事業については、延長保育への補助を見直し、引き続き保護者の働き方に応じた多様な保育サービスの充実を図る。

また、公立保育所等において、令和8年度から訪問看護ステーションに委託し、医療的ケア児の受け入れを実施する。

就学前の教育については、良質な就学前教育を保障するために、施設型給付の適用を受ける私立幼稚園に対して引き続き財政支援を行う。

公立園園舎の老朽化に伴う施設の建替整備が必要な大矢知地区及び下野地区において、新園舎整備に向けた基本設計や実施設計等を行うほか、大矢知地区においては建替用地において住居跡等が発見されたことから下之宮遺跡の調査を行う。

就学前教育・保育施設の量の確保に加え、生涯にわたる人格形成の基礎を築く教育・保育の質の確保が重要であることから、幼児教育センターにおいて、研修や専門アドバイザーによるアウトリーチ型相談支援を行い、保育者の専門性の向上に取り組むとともに、小学校への円滑な接続につながる教育・保育内容の充実を図る。

【主な事業】 保育所事務費事業費	4, 739, 563千円
特別保育促進事業	206, 749千円
(乳児保育促進事業費)	26, 712千円)
(延長保育事業費)	49, 505千円)
(一時保育事業費)	46, 245千円)
(休日保育事業費)	11, 750千円)
(病児・病後児保育事業費)	72, 537千円)
民間保育所等整備事業	520, 640千円
幼児教育推進事業	23, 922千円
就学前教育・保育施設整備事業	200, 667千円
地域型保育事業費	1, 180, 708千円
幼稚園事務費事業費	1, 213, 303千円
保育士等人材確保事業	270, 303千円
待機児童対策事業	327, 791千円
子育て施設等利用給付事業費	607, 778千円
医療的ケア児受入事業費	24, 234千円

## 2. こども・若者、子育て当事者への支援について

こどもがウェルビーイング（身体的、精神的及び社会的に将来にわたって幸せな状態）で成長できる「こどもまんなか社会」を実現するため、こどもの権利やこども・子育てに関する情報の効果的な発信・周知啓発を行い、こどもの最善の利益を図る。また、より実効性の高いこども施策の実現とこどもの自己有用感の向上を図るため、こどもが意見を伝えることができる環境の整備を進める。

さらに、全てのこどもが、安全に安心して過ごせる多くの居場所を持つことができ、多様な学びや体験の機会が創出されるよう、学校や地域、民間団体等と連携しながら、多様なこどもの居場所づくりを進める。

若者に対しては、結婚を希望する独身の方を対象とした出会いイベントや、結婚祝金の給付を継続して実施していく。

また、児童手当等の各種手当をはじめ、18歳到達後の年度末までの子ども医療費助成を着実に実施し、こどもの疾病の早期発見、早期療養及び重篤化の防止並びに子育て世帯の経済的負担の軽減を引き続き図っていく。

不妊治療費助成事業については、引き続き自己負担分に対して助成を行う。

親子で利用できる地域の子育て支援センターやこども子育て交流プラザ等については、育児相談や様々な体験、交流の場の提供のほか、子育てに関する情報の提供を行い、それぞれの家庭の状況に応じた適切なサービスにつながるよう取り組む。また、大矢知地区内に新たに医療機関併設型の子育て支援セン

ターを開設し、子育て支援のさらなる充実を図っていく。さらに引き続き、第2子以降子育てレスパイトケアにより家庭内におけるレスパイトケアの促進を図っていく。

塩浜子育て支援センター及び塩浜児童館については、建物の耐用年数が残り11年であることから、行政改革プランに基づき、三重北勢健康増進センター（管理棟）への移転に向けて、令和7年度に着手した整備工事を引き続き実施する。併せて、移転後の管理・運営に必要な物品等を購入する。

学童保育事業については、指導員の経験年数や実績等に応じた処遇改善と合わせて、研修体制を充実することで、人材の確保と保育の質の向上に努める。また、建築工事に対する補助を行い、提供体制の確保と安全性の向上を図る。加えて、高まる学童保育ニーズに対応するため、送迎支援事業に対する補助を拡充するとともに、新たに夏休み児童預かり事業を実施する。

ひとり親家庭等に対しては、親権・養育費・親子交流などに関する民法改正も踏まえ、引き続き助言や相談を行うほか、必要に応じて育児支援や家事支援を実施する。また、ハローワークとも適宜連携しながら、就労に係る支援を実施するとともに、各種給付金や手当を支給するなど、生活の安定や自立を促進する。

【主な事業】「こどもまんなか社会」の実現に向けた機運醸成等事業

	2, 236千円
こどもの居場所づくり事業	52, 900千円
四日市マリッジサポート事業費	126, 248千円
子ども医療費	1, 538, 000千円
児童手当	6, 355, 535千円
児童扶養手当	1, 047, 000千円
不妊治療費	53, 161千円
地域子育て支援拠点事業費補助金	95, 040千円
父親の子育てマイスター事業費	5, 382千円
こども子育て交流プラザ事業費	50, 247千円
児童館自主事業費	2, 281千円
学童保育事業	1, 067, 734千円
ファミリー・サポート・センター事業費	17, 280千円
第2子以降子育てレスパイトケア事業費	4, 028千円
子育て支援ショートステイ事業費	2, 718千円
ひとり親家庭等日常生活支援事業費	1, 620千円
母子家庭等自立支援給付金事業費	15, 559千円
こども家庭センター事業費	12, 854千円

### 3. こどもの発達支援について

発達支援が必要な子どもを持つ家庭のニーズが多様化する中、一人ひとりの課題に合わせた丁寧な支援を行っていく。

適切な支援が行われるよう、引き続き、心理判定員、言語聴覚士、保育士、教員等が、保健・福祉・教育・医療の関係機関と連携し、こどものライフステージに沿った教室の開催や相談を実施する。

このほか、相談支援事業所の体制強化に資するための補助事業や障害児相談支援委託事業を実施し、途切れのない支援の充実に取り組む。

さらに、継続的な発達支援が必要な子どもには、放課後等デイサービスなどの障害児通所支援事業の利用につなぎ、生活能力の向上や社会との交流の促進を図る。

また、あけぼの学園においては、地域の中核的な役割を果たす支援施設として、引き続き発達支援が必要な子どもや保護者への支援を行う。

【主な事業】 障害児通所事業費	2, 368, 634千円
プロジェクトU-8事業費	4, 584千円
障害児相談支援事業所体制強化補助事業費	9, 872千円
障害児相談支援委託事業費	8, 105千円
児童発達支援センター管理運営費	34, 570千円
児童地域支援事業管理運営費	4, 143千円

### 4. 児童虐待防止について

「四日市市子どもの虐待及び配偶者からの暴力防止ネットワーク会議(要保護児童対策地域協議会)」を中心に、関係機関・関係団体・地域と連携しながら児童虐待の未然防止・早期発見・早期対応に努めるとともに、子育て等に困難を抱える家庭等に対し、「支援対象児童等見守り強化事業」や「育児フォローアップ事業」「子育て世帯訪問支援事業」等を実施し、子育てに係る保護者の不安や負担を軽減する。

また、研修等を適宜実施するなど、児童虐待に関する各機関の対応力向上を図るほか、児童虐待防止及びこどもの権利に関する啓発を行う。

【主な事業】 児童虐待防止対策事業	23, 405千円
-------------------	-----------

### 5. 母子保健事業について

妊娠届出時から出産・子育て期に至るまで、切れ目のない相談支援を実施するため、面談等を通じて妊婦や子育て家庭の不安や課題を早期に把握し、情報提供や相談を行い、必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」を実施する。また、妊娠・出産に伴う経済的負担を軽減し、子どもを持つことを希望する人が安心

してこどもを生み、育てることのできる環境を整備するための経済的支援として、「マタニティ給付」を実施する。

さらに、各種健診や訪問等の機会を通じて、妊産婦及び保護者の育児に関する不安や悩み、養育環境における課題などの把握に努め、関係機関と連携して適切な支援につなげる。

予防接種事業については、予防接種法の改正により新たに母子免疫ワクチンであるRSウイルスワクチンが定期接種化される。引き続き、感染症の罹患防止及び適切なワクチン接種を推進するため、啓発及び相談に努める。

【主な事業】 妊婦健康診査事業費	232,110千円
乳児健康診査事業費	36,200千円
幼児健康診査等事業費	24,669千円
1か月児健康診査費用助成事業費	11,604千円
産婦健康診査事業費	18,458千円
妊婦幼児歯科保健事業費	8,249千円
産後ケア事業費	37,178千円
中学生ピロリ菌検査事業費	5,343千円
多胎児育児支援事業費	3,127千円
こんにちは赤ちゃん訪問事業費	8,833千円
新生児聴覚スクリーニング検査助成事業費	6,198千円
はじめまして絵本事業費	4,157千円
妊婦のための支援給付事業費	228,471千円
予防接種事業費	763,706千円
任意予防接種助成事業費	10,839千円

## 6. 青少年の健全育成について

こどもの非行を未然に防止し、有害な環境や情報、犯罪からこどもを守るため、保護者や学校、関係機関、地域と連携を図るとともに、インターネット等の安全安心な利用の啓発やこどもの生活リズムの向上に取り組む。

また、少年自然の家においては、自然の中での様々な体験活動を通じて、豊かな人間性、自己判断力、たくましさを身につけたこどもの育成に取り組むとともに、野外炊事場改修工事の設計や倒木のおそれがある枯木の伐採など必要な施設の整備等を行う。

【主な事業】 親と子どもの豊かな育ち事業費	3,173千円
少年自然の家施設整備事業費	8,500千円
少年自然の家管理運営費	98,085千円

# こどもの居場所づくり事業

## 1. 目的

学校や地域、民間団体等と連携しながら、多様なこどもの居場所づくりを進め、こどもが様々な場所で、多くの人々と関わりながら、ウェルビーイング（身体的、精神的及び社会的に将来にわたって幸せな状態）で成長できる機会を創出する。

## 2. 内容

- (1) こどもの居場所づくり事業費補助金 21,600千円  
こども食堂や学習支援などこどもの居場所づくりに関する事業を実施する団体に対し、その事業に要する経費の一部を補助する。  
補助率 1年目 10/10、2年目 9/10、3年目 8/10  
補助上限額 1,500千円（1団体当たり）
- (2) こどもの居場所づくりサポート・コーディネート事業 5,000千円  
(1)の事業を訪問、助言したり、こどもの居場所づくりを実施する団体等を対象とした意見交換の場や研修等を設けたりすることで、こどもの居場所の質の向上や団体間の相互連携を進める。
- (3) 多様なこどもの居場所づくり実証事業 26,300千円  
既存施設を活用した居場所づくりの実証事業を実施し、こどものニーズに応じた居場所の創出を検証し、事例の展開を図る。  
・高校生年代のための自由な居場所づくり 11,600千円  
会場：じばさん（4～6月）、商業施設（中心市街地）（7月～3月）  
・小学生高学年（4～6年生）のための身近な居場所づくり 6,130千円  
会場：八郷地区市民センター、内部地区市民センター  
・小中学生のための体験ができる居場所づくり 8,570千円  
会場：あさけプラザ

<b>3. 予算額</b>	52,900千円	(財源内訳)
(前年度	36,000千円)	国庫支出金 (2/3・1/2) 24,718千円
		その他特財 6,000千円
		(こどもまんなか基金繰入金)
		一般財源 22,182千円

## 4. 債務負担行為

- ・多様なこどもの居場所づくり実証事業  
(高校生年代のための自由な居場所づくり)業務経費  
限度額 5,400千円 (総事業費 9,200千円)  
期 間 令和8年度から令和10年度まで

担当	こども未来部	こども未来課
	外山、藤塚	
TEL	354-8038	

# 学童保育事業

## 1. 目的

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象として、放課後や学校休業日に、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全育成を図るため、学童保育を実施する地域の運営委員会に対し支援を行い、保護者の子育てと仕事の両立を応援する。

## 2. 内容

指導員の経験年数や実績等に応じた処遇改善と合わせて、研修体制を充実することで、人材の確保と保育の質の向上に努める。また、建築工事に対する補助を行い、提供体制の確保と安全性の向上を図る。加えて、高まる学童保育ニーズに対応するため、送迎支援事業に対する補助を拡充するとともに、新たに夏休み児童預かり事業を実施する。

○国・県の補助制度に基づくもの	
・運営費補助（79箇所87クラス）	698,300千円
・指導員処遇改善補助	120,714千円
・キャリアアップ処遇改善補助	35,409千円
・月額9,000円相当処遇改善補助	32,939千円
・備品整備にかかる補助（ICT／環境整備）	7,000千円
・【拡充】送迎支援補助	10,008千円
・育成支援体制強化補助	32,190千円
○市独自で行う補助制度	
・新築費補助	40,000千円
・大規模修繕費補助	11,499千円
・家賃補助	42,878千円
・長期休暇児童受入補助	7,439千円
・小規模修繕等にかかる補助	4,778千円
・AED整備補助	2,219千円
・資格取得補助	440千円
○【拡充】夏休み児童預かり事業	17,700千円
○指導員研修事業	1,143千円
○その他事務費	3,078千円

<b>3. 予算額</b>	1,067,734千円	（財源内訳）
（前年度	928,804千円）	国庫支出金(1/2・1/3)
		304,567千円
		県支出金(1/2・1/3)
		313,112千円
		その他特財
		6,000千円
		（夏休み児童預かり事業負担金）
		一般財源
		444,055千円

## 4. 債務負担行為

- ・学童施設LED照明設備リース
- 限度額 13,643千円 （総事業費 13,968千円）
- 期間 令和8年度から令和18年度まで

担当 こども未来部 こども未来課  
濱瀬  
TEL 354-8464

# 児童虐待防止対策事業

## 1. 目的

要保護児童対策地域協議会を中心に関係機関・関係団体・地域と連携しながら、こどもの権利保障の観点を重視しつつ事業を実施し、児童虐待の未然防止・早期発見・早期対応を図る。

## 2. 内容

- (1) 子育て中の親や家庭を支援する事業 21,306千円
- ①支援対象児童等見守り強化事業 15,000千円  
家庭環境の変化等により、困難を抱えるこどもとその家族を定期的に訪問し、食料品の提供等を行いながら、見守りを実施する。
- ②育児フォローアップ事業 1,876千円  
育児に関する不安や悩みの傾聴及び助言、育児手技の伝達等を行い、保護者の負担や不安を軽減する。
- ③子育て世帯訪問支援事業 4,200千円  
家事・育児に関する不安を抱える保護者やヤングケアラーの負担を軽減するため、支援員を居宅に派遣して家事代行や子育て支援を実施する。
- ④親子関係形成支援事業 230千円  
こどもとの関わり方や子育てに悩み・不安を抱えた保護者に対して、発達段階に応じたこどもとの関わり方等を学ぶことができる講座を開催する。
- (2) 市民への啓発活動 758千円  
児童虐待防止啓発動画を新たに作成し、近鉄四日市駅周辺のデジタルサイネージを利用して放映するほか、児童虐待防止に関するリーフレットや啓発用ポケットティッシュ、こどもの権利に関する冊子等を活用しながら、幅広く啓発を行う。
- (3) 研修会等の開催 305千円  
要保護児童対策地域協議会を定期的に開催するとともに、民生委員・児童委員及び関係機関職員に、児童虐待に関する研修を実施するなど、対応力向上を図る。
- (4) その他事務経費 1,036千円  
職員の研修等参加にかかる旅費・負担金、消耗品費等

<b>3. 予算額</b>	23,405千円	(財源内訳)
(前年度)	23,845千円)	国庫支出金 (2/3・1/2・1/3) 12,724千円
		県支出金 (1/3・1/6) 1,742千円
		一般財源 8,939千円

担当 こども未来部 こども家庭センター  
堀田  
TEL 354-8276

# 途切れのない発達支援事業

## 1. 目的

発達相談やアンケートの実施により、支援が必要なこどもを早期に発見し、それぞれの特性に応じた教室を開催するとともに、日常の保育等の中でも適切な支援が行えるよう保育士等のスキルアップを図る。

さらに、障害児通所支援事業所の質の向上をねらいとした研修会の開催や、相談支援事業所の体制強化に資するための補助事業の実施など、途切れのない支援の充実に取り組む。

## 2. 内容

- (1) プロジェクトU-8事業 4, 584千円  
幼児ことばの教室、ともだちづくり教室、子どもの見方ほめ方教室、まなびの教室の4教室を開催する。
- (2) 園巡回発達相談事業 4, 166千円  
児童・保護者一人ひとりのニーズを把握し、必要とされる支援の内容と方策を明らかにするために、巡回支援員を園へ派遣し、保護者・担任との相談や、指導・助言を実施する。
- (3) 「CLMと個別の指導計画」事業 219千円  
三重県が推進している「CLMと個別の指導計画」事業を本市でも活用するため、園による児童の行動観察、個別の指導計画の作成支援及び指導を実施する。
- (4) 5歳児保護者アンケート調査業務委託事業 2, 510千円  
5歳になる児童の保護者がこどもの発達や行動、生活の様子について振り返る機会とするとともに、集団生活で現れる、協調性や社会性等の発達において「気になる子」を発見し、保護者への育児支援や園との連携による支援を実施する。
- (5) 障害児通所支援事業所研修事業 170千円  
障害児通所支援事業所の質の向上を支援するための研修会を実施する。
- (6) 障害児相談支援事業所体制強化補助事業 9, 872千円  
途切れのない支援体制の強化を図るため、民間の障害児相談支援事業所に対し、補助事業を実施する。
- (7) 障害児相談支援委託事業 8, 105千円  
乳幼児期から学齢期、学齢期から青年期への途切れのない支援体制の強化を図るため、障害児相談支援事業に併せて、相談支援事業所間の利用者の調整と障害児支援に関わる地域課題の整理・検討を行う役割を委託する。

<b>3. 予算額</b>	29, 626千円	(財源内訳)	国庫支出金 (1/2)	1, 549千円
(前年度)	30, 332千円)		県支出金 (1/4)	733千円
			一般財源	27, 344千円

担当 こども未来部 こども発達支援課  
伊藤  
TEL 354-8064

# 保育士等人材確保事業

## 1. 目的

共働き家庭の増加等に伴い、保育の利用ニーズの高まりが続いている中、保育士・保育教諭等の新たな人材の確保及び定着化を図る。

## 2. 内容

- (1) 正規職員給与改善補助 127,425千円  
 ○私立保育園・認定こども園で働く正規職員（保育士等）の給与改善  
 市内の私立保育園で勤務する保育士等に対し、一律の給与改善手当を補助  
 （保育士：15,700円／月）
- (2) 就労奨励金支給費補助 20,200千円  
 ○市内の私立保育園・認定こども園・幼稚園に就職後、勤続1年・3年・5年・7年・10年に達した保育士等に就労奨励金（1人当たり10万円）を補助
- (3) 保育体制の強化 118,472千円  
 ○公立保育園・認定こども園への用務員の配置  
 ○私立保育園・認定こども園への保育支援者（用務員）配置の補助  
 国補助を活用し、園外活動時の見守り等や、登降園・プール活動など繁忙な時間帯にスポット的に配置する保育支援者への補助
- ・保育支援者の配置 1施設当たり月額上限 100,000円
  - ・園外活動時の見守り等 1施設当たり月額上限 45,000円
  - ・スポット支援 1施設当たり月額上限 45,000円
- (4) 私立保育園・認定こども園のICT化推進 3,075千円  
 ○保育業務支援システムの新規導入に対する補助  
 以下の機能数に応じて、1施設当たり200,000円～800,000円  
 （併せて端末購入等を行う場合、700,000円～1,300,000円）
- ・保育に係る計画・記録に関する機能
  - ・園児の登園及び降園の管理に関する機能
  - ・保護者との連絡に関する機能
  - ・キャッシュレス決済に関する機能
- (5) 保育人材確保に向けた情報発信等 1,131千円  
 ○PRパンフレットの作成、ホームページの運用・管理  
 ○私立保育連盟が行う保育人材確保の取組（就職ガイダンス、高校生インターンシップ等）への補助

<b>3. 予算額</b>	270,303千円（財源内訳）	国庫支出金(1/2)	2,050千円
（前年度	279,471千円）	県支出金(3/4)	31,275千円
		その他特財	3,556千円
		<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">           社会、雇用保険料            土地貸付収入         </div>	
		一般財源	233,422千円

担当 <span style="margin-left: 20px;">こども未来部</span> <span style="margin-left: 20px;">保育幼稚園課</span> <span style="margin-left: 40px;">稲垣・諸岡</span> <span style="margin-left: 40px;">TEL 354-8173</span>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 待機児童対策事業

(児童福祉一般経費、保育所事務費事業費(市単民間施設加算)、  
私立幼稚園一時預かり事業費、認可外保育所受入支援事業費)

### 1. 目的

待機児童の早期解消に向けた緊急的な対策として、公立保育園・認定こども園の保育士派遣業務委託、私立の保育施設への待機児童緊急対策交付金の交付及び認可外保育所受入支援を継続して実施する。また、新たに認可保育施設に入所できなかった2歳児の受け皿として定期的な預かりを実施した私立幼稚園への補助を導入する。

### 2. 内容

(1) 保育士派遣業務委託 74,869千円

即効性のある保育士の確保策として、令和7年度より保育士派遣業務委託を開始した。令和8年度も本事業を継続して実施する。

○対象施設：公立保育園・認定こども園

○委託期間：令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

○積算：1名当たり委託料4,991,250円×予定人数15名=74,869千円

(2) 待機児童緊急対策交付金 187,596千円

受け入れ枠が不足する1歳児～3歳児について、基準人数\*を超えて入所児童の受け入れを行う保育施設に対し、運営費の加算を行う。

\*基準人数・・・R6.4.1の利用定員またはR7.4.1の園児数のどちらか低い人数

○対象施設：私立保育園・認定こども園

○交付額(月額)：基準人数を超過した園児数×交付単価の合計額

[園児1名当たりの交付単価(月額)]

歳児	単価
3歳児	31,000円
2歳児	79,000円
1歳児	119,000円

(3) 認可外保育施設への支援 13,752千円

①認可外保育施設の保育料助成

保育園等に入所できなかったため、認可外保育施設を利用している世帯に対し、保育料の助成を行う。

○助成額(月額)：

「認可外保育施設の保育料」と「保育園等に入所した場合の保育料」の差額  
(上限額 18,000円)

②認可外保育施設の運営費補助

保育園等に入所できなかった児童を受け入れる認可外保育施設に対し、対象児童数に応じて運営費の補助を行う。

○補助額（月額）：対象児童数×補助単価の合計額（上限あり）

[児童1名当たりの補助単価（月額）]

歳児	単価
0歳児	44,000円
1、2歳児	25,000円
3歳児	2,000円
補助上限額	1,200,000円

(4) 【拡充】 私立幼稚園一時預かり事業費補助金（幼稚園型Ⅱ） 51,574千円

認可保育施設に入所できなかった2歳児の受け皿として、定期的な預かりを実施した私立幼稚園に対し、預かりを利用した児童数に応じて運営費の補助を行う。

○対象施設：私立幼稚園

○対象児童：保育を必要とする3号認定の2歳児のみ（4月1日時点で2歳。誕生日から満3歳入園となり保育料無償化の対象となるため、満3歳入園後は補助対象外）

○交付単価（児童1人当たり日額）

子ども・子育て支援交付金の国基準単価と同額とする。

I 本事業を利用する年間延べ利用児童数が1,500人以上の施設の場合

ア) 基本分（8時間利用） 2,650円

イ) 長時間加算（8時間を超えて11時間までの利用）

・超えた利用時間が2時間未満 330円

・超えた利用時間が2時間以上3時間未満 660円

II 本事業を利用する年間延べ利用児童数が1,500人未満の施設の場合

ア) 基本分（8時間利用） 2,250円

イ) 長時間加算（8時間を超えて11時間までの利用）

・超えた利用時間が2時間未満 280円

・超えた利用時間が2時間以上3時間未満 560円

○交付見込：私立幼稚園14園のうち12園で実施見込

3. 予算額 327,791千円 (財源内訳)

(前年度 206,942千円)

国庫支出金(1/3) 17,191千円

県支出金(1/3) 17,191千円

一般財源 293,409千円

担当	こども未来部 保育幼稚園課 稲垣・陣田・諸岡 TEL 354-8173
----	-------------------------------------------

## (新) 医療的ケア児受入事業費

### 1. 目的

医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律第9条第1項及び第2項の規定に基づき、公立の保育所等において、医療的ケア児の受け入れを可能とするための体制を整備し、地域生活支援の向上を図る。

### 2. 内容

令和3年9月の法律施行により、医療的ケア児の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるようにすることが地方自治体の責務となっている。本市においても医療的ケア児の人数は増加傾向にあり、公立の保育所等で医療的ケア児の受入体制を整えるため、ベッドなどの設備環境の整備や訪問看護ステーションへの委託などを行う。

#### <実施内容>

##### ○受入条件

主治医等より集団生活が可能であると判断されている（集団生活の場においても状態が安定している）児童であること

##### ○医療的ケアの内容

- ・経管栄養（鼻腔・胃ろう・腸ろう）
- ・吸引（口腔内・鼻腔内・気管切開部）
- ・導尿
- ・その他施設で対応可能な医療的ケア（血糖測定・インシュリン注射等）

##### ○受入対象施設

公立保育園・認定こども園・幼稚園

##### ○受入児童数（予定）

6人 ※令和8年度入所申込による見込み

3. 予算額	24,234千円	(財源内訳)	
		県支出金(5/6)	20,192千円
		一般財源	4,042千円

担当	こども未来部 保育幼稚園課 陣田・水谷 Tel 354-8172
----	----------------------------------------

## シティプロモーション部

### 新年度予算における基本的な方針

将来にわたり地域の活力を維持・増進し、本市が持続的に発展するためには、政策・施策の充実に加え、効果的なシティプロモーションにより、「選ばれる都市」として存在感を発揮することが重要となる。そのため、観光・文化・スポーツ分野を中心に、地域資源を有効に活用することや新たな価値を創造することにより、多くの市民・事業者に本市の魅力に対する認識を深めてもらい、シビックプライドを醸成する。

また、ふるさと応援寄付金（ふるさと納税）を活用して、本市の魅力を市内外に広く発信することにより、都市イメージの向上を図る。

観光分野においては、本市ならではの観光資源を活用し、本市の魅力在市内外へ積極的かつ効果的に発信するため、SNSやメディア、地域ブランド「泗水十貨店」、こにゅうどうくんなどを活用したシティプロモーションを展開しながら、市民のシビックプライドの醸成を図る。併せて、一般社団法人四日市観光協会をはじめ様々な主体と連携しながら、本市への誘客につながる取り組みを通して、都市イメージの向上、交流人口や関係人口の増加を図る。

また、本市が有する観光資源について、魅力を高めるための改修や整備、支援等に計画的に取り組むことで、一層の誘客促進を図る。

文化分野においては、地域で大切に受け継いできた伝統芸能をはじめとする市民の文化活動や文化交流の促進を支援する。また、乳幼児期から芸術文化に親しむことができるよう、乳幼児と保護者を対象とした音楽体験等の機会を提供するとともに、市内の小中学生に向けて、新たにこどもみらいクーポン事業を開始し、こどもたちが将来にわたって文化芸術やスポーツに親しむ風土を醸成する。

文化活動の拠点である文化会館、三浜文化会館及び茶室については、公益財団法人四日市市文化まちづくり財団を指定管理者として、一体的な管理・運営を行うことで、効果的な事業実施と利用促進に努めるほか、文化会館の老朽化した設備等の改修工事を行うなど、市民が安全・安心に施設を利用できるよう整備を進める。

久留倍官衙遺跡や旧四郷村役場、鳥出神社の鯨船行事、御池沼沢植物群落、埋蔵文化財等の本市が有する貴重な文化財については、総合的かつ計画的な保存活用や調査、及び関連施設の適切な維持管理・更新を行うとともに、地域で長年継承されてきた歴史文化遺産を、さらに将来へ守り伝えていくための支援を継続的に行い、市内外に本市の歴史文化の魅力を発信していく。

スポーツ分野においては、第4次四日市市スポーツ推進計画が令和8年度末までの計画期間となっていることから、第5次四日市市スポーツ推進計画の策定に向けて取り組んでいく。

また、幅広い世代を対象とした生涯スポーツ等の各種スポーツイベントを開催し、市民がスポーツに親しむ機会の創出に積極的に取り組むとともに、ランニングイベントを開催することで、市民のスポーツに対する機運醸成を図り、本市

の魅力を市内外に発信するとともに地域活性化につなげていく。さらに、全国規模の大会や国内のリーグ戦等の開催にかかる支援制度を活用した大会誘致に取り組み、今後のスポーツ振興や地域活性化につなげる。

スポーツ施設においては、誰もが快適で安全・安心にスポーツを楽しめる環境づくりに向けて、老朽化した施設の計画的な整備を進める。

## 1. 観光施策について

シビックプライドの醸成や都市イメージの向上、交流人口や関係人口の増加を図るため、一般社団法人四日市観光協会をはじめ様々な主体と連携し、シティプロモーション及び観光振興に取り組む。

本市の代表的な行事である「大四日市まつり」の開催に加え、令和7年度に新たな会場で再開した「四日市花火大会」について、会場を拡大し、実施する。さらに、各地でシティプロモーションイベントを開催するほか、本市の地場産品や特産品からこだわりの逸品を集めた地域ブランド「泗水十貨店」の販売・PRなどを実施するとともに、ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）の拡大を図るため、新たな返礼品の開拓や新規返礼品の開発、既存返礼品の改良に対し補助金の交付を行う。さらに、企業版ふるさと納税を活用し、本市の魅力を市内外へ積極的に発信する。

また、令和9年度の市制施行130周年に向けて、その節目を全市的に盛り上げるとともに、市民や企業等のシビックプライドをさらに深めることを目的に記念事業の企画を進める。

このほか、宮妻峡周辺の再整備に向けた事業者選定や四日市スポーツランドにおける施設改修など、観光資源の魅力増進及び利用者の安全性・利便性向上に取り組む。

【主な事業】	魅力収集発信事業費	501,519千円
	市制施行130周年記念事業推進費	3,600千円
	大四日市まつり事業費補助金	37,000千円
	四日市花火大会事業費補助金	71,800千円
	シティプロモーション事業費	74,054千円
	観光施設整備事業費	152,658千円

## 2. 文化振興について

「四日市市文化振興ビジョン」に基づき、文化振興審議会、文化行政総合企画調整会議等との調整を図りながら施策を推進する。

市民芸術文化祭については、多くの市民が参加できる事業を企画し、年間を通じて市民が芸術文化に親しみ、参加する機会となるよう取り組む。

また、幼い頃から音楽をはじめ、美術や演劇など多様な芸術文化に親しむ機会を設け、豊かな人間性の涵養と文化の担い手の育成につながるよう、前年度に引き続き、乳幼児や小・中学生、その保護者を対象に本物の芸術に触れるコ

ンサート等の公演を実施するほか、体験や交流などを通じて、児童が自ら芸術表現を経験できる事業を実施する。

さらに、市内の小中学生を対象として、こどもたちが楽しみながら参加できる多様な体験等を通じて達成感やモチベーションを高め、文化芸術・スポーツ事業への参加意欲を駆り立てる、こどもみらいクーポン事業を新たに開始する。

市民の文化活動の拠点である文化会館及び三浜文化会館については、公益財団法人四日市市文化まちづくり財団を指定管理者として、一体的に管理・運営することで、文化会館の工事中においても各施設の有機的な連携による文化事業の充実を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を促す取り組みを行う。

なお、文化会館については、10月の再開に向けて、給排水管設備や空調設備などの改修工事を前年度に引き続き実施する。

【主な事業】市美術展覧会開催費	192千円
市民文化祭等開催費	6,242千円
こども芸術体験事業費	9,850千円
こどもみらいクーポン事業費	46,000千円
文化振興事業支援補助金	3,781千円
四日市JAZZフェスティバル支援事業費	1,200千円
文化会館等管理運営費	398,105千円
文化会館等施設整備事業費	149,454千円
文化会館大規模設備等改修事業費	127,965千円
公共施設アセットマネジメント事業費	1,941,900千円

### 3. 文化財の保存・活用について

文化庁認定の「四日市市文化財保存活用地域計画」に基づき、文化財や地域の文化遺産の魅力を市内外に引き続き発信することで、保存・継承・活用を進める。

ユネスコ無形文化遺産である国指定重要無形民俗文化財の鳥出神社の鯨船行事について、将来にわたって継承されていくよう補助金を拡充し、市内外への情報発信や学校との連携を強化するなど、より一層の支援を図るとともに、富田・富洲原地区の文化財デジタルマップを用いたウォーキングイベントを開催し、地域の歴史や文化財への関心向上に努める。

国指定史跡の久留倍官衙遺跡については、国指定から20年を迎えることから、年間を通じて記念事業を開催し、地域の魅力を新たに発見する機会を創出する。

国指定天然記念物の御池沼沢植物群落については、文化庁認定の保存活用計画に基づき、遺伝子解析調査を進めるとともに、市民ボランティアや地域の中学生・高校生との協働による環境保全の取り組みを継続する。

地域に伝わる文化行事や民俗芸能の保存・継承については、引き続き担い手育成や用具類などの更新や保管施設の改修等について支援する。

【主な事業】 久留倍官衙遺跡公園管理運営費	21,640千円
御池沼沢植物群落保存整備事業費	1,640千円
市指定文化財旧四郷村役場活用事業費	968千円
ユネスコ無形文化遺産継承支援活用事業費	2,992千円
埋蔵文化財保護事業費	22,839千円
地域の文化遺産の保存・継承支援事業費	1,000千円

#### 4. スポーツ振興について

本市のスポーツ推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とした第5次四日市市スポーツ推進計画の策定に向けた取り組みを行う。

また、トップアスリート等による実技講習会、生涯スポーツ等の各種スポーツ大会や、ボッチャ大会等の障害の有無に関わらず誰もが親しむことができるスポーツを実施するとともに、総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ関連団体に支援を実施し、地域スポーツの振興・普及に向けた取り組みを行う。

さらに、幅広い世代を対象とした体力測定会の実施により、運動・スポーツの習慣化を促し、スポーツ実施率の向上や心身の健康増進を図るとともに、子どもたちが運動・スポーツに親しむきっかけを創出するため、スポーツ能力測定会やスポーツ体験会を実施する。

加えて、四日市サイクル・スポーツ・フェスティバルの開催により、次代を担う青少年の自転車競技への関心を高め、青少年の健全育成とスポーツの振興を通じて、地域の活性化を図る。

引き続き、高規格なスポーツ施設において、大規模なスポーツ大会や国内トップレベルのリーグ戦等の競技・演技を観る機会の創出により、スポーツ振興、スポーツ交流による地域活性化、ジュニア世代等の競技力の向上を図るとともに、新たにプロスポーツチームの本拠地を本市に誘致した場合における地域への波及効果等を調査する。

また、四日市みなとランフェスティバルを開催することで、市民のスポーツに対する機運醸成を図り、本市の魅力を市内外に発信するとともに地域活性化につなげていく。

##### 【主な事業】

スポーツイベント実施事業費	4,000千円
ランニングイベント開催事業費	32,800千円
プロスポーツチーム誘致事業費	2,600千円
運動・スポーツの習慣化による健康増進事業費	3,900千円
幼少期から体を動かす習慣づくり事業費	6,570千円
四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル事業費	41,600千円
スポーツ大会等開催費補助金	61,000千円

## 5. スポーツ施設整備及び管理運営について

霞ヶ浦第1野球場グラウンド改修工事を行うほか、四日市ドームの改修に向けた優先交渉権者選定のプロポーザルの実施やアリーナ等に空調設備が整備されていない三滝武道館、橋北交流会館体育館への空調設備整備に向けた設計を行い、利用者の安全性及び利便性の向上に取り組む。

また、相好アリーナ四日市を含む運動施設については、公益財団法人四日市市スポーツ協会を指定管理者とし、一括して管理運営を行うことで、利用者の利便性向上、管理運営の効率化を図るとともに、市の直営管理である四日市ドームにおいても、利用者等が安全・安心に当該施設を利用できるよう、施設及び附随する設備の適切な維持管理を行う。

### 【主な事業】

霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費（推進計画）	148,471千円
霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費	110,000千円
その他運動施設整備事業費	4,100千円
四日市ドーム整備事業費（推進計画）	16,900千円

## (新) 市制施行 130 周年記念事業推進費

### 1. 目的

令和 9 年度の市制施行 130 周年に向けて、その節目を全市的に盛り上げるとともに、市民や企業等のシビックプライドをさらに深めることを目的に記念事業の企画を進める。

### 2. 内容

市制施行 130 周年を迎える令和 9 年度に向けて、記念事業の準備や周年記念の周知・啓発を行う。

- (1) 企画委員会の開催、大規模イベントの誘致等の調整 800 千円
- (2) 周年記念に向けたホームページやチラシ・ポスター、啓発品等の制作 2,800 千円

3. 予算額 3,600 千円 (財源内訳) 一般財源 3,600 千円



(四日市市制施行 120 周年記念式典の様子)

担当 シティプロモーション部 観光交流課  
河合  
Tel 354-8286

# 四日市花火大会事業費補助金

## 1. 目的

夏の夜空を彩る「四日市花火大会」開催に係る経費の一部を助成することにより、多くの市民等に楽しみの場を提供するとともに、市民の郷土愛を醸成する。

## 2. 内容

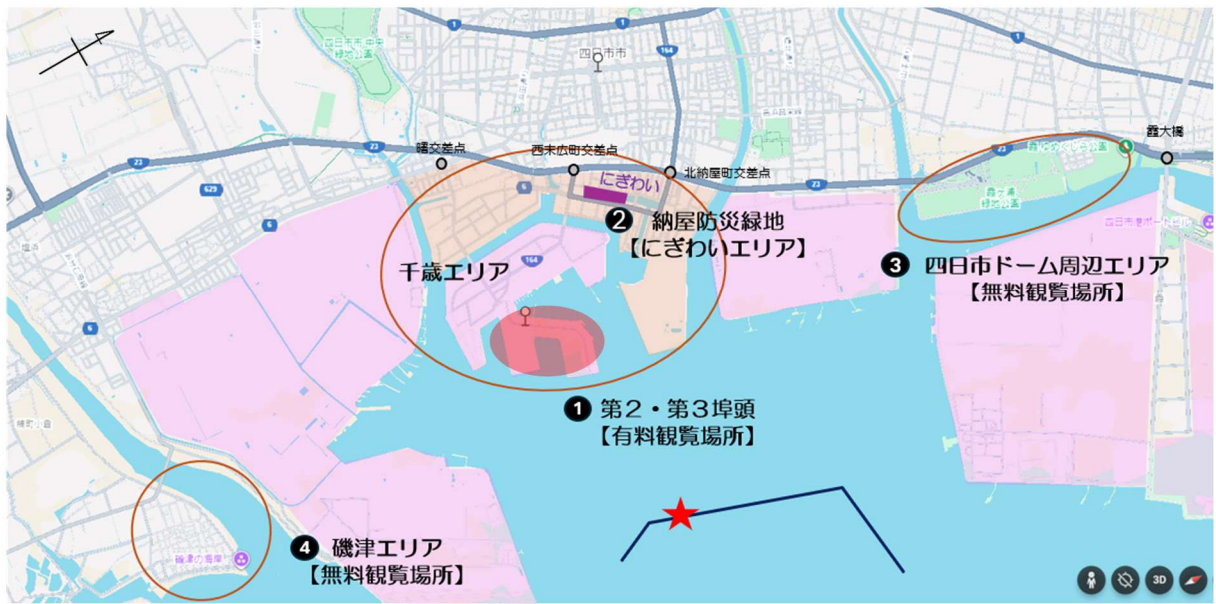
- (1) 実施主体 四日市花火大会実行委員会
- (2) 開催予定日 令和8年8月30日(日)
- (3) 花火 約4,000発(最大10号玉) 四日市港東防波堤から打上げ
- (4) メイン会場 第2・第3埠頭(千歳町) ※協賛者席・有料観覧席  
サブ会場 四日市ドーム周辺エリア及び磯津エリア ※無料
- (5) 概要・特記事項
  - ・メイン会場の観覧席については、一般販売を開始する
  - ・サブ会場として、2つの無料観覧エリアを設置する
  - ・10号玉の増発やスターマイン等の見せ方の工夫により、満足度を高める
  - ・メイン会場及びサブ会場の観覧エリアについて、十分な安全対策を講じる
  - ・原則シャトルバスでの来場とし、会場内にはおもいやり駐車場を確保する
  - ・三滝川右岸から天白川左岸の国道23号より東側を車両進入禁止範囲とする
- (6) 令和7年度観覧者数 第2・第3埠頭6,400人

### 【経費内訳】

収入		支出	
収入内訳	金額	総事業費内訳	金額
企業協賛金	22,600千円	事業費(花火費)	33,277千円
観覧席売上金	14,300千円	事業費(宣伝費)	4,440千円
市補助金	71,800千円	事業費(設備費)	34,558千円
前年度繰越金	1,811千円	事業費(事業諸費)	36,379千円
		総務費(会議費・諸費)	1,857千円
合計	110,511千円	合計	110,511千円

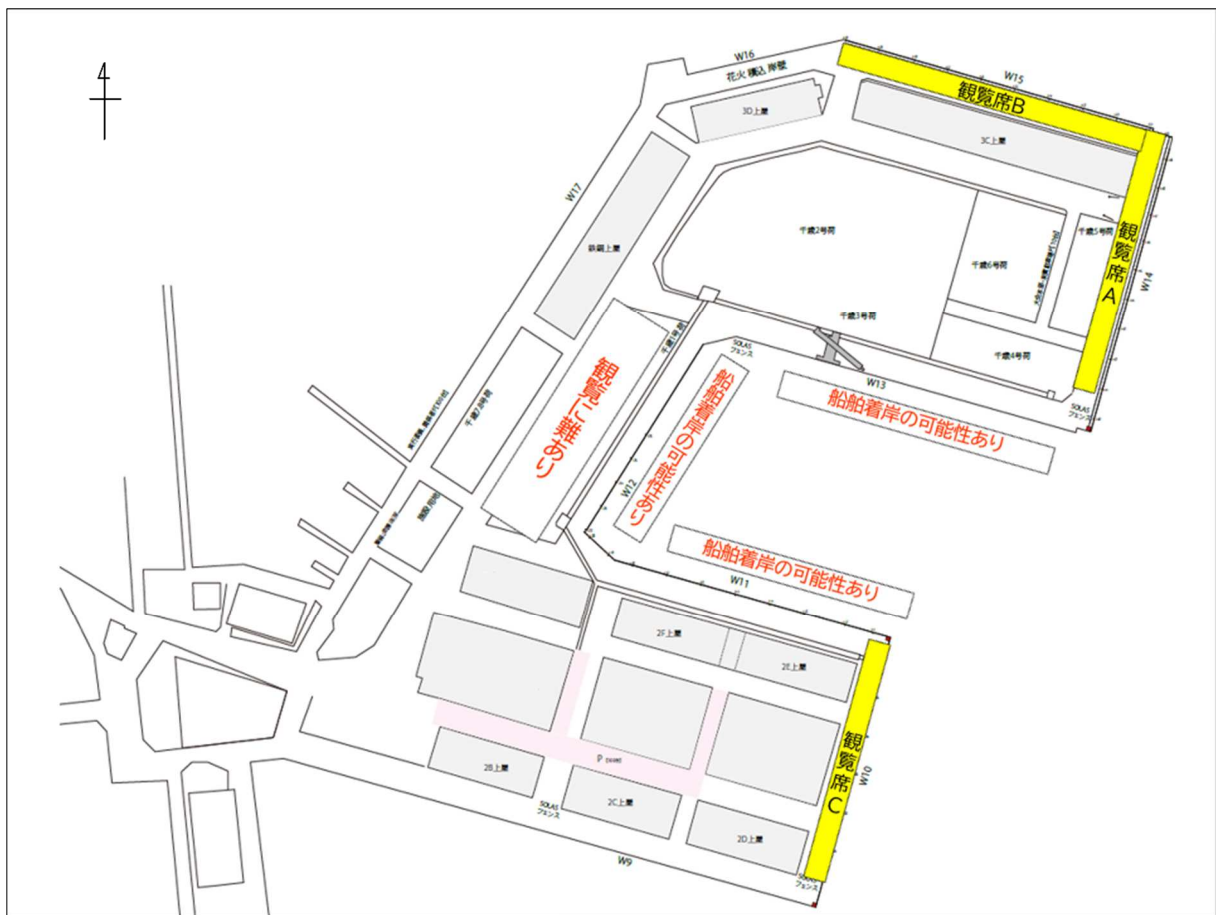
- 3. 予算額** 71,800千円 (財源内訳) その他特財 71,800千円  
 (前年度 70,000千円) (まちづくり事業基金繰入金)

【花火大会 各会場図】



※★打上げ場所

【観覧席範囲図 (メイン会場となる第2・第3埠頭)】



担当	シティプロモーション部	観光交流課
	権野、青砥	
TEL	354-8176	

# 観光施設等整備事業費

## 1. 目的

多くの方々に利用されている観光施設において、利用者の安全かつ快適な利用を促進するため、老朽化した施設の修繕または更新、利用者ニーズの変化や現状の課題に対応するための施設整備等を行う。

## 2. 内容

(1) 四日市スポーツランド整備事業 29,500千円

四日市スポーツランドの管理運営を行っている（公財）四日市市文化まちづくり財団が行う施設等の整備費用について助成を行う。

- ・既存アスレチック遊具の改修
- ・なかよし広場の整備（恐竜モニュメント改修）
- ・ローラースケート場改修設計、西側スライダー乗り場道路再舗装



現在のなかよし広場



改修後の恐竜モニュメント（イメージ）

(2) 宮妻峡再整備事業 114,658千円

宮妻峡ヒュッテ跡地を含む宮妻峡周辺のDBO（設計・施工・運営一体型）方式による再整備にあたり、事業者をプロポーザル方式で選定し、設計・施工を行う。

- ・宮妻峡再整備にかかる業者選定審査委員会運営費 258千円
- ・宮妻峡再整備にかかるキャンプ場設計・施工委託費等

114,400千円

(3) その他整備事業 8,500千円

伊坂ダム等の来訪者の安全を守り、快適性の向上を図る環境整備を行う。

3. 予算額 152,658千円（財源内訳） 国庫支出金（1/2） 57,200千円  
（前年度 27,900千円） 市 債 51,400千円  
その他特財 3,000千円  
（企業版ふるさと納税基金繰入金）  
一般財源 41,058千円

担当 シティプロモーション部 観光交流課  
権野、青砥  
TEL 354-8176

## ふるさと応援寄附金事業 (魅力収集発信事業費)

### 1. 目的

ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）拡大のために、新規返礼品の開拓を行うとともに、新規返礼品の開発や既存返礼品の改良、返礼品の魅力向上など効果的な取り組みを行う。また、企業版ふるさと納税をさらに推進するため、企業への働きかけなどを行う。

### 2. 内容

- (1) 感謝の気持ち（返礼品）の調達経費 329,362千円  
ふるさと納税の寄附者への感謝の気持ちとして用意する本市の魅力ある地場産品やサービスなどの返礼品については、従来からのラインナップに加え、引き続き新たな返礼品の開拓を行う。
- (2) ポータルサイトの運用経費 108,202千円  
「ふるさとチョイス」や「楽天ふるさと納税」などのポータルサイトを活用し、寄附の獲得を行う。
- (3) ふるさと納税支援業務委託費 39,204千円  
寄附受付、寄附者情報の管理、返礼品の発注・配送管理及び寄附者と返礼品提供事業者への対応等に係るふるさと納税支援業務を委託する。
- (4) **【拡充】** ふるさと納税返礼品開発等支援補助金 500千円  
ふるさと納税返礼品提供事業者が行う新規返礼品の開発および既存返礼品の改良、返礼品の魅力向上に資する事業に対して補助金を交付する。
- (5) その他事務経費 24,251千円  
消耗品費、印刷製本費等

**3. 予算額** 501,519千円 (財源内訳) 一般財源 501,519千円  
(前年度 407,715千円)

**【参考 歳入予算額】** ふるさと応援寄附金 1,000,000千円  
(前年度 801,000千円)

担当 シティプロモーション部 観光交流課  
ふるさと納税推進室 清水、友松  
TEL 354-8525

## シティプロモーション事業費

### 1. 目的

観光・シティプロモーション条例等に基づき、本市ならではの地域資源を活用し、本市の魅力在市内外へ積極的かつ効果的に発信するシティプロモーションを展開しながら、市民のシビックプライドの醸成を図り、主要な地域資源を軸とした誘客と多様な来訪者が快適に過ごせる取り組みを図ることを通して、交流人口や関係人口の増加による地域の活性化を促進する。

### 2. 内容

- (1) **【拡充】** 観光振興マーケティング事業 9,900千円  
観光に関する地域課題の解決や効果的なシティプロモーションの企画立案のために、根拠となるデータを収集・分析し、現状の変化をマーケティングしながら、観光地域づくりの好循環を生み出す仕組みを整える。
- (2) 名古屋圏における四日市の魅力発信事業 30,000千円  
令和7年度まで実施してきたラジオ番組やシネアド、中部国際空港における海外向けプロモーションを一本化し、在名テレビ局等を活用した情報発信や名古屋圏におけるイベント出展により、本市の魅力発信を行うことで、都市イメージの向上及びシビックプライドの醸成を図るとともに、市外からの交流人口や関係人口の増加を促進する。
- (3) 地域資源活用コンテンツ造成事業 18,600千円  
本市の地場産品や特産品からこだわりの逸品を集め、それら商品の販売やPRを通じて魅力を発信するため、令和5年度に始動した地域ブランド「泗水十貨店」について、新たな販路開拓やプロモーション等の取組を進める。
- (4) 四日市STYLE（イベント）事業 5,000千円  
本市の魅力発信イベントを2回程度実施し、都市イメージの向上及びシビックプライドの醸成を図る。
- (5) SNSを活用した「四日市の魅力」発信事業 3,000千円  
市民が「四日市市＝暮らしを楽しめるまち」というイメージを共有し、まちへの帰属意識やシビックプライドの醸成するため、その魅力をSNSアカウント（インスタグラム）を活用し広く情報発信を行う。

- (6) こにゅうどうくん活用事業 1,800千円  
令和3年度に購入したラッピング車両を生かし、様々な場所において、こにゅうどうくんを活用した四日市のPRを実施する。
- (7) Wi-Fi等データ活用事業 1,754千円  
Wi-Fiスポットを19箇所設置し、観光客等の受入環境整備を実施する。また、スマートフォンのアクセスデータ等を活用し、情報発信を行う。
- (8) 客船誘致協議会負担金 1,000千円  
県民・市民に親しまれる港づくり及び観光振興のため、四日市港に客船の誘致を図り、地域の活性化を図る。
- (9) 観光おもてなし事業費補助金 2,000千円  
東海道沿線または空き家活用計画該当区域における休憩場所の提供に資する事業等に対し補助を行う。
- (10) 観光振興等事業費補助金 1,000千円  
四日市商工会議所や一般社団法人四日市観光協会が実施する観光振興に資する事業に対して補助を行う。

**3. 予算額** 74,054千円 (財源内訳) その他特財 2,500千円  
(前年度 91,354千円) (まちづくり事業基金繰入金)  
一般財源 71,554千円

担当	シティプロモーション部	観光交流課
	河合	
TEL	354-8286	

## (新) こどもみらいクーポン事業費

### 1. 目的

こどもたちが多様な体験プログラムを通じて得たクーポンプログラムにより、優れた文化芸術やスポーツに触れ、将来にわたって文化芸術やスポーツに親しむ風土を醸成する。加えて、本市の文化芸術及びスポーツ振興を推進するとともに担い手の育成につなげる。

### 2. 内容

#### (1) こどもみらいクーポン事業について

市内の小中学生を対象に、こどもたちが楽しみながら参加できる多様な体験プログラムを提供し、体験等を通じて達成感やモチベーションを高め、文化芸術・スポーツ事業（クーポンプログラム）への参加意欲を駆り立てる事業を実施する。

##### ① 体験プログラム（第1段階）

各体験プログラムに参加し、体験毎に用意されたポイントをシステム内で集める。また、システムにアクセスするだけで、ポイントを取得できる仕組みを用意するなど、積極的な体験プログラムへの参加が難しいこどもも、取り残さないようにする。

体験プログラムの一例
美術展覧会のワークショップに参加する
旧四郷村役場で昔のあそびを体験する
四日市市レクリエーション大会に参加する
四日市スポーツランドでアスレチックやスライダーを利用する
伊坂ダムで変わり種自転車に乗る

##### ② クーポンプログラム（第2段階）

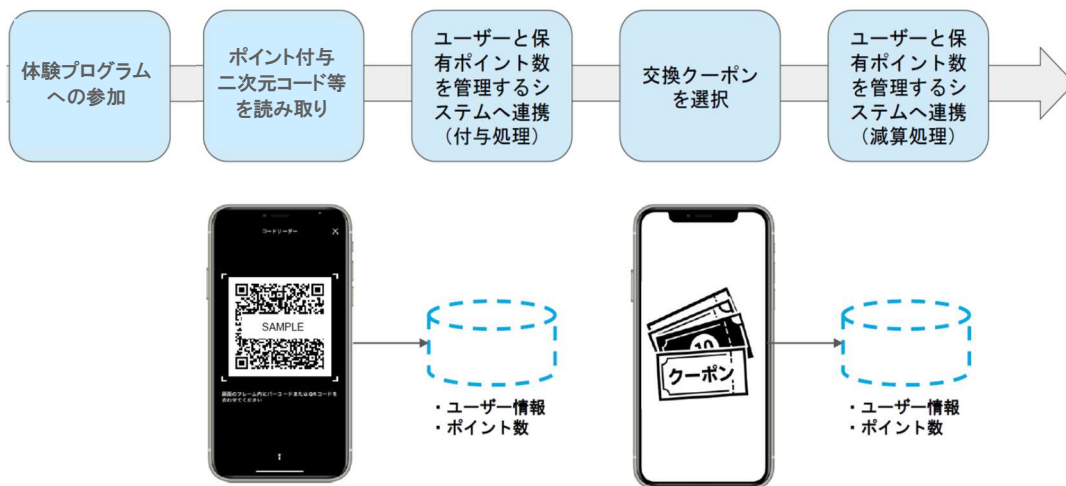
体験プログラムで集めたポイントを、システム内で提示されている「こどもみらいクーポン」と交換し、クーポンプログラムに参加する。このほか、システム内のゲームやカスタマイズに使用することもできる。

クーポンプログラムの一例
文化会館第1ホールで、アーティストと一緒に合唱する
漫画家にレッスンを受ける
プロ野球選手とキャッチボールや夢を語るインタビューをする
声優と一緒にアニメ制作を体験する
舞台俳優と一緒に舞台の体験をする

○事業イメージ図



○ポイント付与・クーポン発行



(2) 事業内訳

① クーポンシステムの開発等に係る経費	16,864千円
② クーポンシステムの運用に係る経費	18,536千円
③ クーポンプログラムの実施に係る経費	8,500千円
④ ポケットWi-Fi通信費	864千円
⑤ 印刷製本費・備品購入費・消耗品費等	1,236千円

3. 予算額 46,000千円 (財源内訳) 一般財源 46,000千円

担当 シティプロモーション部 文化課  
文化振興グループ 藤波・田端  
TEL354-8239

# 文化会館大規模設備等改修事業

〔 文化会館等施設整備事業費・文化会館大規模設備等改修事業費  
公共施設アセットマネジメント事業費 〕

## 1. 目的

開館後 40 年以上経過した文化会館について、施設を安全で良好な状態で管理するため、給排水管設備や空調設備などの改修工事を実施する。

なお、現地工事は令和 8 年 9 月までとし、1 年の全面休館を経て 10 月より施設の供用を再開する。

## 2. 内容

①空調設備ほか更新工事	1, 360, 500 千円
②文化会館改修工事	612, 000 千円
③電気設備改修工事	86, 900 千円
④舞台関係設備更新工事	83, 800 千円
⑤大規模改修等工事監理業務委託	19, 665 千円

<b>3. 予算額</b>	2, 162, 865 千円 (前年度 248, 400 千円)	(財源内訳) 市債	1, 928, 800 千円
		その他特財	214, 400 千円
		(都市基盤・公共施設等整備基金繰入金)	
		一般財源	19, 665 千円

## ○工事スケジュール (予定)

工事内容		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
文化 会館 大規模 改修等 工事	①空調設備ほか更新工事 (推進)			本契約・資材発注等準備		← 施工 →	
	②文化会館改修工事 (アセット)					← 施工 →	
	③電気設備改修工事 (一般)					← 施工 →	
	④舞台関係設備更新工事 (一般)					← 施工 →	
⑤大規模改修等工事監理業務 (推進)				← 本契約・監理業務 →		← 事務 →	
文化会館運営				引越	貸館休止	引越	10/1再開 →

担当 シティプロモーション部 文化課  
文化振興グループ 葛山・笠井  
TEL354-8239

# 四日市市文化財保存活用地域計画推進事業

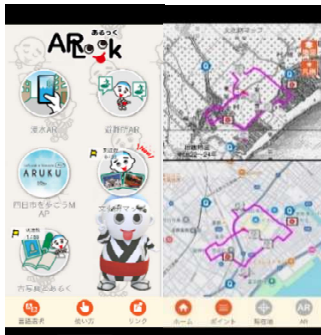
## 1. 目的

四日市市文化財保存活用地域計画に基づき、市指定文化財「旧四郷村役場」やユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財「鳥出神社の鯨船行事」等、市の貴重な文化財を市民共通の文化遺産として適切に保存・継承し、効果的な活用を図る。

## 2. 内容

- (1) 文化財デジタルマップの運用 836千円  
①四郷地区及び富田・富洲原地区
- (2) 保存活用事業 550千円  
①市指定文化財旧四郷村役場活用  
・大正和装イベント、講座、企画展の開催
- ②【拡充】ユネスコ無形文化遺産 鳥出神社の鯨船行事継承支援活用 2,574千円  
・継承支援事業補助金  
（ア）観覧環境整備事業 観覧席、仮設トイレの設置等  
（イ）広報事業 行事の広報  
※上限50万円、補助対象経費1/2以内→2/3以内  
  
（ウ）保存継承事業 行事の魅力を伝える展示に係る施設整備等  
※上限150万円、補助対象経費2/3以内（新たに追加）  
  
・学校連携事業の実施  
・デジタルマップを活用した文化財巡りウォーキングの開催  
・事前学習会の開催、鯨船行事ホームページの運営等

3. 予算額 3,960千円 (財源内訳) 一般財源 3,960千円  
(前年度 5,780千円)



文化財デジタルマップ



鳥出神社の鯨船行事出前授業

担当 シティプロモーション部 文化課  
文化財グループ 清水  
TEL354-8238

## (新) プロスポーツチーム誘致事業費

### 1. 目的

現在、本市では、相好アリーナ四日市（四日市市総合体育館）や四日市テニスセンター等の高規格なスポーツ施設を活用し、プロスポーツの公式戦や全国大会等の大規模スポーツイベント等の誘致を進めることで、市民がトップレベルの競技を観戦する機会の創出及び交流人口の拡大に取り組んでいる。

また、こうした取組を進めるなか、本市がホームタウン包括連携協定を締結するヴィアティン三重バレーボールが、国内最高峰のリーグであるSVリーグへの参入を表明したことに加え、プロ野球中日ドラゴンズがファーム拠点移転先を公募する発表を行った。

このため、これらプロスポーツチームの本拠地の誘致に向け、地域への波及効果を客観的かつ定量的に把握し、今後の誘致施策の検討や財政的支援の判断のための基礎資料とする。

### 2. 内容

プロスポーツチーム誘致にかかる検討業務委託 2,400千円

#### 【主な委託の内容】

- ・誘致による本市への経済波及効果の試算
- ・施設改修、整備に必要な費用の試算
- ・本市独自の支援メニューの構築 など

各関係団体との協議に伴う旅費・事務用品等 200千円

3. 予算額 2,600千円 (財源内訳) 一般財源 2,600千円

担当 シティプロモーション部 スポーツ課  
内糸  
Tel 354-8429

# 四日市ドーム整備事業費

## 1. 目的

四日市ドームにおいて、利用者の安全性確保及び利便性の向上に向けた改修工事を実施するため、業者選定に向けたプロポーザル支援業務を実施する。

## 2. 内容

改修工事の実施にあたっては、施設の特異な構造上、現場で足場を組みながら大屋根上部等を調査し、施設の劣化状況に応じて適切な改修を実施していく必要がある。このため、設計施工一括発注方式（デザインビルド方式）で工事を行うことから、その業者選定に向けたプロポーザル支援業務を実施する。

### (1) 主な委託の内容

- ・ 審査委員会の運営支援、報告書作成支援
- ・ 基本計画意図との照査、技術的な考察 など

### (2) スケジュール見込み

実施内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
設計・施工業者選定に向けたプロポーザルの実施	←→			
設計施工一括発注方式による改修工事の実施(準備期間を含む)		(準備期間) ←→	(設計・施工期間)※1 ←→	

※1 令和9～11年度の施工期間中は施設の全面休館を予定しているため、ホームページへの掲載や施設掲示など利用者への周知を図る。

**3. 予算額** 16,900千円 (財源内訳) 一般財源 16,900千円  
(前年度 0千円)

## 4. 債務負担行為

- ・ 四日市ドーム大規模改修等事業費  
 限度額 6,441,000千円 (総事業費 6,441,000千円)  
 期間 令和8年度から令和11年度まで

担当 シティプロモーション部 スポーツ課  
 大澤  
 TEL 354-8428

# 商 工 農 水 部

## 新年度予算における基本的な方針

国の月例経済報告（令和7年12月）によると、「景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している」と報告されている一方で、政府が「足元の景気は緩やかな回復局面にあるものの、潜在成長力は伸び悩んでいる」として総合経済対策を実施するなど、物価高騰、人手不足等が地域産業に与える影響を十分に注視していく必要がある。本市としては、プレミアム付デジタル商品券事業をはじめとした施策を着実に実施することで、幅広い消費を促し地域産業の活性化を図る。

また、日本有数の産業都市として、積極的な設備投資や新たな企業立地、中小製造業者等による新技術・新製品開発等への取組に対して支援を行うことで、競争力のある事業者を後押しし、本市産業の活性化を目指して様々な施策を展開していく。併せて、持続可能な農業を実現するため、農地の集積・集約化による経営規模の拡大や、省力化・効率化・高品質生産に資するICTを活用した農業機械の導入、農業の6次産業化・農産物の高付加価値化への取組などを推進する。さらに、足元の支援として、物価高騰により厳しい経営環境にある中小事業者等に対して、事業継続や経営安定化を図るため、引き続き融資制度等を実施していく。

雇用対策については、令和8年7月から企業等の障害者雇用にかかる法定雇用率が2.7%に引き上げられることから、市内の事業所に対して、引き続き障害者雇用に関する様々な支援を行い、障害者雇用の促進と職場への定着を図る。また、仕事と子育てが両立できる職場環境を実現するため、だれもが働きやすい職場づくりを推進する中小企業を支援するとともに、人手不足に対応するため、中小企業の人材確保を引き続き支援していく。

令和7年度に議員提案により「中小企業・小規模企業振興基本条例」が制定され、条例の理念を具現化すべく、規程に基づく審議会を開催し、戦略プランの策定に取り組むとともに、中小企業の持続的な発展を促すため、新製品・新技術の開発、新分野への参入、IoT等の活用、海外を含めた販路拡大並びに人材育成、人材確保等への支援を行う。また、地場産業の活性化に向けて、国内外の見本市への出展等を支援する。

「四日市市地場産業振興センター」については、産業の新たな拠点施設としての整備に向けて改修工事及び1階展示設計業務を行うほか、リニューアルオープンに向けた機運醸成として、プレ事業を引き続き実施する。

商業振興については、にぎわいを創出するため、定期市や商店街等の維持・再生に向けた取組等の支援とともに、バスタ等各種プロジェクトの完成後を見据えながら、中心市街地商店街の魅力向上への取組を行う。併せて、令和7年9月12日からの大雨に伴う災害により、中心市街地の商店街の多くの店舗が浸水被害を受けたため、支援内容を拡充し、商店街のにぎわい創出や事業継続力の強化を図る。

また、創業を目指す方への支援に加え、創業して間もない創業者に対する販路開拓等の支援を行うほか、女性の創業者育成についても継続して取り組んでいく。

工業振興については、四日市コンビナートが、本市の産業基盤として永続的に維持・発展していくために、「四日市コンビナートカーボンニュートラル化推進委員会」を設置しており、引き続き具体的な事業創出を目指し支援を継続する。また、企業の設備投資及びマザー工場化の促進、A I、I o T等を導入するスマート化等への支援により、本市への投資促進を図る。さらに、新たな産業用地の創出に向け、方針の策定などに取り組む。

農水畜産施策については、「地域計画」に基づき、農地の集積・集約化や荒廃農地の復元、区画拡大を支援するとともに、集落営農組織、新規就農者、農業参入企業といった次世代を担う経営体の育成を推進し、持続的な地域農業の維持・発展を図る。

また、農業経営の基盤強化を促すための取組として、G A P（農業生産工程管理）等の認証取得や、省力化等に資するI C Tを活用した農業機械の導入支援に加えて、昨今の酷暑の影響を大きく受ける露地野菜農家に対しては、新たに高温対策に資する機械装置等の導入支援を行う。加えて、6次産業化に取り組む農業者に対し、ハード面の支援に留まらず、加工品の試作や商品化に向けたセミナーの開催などソフト面の支援にも努める。

加えて、令和8年度に三重県で開催される関西茶業振興大会を本市の特産品であるかぶせ茶を広くP Rする絶好の機会と捉え、メディアを活用したP Rや記念イベントの開催に加え、認知度向上や購買意欲の喚起を目的とした現地での体験・販売コンテンツ設置などを展開する「かぶせ茶P Rプロジェクト」を実施し、P R活動の強化を図る。

サル、イノシシ、シカなどの有害鳥獣による農作物被害に関しては、防護柵の設置経費支援に加え、自治会等による自主的な被害防止活動への支援を行うとともに、猟友会と連携した捕獲事業によって、効率的かつ効果的に対策を推進する。

井堰、水路等の農業水利施設については、計画的な更新・補修を行うことで機能保全、長寿命化を図る。

漁港関連施設の整備については、長寿命化計画に基づき、磯津漁港海岸堤防の改修工事を実施して、背後地の人命・財産を防護する。

## 1. 雇用対策について

企業が抱える人手不足や生産性の向上などの課題に対し、解決のための支援を行う。だれもが働きやすい職場づくりを行うため、職場環境の整備を行う中小企業に対して、ハード・ソフトの両面で支援を行うとともに、企業における働き方改革を推進するため、専門家の講師派遣を行う。また、中小企業における人手不足に対応するため、就職フェアにおける出展ブースの提供や単独出展企業に対する補助を行い、人材の確保を図る。

企業等の障害者雇用については、令和8年7月から、法定雇用率が2.7%に引き上げられることから、新たな雇用を促進し、職場への定着を図るため、企業等が新たに障害者を雇用する際に支援を行うとともに、関係機関と連携して、企業へ各種支援制度のさらなる周知を行う。また、障害者を雇用しようとする企業を対象に、障害者雇用に関する現場見学も含めたセミナーを開催する。

一方、就労困難者の早期就労については、ハローワーク、教育機関、健康福祉部などと連携し支援するとともに、引き続き企業訪問による効果的な啓発活動を

進める。また、働くことに悩みを抱えている若者や、就職氷河期世代の就労支援にも対応するため、地域若者サポートステーションへの支援や、資格取得を目指す求職者に対する助成を継続して行う。

【主な事業】	中小企業人材確保支援事業費	14,900千円
	働きやすい職場づくり支援事業費	4,300千円
	障害者雇用奨励補助金	4,800千円
	障害者雇用促進事業費	3,019千円
	障害者雇用職場定着支援事業費	2,655千円
	就労コーディネーター事業費	5,711千円
	就労対策事業費（若年者就労支援他）	2,900千円
	ワークスタイル・イノベーション推進事業費	5,150千円

## 2. 中小企業支援について

中小企業の持続的な発展のために、新製品・新技術開発、成長分野等新分野への参入、I o T等の活用、海外を含めた販路拡大並びに人材育成、人材確保等支援を行う。

さらに、令和8年度にベトナム社会主義共和国計画投資省外国投資庁及びハイフォン市と経済交流に関する覚書を締結してから10周年を迎えることを契機に、ベトナム現地で四日市市の認知度を高めるイベントや商談会を実施することで、市内企業の海外展開、販路拡大を図る。

地場産業の活性化に向けては、国内外の見本市への出展支援を行うとともに、本市の主要地場産品である四日市萬古焼については、小学生を対象に体験講座を実施し、また、技術者を対象に伝統的技術を継承するための後継者育成講座を支援する。そのほか、「四日市市地場産業振興センター」については、「産業の新たな拠点施設」としてのリニューアルに向けて、『地域と産業の伸び代を最大化するビジネス・コミュニティ・ハブ』というコンセプトに基づき、産業支援機関等と連携したスタートアップ支援やリカレント教育・リスクリング、産業情報発信等の機能を備えた施設への改修工事及び1階展示設計業務を行うほか、リニューアルオープンに向けた機運醸成として、プレ事業を引き続き実施する。

また、中小企業の資金繰りを支援し、経営の安定化を図るため、融資制度を引き続き実施するほか、創業支援として、国の認定を受けた創業支援等事業計画に基づいて、新たに創業を目指す創業者への支援や女性を対象とした創業支援講座を引き続き実施し、さらに創業して間もない創業者に対する支援など創業による雇用創出や地域経済の活性化を図る。

【主な事業】	中小企業新規産業創出事業費	10,144千円
	ものづくりエキスパート育成事業費	10,000千円
	中小企業I o T等活用促進事業費	4,500千円
	中小企業海外販路開拓支援事業費	18,702千円
	中小企業海外人材確保支援事業費	700千円
	企業OB人材センター事業費	5,525千円
	地場産業普及啓発事業費	4,346千円

四日市市地場産業振興センター運営費	516,142千円
中小企業人材確保支援事業費（再掲）	14,900千円
働きやすい職場づくり支援事業費（再掲）	4,300千円
中小企業向け制度融資預託金	1,778,625千円
中小企業向け制度融資保証料補給金	88,800千円
中小企業人材スキルアップ支援事業費補助金	4,600千円
創業支援事業費補助金	1,700千円
創業者販路拡大事業費補助金	2,250千円
女性起業家育成支援事業費	3,220千円

### 3. 商業振興について

商店街振興については、引き続き、新たな顧客獲得に資するイベントへの支援や空き店舗等への出店支援のほか、商店街の電灯料の補助などを行っていく。併せて、令和7年9月12日からの大雨に伴う災害により、中心市街地の商店街の多くの店舗が浸水被害を受けたため、支援内容を拡充し、商店街のにぎわい創出や事業継続力の強化を図る。加えて、高校生の若い視点を生かした取組を商店街・定期市などで展開し、買い物拠点の維持・再生を図る。

また、中心市街地の活性化を図るため、市民等が主体的に取り組んで活動を行うための拠点施設であるすわ公園交流館の管理・運営や中心市街地における冬のイルミネーション事業への継続的な支援を行っていくとともに、バスタ等中心市街地再整備の各種プロジェクトの完成後を見据え、商店街や四日市エリアプラットフォームと連携し、中心市街地商店街の魅力向上への取組を行う。

【主な事業】	中心市街地イルミネーション事業費	5,400千円
	高校生魅力創出事業費	880千円
	すわ公園交流館管理運営費	20,146千円
	定期市活性化促進事業費	3,890千円
	商店街街路灯電灯料補助金	5,000千円
	買い物拠点再生事業費	23,800千円
	商業動向調査費	3,200千円

### 4. 工業振興について

四日市コンビナートが、カーボンニュートラル社会においても本市の産業基盤として永続的に維持・発展していくために、コンビナート企業や国・県・学識経験者等で検討した結果を踏まえて、令和5年度に「四日市コンビナートカーボンニュートラル化推進委員会」を設置し、企業間の連携によるプロジェクト創出や企業と行政が連携した実証実験などの新たな取組の創出に向け支援しており、引き続き具体的な事業創出を目指し支援する。

また、平成30年度から実施している産学官のプラットフォームである四日市コンビナート先進化検討会において、円滑な操業に向けた規制の合理化に関する取組や、安全性の向上や生産の効率化のためのIoT等の新技術導入に向けた取組も引き続き進めていく。

さらに、企業立地奨励金交付事業や民間研究所立地奨励金交付事業により、新

規企業の誘致や既存企業の設備投資及びマザー工場化の促進、A I、I o T等を導入するスマート化並びに研究開発機能の集積による新規事業分野への展開等を図るとともに、産業の高度化を担う人材育成支援により本市への投資促進を行っていく。

また、新たな産業用地の創出に向け、方針の策定等を行う。

【主な事業】	企業立地奨励金交付事業費	365,000千円
	民間研究所立地奨励金交付事業費	216,800千円
	ものづくりエキスパート育成事業費（再掲）	10,000千円
	四日市コンビナート等先進化推進事業費	745千円
	四日市コンビナートカーボンニュートラル推進事業費	100,344千円
	産業高度化推進調査費	1,425千円
	産業用地創出事業費	1,000千円

## 5. 地産地消・優良農地の保全と担い手の育成について

ふるさとの食推進事業では、本市の優れた農作物を広く市民に周知し、地産地消を推進するために、学校給食における地元食材の利用割合拡大に向けた取組を進めるほか、生産者と児童との交流機会を通じた食育の推進も図る。また、令和8年度に三重県で開催される関西茶業振興大会を本市の特産品であるかぶせ茶を広くPRする絶好の機会と捉え、メディアを活用したPRや記念イベントの開催に加え、認知度向上や購買意欲の喚起を目的とした現地での体験・販売コンテンツ設置などを展開する「かぶせ茶PRプロジェクト」を実施し、多角的に茶業の振興に取り組む。

優良農地保全事業では、人と農地の問題を解決し、持続可能な農業を実現するための「地域計画」に基づき、荒廃農地の復元や農地の大区画化等の支援を通じて農地の集積・集約化を更に推進する。また、集落営農組織の活動を支援するため、農業施設の整備などに対する市独自の補助制度により、地域農業の維持・発展を図っていく。

次世代農家育成事業では、新規就農者に対する初期投資補助や国の補助制度を通じて、経営の早期安定化を図るとともに、農業に参入する企業の初期投資に補助を行い、次世代を担う農業者の育成・定着を図る。

一方、農作物の生産振興に関しては、茶の収量増加等に資する改植や、茶以外の高収益作物への転換を支援し、高収益構造の産地形成を目指す。また、農業センター及び農業者のビニールハウスに設置した環境モニタリング装置から得られる温度や湿度、CO<sub>2</sub>濃度等のデータを活用して、トマト栽培のノウハウを可視化し、研修会等を通じて農業者にスマート農業の普及を図る。

担い手農家の経営強化支援として、生産性向上や販売力強化の実現に向けた、GAP（農業生産工程管理）等の認証取得や、ICTを活用した農業機械の導入を支援するほか、新たに昨今の酷暑の影響を大きく受ける露地野菜農家に対して、高温対策に資する機械装置等の導入を補助する。加えて、農産物の加工・直売など6次産業化に取り組む意欲ある農業者にはハード面の支援だけでなく、農業センター内の農産物加工室を活用した相談会等を開催し、加工品の試作や商品化に

に向けた支援を行う。

【主な事業】	ふるさとの食推進事業費	17,037千円
	優良農地保全事業	11,950千円
	次世代農家育成事業	40,894千円
	農のビジネス化促進事業費	69,771千円
	スマート農業導入支援事業費	1,795千円

## 6. 鳥獣被害防止対策について

サル、イノシシ、シカなどの有害鳥獣による農作物被害の軽減に向けて、防護柵などの設置経費や自治会等による自主的な被害防止活動への支援、並びに猟友会との連携による捕獲事業を一体的に展開する。

【主な事業】	鳥獣被害防止対策事業費	30,440千円
--------	-------------	----------

## 7. 北勢地方卸売市場について

開設から45年以上が経過し施設の老朽化対策が必要となっていることから、市場機能を維持するために緊急の対応を要する施設修繕を、関係3市(桑名市、四日市市、鈴鹿市)で支援する。併せて、市場の再整備に向けて引き続き関係3市及び市場関係者等と協議を重ねるとともに、市場関係者による再整備の手法検討を求めていく。

【主な事業】	北勢地方卸売市場関係事業費	11,167千円
--------	---------------	----------

## 8. 農業生産基盤の整備について

農業水利施設の老朽化対策として、施設の計画的な更新・修繕による機能保全と長寿命化を推進するとともに、地域農業者が主体的に行う水路等の地域資源の保全活動を支援する。また、排水機場の適切な維持管理により、水害の未然防止と農作物の安定生産を図る。

【主な事業】	土地改良事業費	289,200千円
	多面的機能支払交付金事業費	46,454千円
	排水機場維持管理事業費	43,465千円

## 9. 森林の整備について

土砂災害防止や地球環境保全などの森林の有する多面的機能の発揮に向けて、森林環境譲与税を活用して森林整備に必要な準備作業を行う。

【主な事業】	森林経営管理制度事業費	20,600千円
--------	-------------	----------

## 10. 漁業生産基盤の整備について

平成30年度に策定した長寿命化計画に基づき、老朽化した磯津漁港海岸堤防

の改修工事を実施して、背後地の人命・財産を防護する。

【主な事業】 海岸保全施設整備事業費 44,000千円

### 1.1. 食肉センター食肉市場について

市民への安全で高品質な食肉の継続的かつ安定的な供給に向けて、施設・設備の計画的な更新と適切な維持管理を行う。

また、学識経験者、食肉関係者及び行政で構成する「四日市市食肉センター・食肉地方卸売市場将来構想検討委員会」において、衛生対策の強化や多様化する市場ニーズへの対応を図るべく、建替えに向けた検討に加え、株式会社三重県四日市畜産公社（以下、畜産公社）の持続可能な経営に向けた協議を進める。

さらに、市場流通の安定化を図るため、畜産公社が実施する集荷・販売対策事業を支援するとともに、経営の円滑化に必要な資金を貸し付ける。

【主な事業】 食肉センター食肉市場施設維持管理事業費 222,961千円  
食肉センター食肉市場施設整備事業費 261,192千円  
（うちアセットマネジメント 2,160千円）  
（うち推進計画 15,675千円）  
市場機能強化対策事業費 79,302千円  
畜産公社経営円滑化対策事業費 100,000千円

### 1.2. 競輪事業について

全国的車券売上総額は昨年度末において11年連続で前年度を上回っており、インターネット投票の売上が好調である。

このような中、四日市競輪場では引き続きナイター競輪に主軸を置いた事業展開を進め、インターネットユーザー向けの広報施策に注力するとともに、外国人選手が参加する競輪ワールドシリーズや場内イベントの開催により、売上の確保や来場促進に努める。

施設整備については、令和10年度の供用開始に向けて引き続き外向投票所等の工事を実施するとともに、競走路全面改修工事を実施することで、競輪場としての機能維持及び魅力増進を図る。

【主な内容】 車券売上金 34,200,000千円  
<64日間開催>  
競輪場施設整備事業費 863,002千円  
一般会計繰出金 1,100,000千円

# ワークスタイル・イノベーション推進事業費

## 1. 目的

労働者一人ひとりが多様で柔軟な働き方を選択できるよう「働き方改革」が求められている中、企業における従業員のワークライフバランスを進め、風通しがよく働きやすい環境づくりを促進する。

## 2. 内容

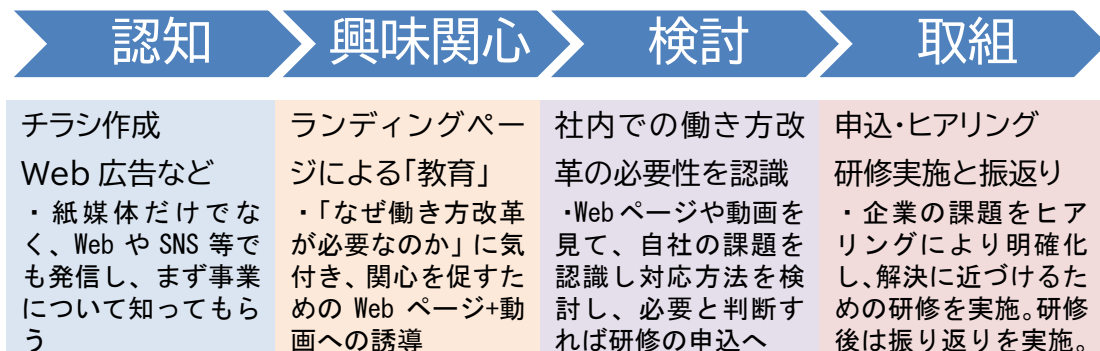
- (1) 【拡充】講師派遣（派遣上限：20社 ※5社拡充） 5,100千円  
企業が抱える人手不足や生産性の向上などの課題に対し労働者がそれぞれの特性に応じその能力を十分に発揮できる職場環境へと変容できるような研修の実施を委託する（プロポーザル方式により選定）。

### 【企業が抱える課題と「働き方改革」】



現在、企業は「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く人のニーズの多様化」などの状況に直面している。こうした中、投資やイノベーションによる生産性向上とともに、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作ることが重要な課題になっている。

### 【周知から研修実施までのプロセス】



※ランディングページの構築については別途委託

### 委託業務範囲

- ・チラシ作成、Web 広告等での周知
- ・受付、日程調整
- ・企業ヒアリング、研修実施
- ・商業労政課担当者と個別テーマ設定に関する打ち合わせ

## 【企業の課題抽出から解決を支援するための研修実施までのプロセス】



研修を行う前に企業の現状を聞き取り、課題を抽出。課題を解決に近づけるテーマや効果的な手法などを提案して実施。

### 研修テーマ例

- ・働き方改革全般（ワーク・ライフ・バランスなど）
- ・職場改善、コミュニケーション研修
- ・ハラスメント防止
- ・生産性向上、目標管理
- ・チームビルディング（リーダー教育）等

### 研修手法案

- ・ブレインストーミング（ウォール・ライティング、ロジックツリー等）
- ・自己分析、組織分析
- ・ディスカッション
- ・ロールプレイング、シミュレーション
- ・法令解説、先進事例紹介等

- (2) セミナー開催（1回） 50千円  
働き方改革に対する理解を図るため、企業の関心の高いテーマを設定し、集合型のセミナーを開催する。

### 【過去の開催例】

- ・人材確保の”困った”を解決！働き方改革セミナー  
～働きたくなる職場づくり～（令和7年度 会場：じばさん）
- ・会社と従業員を守る「カスハラ」対策セミナー  
（令和6年度 会場：総合会館）
- ・「働きやすい職場づくり」と「就業規則見直し」のポイント  
（令和5年度 会場：市役所会議室）

3. 予算額 5,150千円（財源内訳） 一般財源 5,150千円  
(前年度 1,550千円)

担当 商工農水部 商業労政課  
橋川、後藤  
TEL 354-8417

# 新産業拠点創設事業 (四日市市地場産業振興センター運営費)

## 1. 目的

四日市市地場産業振興センター（じばさん）について、現在進行している近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備事業やバスタプロジェクトなどの施設整備との連携を視野に入れながら、令和4年度に行った検討委員会の議論を踏まえ、『地域と産業の伸び代を最大化するビジネス・コミュニティ・ハブ』というコンセプトに基づき、スタートアップ<sup>\*1</sup> 支援やリカレント教育<sup>\*2</sup>・リスキリング、産業情報発信等の機能を備えた「産業の新たな拠点施設」として整備する。

- ※1 スタートアップ： 新たな技術やビジネスモデルを用いて、起業から短期間で急成長を目指す企業
- ※2 リカレント教育： 社会に出た後に、それぞれの人の必要なタイミングで再び教育を受けること

## 2. 内容

- (1) 産業の新たな拠点施設整備事業費 50,000千円  
 産業の新たな拠点施設としての機能を発揮するために必要なレイアウトや内装の変更に伴う改修工事を実施する。

[イメージ図]



- (2) 産業の新たな拠点施設1階展示設計業務委託 8,800千円  
 施設の玄関口である1階に、幅広い世代に本市の産業を知ってもらう展示を設置する。
- (3) リニューアルオープンに向けた機運醸成プレ事業 3,643千円  
 施設整備に先行して、市民や事業者に対してスタートアップ支援やリカレント教育等の事業を関係機関と連携しながら実施し、施設の浸透や事業のブラッシュアップを図る。

### 【今後のスケジュール(案)】

令和8年度：改修工事、機運醸成プレ事業、運営事業者選定準備

令和9年度：改修工事、機運醸成プレ事業、運営事業者選定、供用開始

〔工事に伴う休館予定期間：令和8年9月から令和9年12月まで〕

※産業の新たな拠点施設としての機能を付与する改修工事と併せて、アセットマネジメント関連やトイレといった施設の維持及びバリアフリー化に必要な工事を実施する

<b>3. 予算額</b>	62,443千円	(財源内訳)	国庫支出金(1/2)	31,221千円
	(前年度 8,739千円)		市債	22,500千円
			その他特財	2,500千円
			(都市基盤・公共施設等整備基金繰入金)	
			一般財源	6,222千円

担当 商工農水部 商業労政課  
 塚原  
 TEL 354-8175

# 商店街活性化イベント事業補助金 (買い物拠点再生事業費)

## 1. 目的

商店街のにぎわいの創出を図るために実施するイベント事業を行う団体等を支援することにより、商店街の活性化を促進する。

## 2. 内容

### (1) 補助対象者

- ①四日市市内の商店街の振興等を目的として組織された市内にある商店街振興組合、発展会、商店会、その他これらに類する団体及びその団体が中心となって組織された団体
- ②四日市市内の商店街の振興等を目的として組織された市内にある商店街振興組合、発展会又は商店会のいずれかに加盟している市内の商店3店以上からなるグループ
- ③四日市商工会議所
- ④四日市エリアプラットフォーム

### (2) 【拡充】補助対象事業・補助額

令和7年9月12日からの大雨に伴う災害により、中心市街地の商店街の多くの店舗が浸水被害を受けたため、令和7年12月24日から1年間に開催されるイベントを対象に、補助率及び補助金上限額を拡充し、商店街の活性化を図る。

補助対象事業	【拡充】 R7. 12. 24～R8. 12. 23		【通常】 R8. 12. 24～	
	開催経費		開催経費	
	補助率	上限額	補助率	上限額
①通常のイベント事業	2/3	70万円	1/2	50万円
②エキサイト四日市・バザール	2/3	240万円	1/2	180万円
③四日市商工会議所が事務局等となり商店街で行うイベント事業	2/3	160万円	1/2	120万円
④中心市街地において実施する広域から集客を見込める大規模イベント事業で、補助対象経費が240万円以上のもの	2/3	160万円	1/2	120万円
⑤四日市エリアプラットフォームが行うイベント事業	2/3	160万円	1/2	120万円
⑥高校生等の若者が中心となって行うイベント事業	10/10	50万円	10/10	30万円

3. 予算額 10,300千円  
(前年度 7,700千円)

(財源内訳) 一般財源 10,300千円

担当 商工農水部 商業労政課  
塚原  
TEL 354-8175

**商店街魅力アップ事業補助金**  
(買い物拠点再生事業費)

**1. 目的**

商店街で、その特性を生かした創意工夫のもと実施する新たな顧客獲得に資する取組や、高校生等の若者が中心になって行う文化・社会活動等の発表を行うものを支援することにより、商店街の新たな魅力の創出や活性化を図る。

**2. 内容**

**(1) 補助対象者**

- ①商店街の振興等を目的として組織された、市内にある商店街振興組合、発展会又は商店会のいずれかに加盟している市内の商店3店以上からなるグループ
- ②商店街の振興等を目的として組織された、市内にある商店街振興組合、発展会、商店会、その他それに類する団体
- ③四日市エリアプラットフォーム

**(2) 【拡充】 補助対象事業・補助額**

令和7年9月12日からの大雨に伴う災害により、中心市街地の商店街の多くの店舗が浸水被害を受けたため、令和7年12月24日から補助対象事業に上記(1)②の団体が実施する「防災・減災に関する事業(計画策定・研修・訓練等)」を新設し、商店街の事業継続力の強化を図る。

補助対象事業	開催経費	
	補助率	上限額
①ニーズ調査事業	4/5	20万円
②コンセプト作成事業		
③マップ作成事業		
④フリーペーパー作成事業		
⑤デジタル技術を活用した情報発信事業		
⑥高校生等の若者が中心になって行う演奏会、展示会等の事業	10/10	30万円
⑦ <b>【R7.12.24～新設】 防災・減災に関する事業</b> (計画策定・研修・訓練等)	10/10	50万円

**3. 予算額**            4,400千円            (財源内訳) 一般財源            4,400千円  
(前年度            900千円)

担当 商工農水部 商業労政課  
塚原  
Tel 354-8175

## (新) 産業用地創出事業費

### 1. 目的

全国的に産業用地が不足する中、市内外の新たな産業用地需要に応えるため、本市における産業用地創出に関する方針を明文化するとともに、用地整備等への支援制度の創設等に取り組み、説明会(セミナー)等を実施する。

### 2. 内容

(1) 開発事業者等へのヒアリング調査 400千円

①産業用地開発事業者等へのヒアリング

産業用地創出方針に基づき、用地開発につながる支援制度等を検討するにあたり、開発事業者や他都市の事例を調査する。

②立地検討可能性事業者へのヒアリング

産業用地の創出後に立地する事業者に対し、本市への立地可能性や時期、希望用地などに関する情報収集等を実施する。

(2) 産業用地創出等周知活動 600千円

産業用地の創出に向け、本市の産業用地創出に関する方針を明文化するとともに、支援制度の検討を行い、開発事業者等に対し、産業用地開発および企業立地への取組を広く周知する。

3. 予算額 1,000千円 (財源内訳) 一般財源 1,000千円

担当 商工農水部工業振興課  
釜瀬、花尻  
TEL 354-8178

**ベトナム経済交流事業**  
(中小企業海外販路開拓支援事業費)

## 1. 目的

令和8年度に覚書締結10周年を迎えることを契機に、周年事業として四日市商工会議所などの関係機関と連携しながら四日市市の認知度を高める販促イベントを開催する。

また、市内事業者のニーズとベトナム企業のニーズのマッチングを目的とした商談会を開催し、市内企業の海外展開、販路開拓を図る。

併せて、将来的な協力関係の基盤構築を目的とした両市の若い世代の交流促進を図る事業を実施する。

## 2. 内容

### (1) イオンモールハイフォンレチャンでの販促イベント (B to C)

#### 【ハイフォン市内】

イオンモールハイフォンレチャンにおいて、四日市市内企業の商品の販促イベントを開催し、文化と結び付けたマーケティング(例:お茶の淹れ方体験、和菓子作り実演など)を実施する。市内企業にはテストマーケティングの場として利用してもらい、現地消費者の反応を直接収集し、商品改良や市場適応に活用し、販路開拓及び四日市市産品の認知度向上を図る。

### (2) ビジネスマッチング会 (B to B) 【ハイフォン市内】

ハイフォン市で現地バイヤーや商社との商談会を開催。参加企業が自社製品やサービスを直接プレゼンできる場を提供し、信頼できる現地パートナーの発掘や具体的な商談・契約の機会創出を図る。

### (3) 産業人材の卵育成交流プロジェクト【四日市市内】

ハイフォン市の高校生を四日市市に招聘し、四日市市内の高校生と交流を行うプログラム。両市の次世代を担う高校生が、産業と環境の調和をテーマに互いの産業や文化について学ぶ機会を提供することで、将来のキャリアや持続可能な社会の実現に向けた意識を育むとともに、両市の若い世代の交流を促進し、将来的な協力関係の基盤構築を図る。

3. 予算額 14,702千円 (財源内訳) 一般財源 14,702千円  
(前年度 2,300千円)

担当 商工農水部工業振興課  
篠後、松尾  
TEL 354-8194

## かぶせ茶PR推進事業費

### 1. 目的

令和8年度に三重県で開催される関西茶業振興大会を、日本有数の生産量を誇る本市の特産品であるかぶせ茶を広くPRする絶好の機会と捉え、メディアを活用したPRや記念イベントの開催に加え、認知度向上や購買意欲の喚起を目的とした現地での体験・販売コンテンツ設置などを展開する「かぶせ茶PRプロジェクト」を実施する。

### 2. 内容

- (1) **【拡充】** かぶせ茶PRソングを用いたPR活動 11,630千円  
令和7年度に作成したかぶせ茶PRソング「かぶせ茶パラダイス」を活用したかぶせ茶のPR活動について、公募型のプロポーザルにより、民間事業者の提案を募り実施する。併せて、令和8年度に三重県が開催地となる関西茶業振興大会のPRも行い、多様な視点からかぶせ茶の振興に取り組む。
- (2) イベントでのかぶせ茶のPR 1,682千円  
市外で行われる本市のシティプロモーションイベント等において、かぶせ茶の試飲提供を実施し、かぶせ茶の知名度向上を図るとともに、本市がかぶせ茶の国内有数の産地であることについてもPRを行う。
- (3) かぶせ茶を使った料理&お茶の入れ方教室 127千円  
かぶせ茶を使った料理教室を開催し、飲用以外での活用方法を市民に提案することで、かぶせ茶の需要を喚起する。また、市内の子どもに急須でお茶を入れて飲む体験の機会を提供するために、四日市茶業連合会との連携のもと、市内小・中学校及び保育園・幼稚園において「かぶせ茶の教室」を開催する。

<b>3. 予算額</b>	13,439千円	(財源内訳)	国庫支出金(1/2)	5,815千円
(前年度	2,660千円)		その他特財	5,835千円
			〔 まちづくり事業基金繰入金 〕	
			〔 各種講座受講料 〕	
			一般財源	1,789千円

担当 商工農水部 農水振興課  
渡瀬  
TEL 354-8180

## アグリビジネス推進事業費

### 1. 目的

認定農業者等が行う農産物のブランド化・6次産業化の高付加価値化への取組を支援することで農業経営の安定・強化を図る。また、高齢化により地域農業の担い手不足が加速する中で、農作業の効率化・省力化に資するICTを活用した農業機械の導入を支援することによって、収益力強化を図る経営体の育成を行う。

令和8年度からは、昨今の酷暑の影響を大きく受けている露地野菜農家が行う、高温対策につながる機械装置の導入等に対する支援を新たに行い、持続可能な農業を推進する。

### 2. 内容

(1) ソフト事業 1,000千円

自家農産物の付加価値を高める取組を支援する。

補助率：1/2、上限額：200千円

(2) ハード事業 2,000千円

直売・加工等に係る小規模な施設・機械の整備を支援する。

補助率：1/2、上限額：250千円

(空き家等活用計画に関連するものは上限金額500千円)

(3) ICT事業 40,000千円

農作業の効率化・省力化などに資する機械等の導入を支援する。

補助率：1/2、上限額：2,000千円

(4) 【拡充】露地農家支援事業 5,000千円

新たに露地野菜農家が行う、高温対策に資する機械装置の導入等を支援する。

補助率：1/2、上限額：1,000千円

3. 予算額 48,000千円 (財源内訳) 一般財源 48,000千円  
(前年度 43,000千円)

担当 商工農水部 農水振興課  
渡瀬  
TEL 354-8180

競輪事業特別会計

競輪開催業務等総合委託費  
(債務負担行為)

1. 目的

民間事業者の持つノウハウを積極的に活用し、より効率的な事業運営とファンサービスの向上を図るため、平成 19 年度から競輪開催業務の総合委託を行っているが、現行の委託契約が令和 8 年度末をもって満了することから更新を行う。

2. 内容

プロポーザル方式により令和 8 年度に委託契約の相手先を決定し、令和 9 年度から令和 13 年度までの 5 年間にわたり委託する。

○経営状況の確認と検証

- ① 契約期間満了に際し、四日市競輪の経営状態や包括的な総合委託による運営の効果等について、四日市競輪検証委員会での確認を経たうえで、今後の競輪業界の見通し、競輪制度の動向などを勘案し、次回以降の契約の妥当性を判断している。
- ② 本市における競輪事業は、少なくともこの先 5 年間は、安定的な収益が見込めることに加え、専門性を活かした効率的な事業運営やファンサービスの展開が期待できることから、今後の施設整備に合わせた業務の見直しを行ったうえで、あらためて 5 年間の包括的な総合委託を行う。

(参考) 車券売上金等の実績及び今後の見込み

(単位:億円)

項目	現行委託期間			次期委託期間				
	令和6年度	令和7年度 (見込)	令和8年度 (当初予算)	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
車券売上金 ※1	304.70	396.00	342.00	352.26	375.98	355.78	359.34	362.93
競輪事業収支	2.86	6.00	11.00	9.59	7.64	6.27	6.52	6.77
競輪事業財政 調整基金残高 ※2	17.93	17.98	18.15	18.21	18.26	18.32	18.37	18.43

※1 令和6、7年度はGⅢナイターを2回開催  
令和7年度は実績見込

※2 競輪事業の撤退経費12.62億円は、競輪事業財政調整基金で確保

3. 債務負担行為

・競輪開催業務等総合委託費

限度額 3,944,000千円(総事業費 3,944,000千円)

期間 令和8年度から令和13年度まで

担当 商工農水部けいりん事業課  
水谷  
TEL 331-3480

# 環 境 部

## 新年度予算における基本的な方針

豊かな環境を保全し、未来の世代へと継承していくため、市民、事業者、行政が一体となって四日市市環境計画に掲げる5つの環境目標の達成に向けて引き続き取り組みを強化する。

「気候変動への対応」については、本市においても2050年カーボンニュートラル社会の実現に向け、再生可能エネルギーの利用促進を図るなど着実に温室効果ガスの排出量削減を進めるための施策を推進していく。

「持続可能な資源循環の推進」については、食品ロスの削減を目指した事業の展開や、ごみの発生抑制と再資源化につながる様々な場面での啓発の実施とともに、適正な処理体制を維持する。

「自然との共生、生物多様性の保全」については、引き続き本市の豊かな自然環境及び生物多様性の保全に資する施策を実施する。

「安全で快適な生活環境の確保」については、大気、水質、騒音・振動及び悪臭等の監視・測定を実施し、ホームページ等により情報発信を行うとともに引き続き事業者への適正な監視・指導に努める。

「より良い環境を共創する仕組みづくり」については、四日市公害の歴史と教訓を伝え、より良い環境を次世代に引き継ぐため、常設展示や環境学習講座、特別展を通して環境問題についての普及啓発を行う。

また、斎場・墓地の管理運営については、北大谷斎場の火葬炉等更新工事を実施していくとともに、令和7年度に実施した設計に基づき、合葬墓の設置工事を実施する。

## 1. 環境計画及び地球温暖化対策の推進について

本市の環境施策のマスタープランである「第4期四日市市環境計画（令和3年～12年度）」について令和7年度に実施している中間見直しを踏まえ、着実に施策を推進する。

地球温暖化対策を推進するため、中小企業が行う脱炭素への取り組みに対する支援や公共交通事業者へのEVバス導入支援、啓発事業を行うとともに、温室効果ガス排出量の推移を把握し、削減に努める。

各家庭における温室効果ガスの排出を抑制するため、太陽光発電設備、燃料電池設備、蓄電池などの設備や、ZEHに加え、さらに省エネ性能が高いGX志向型住宅を補助対象とし、個人の住宅に設置する新エネルギー設備等の導入を促進する。

市公共施設においては、民間事業者と共同で設立した「地域新電力会社」を介して、クリーンセンターのごみ発電を活用した低炭素電力を利用することで温室効果ガスの削減を図る。

環境省が普及を後押ししている地球温暖化対策のための国民運動である“脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」”の啓発等を図る。

また、水素需要の拡大を図るため、市民・市内事業者等に向け燃料電池自動車への補助を行う。

【主な事業】 環境計画推進事業費	1, 800千円
スマートシティ構築促進補助金	121, 460千円
燃料電池自動車導入促進補助金	8, 000千円
中小企業脱炭素経営支援事業費補助金	5, 000千円
企業版ふるさと納税を活用したEVバス導入促進補助金	5, 000千円

## 2. 環境人材育成及び自然環境保全について

本市と米国ロングビーチ市並びに中国天津市の将来を担う高校生を対象に環境学習・交流を行い、環境人材の育成を図る。

特定外来生物の防除を実施するとともに、自然共生サイトに認定された吉崎海岸をはじめとした本市の自然環境の保全に努める。

【主な事業】 次世代環境人材育成事業費	5, 678千円
自然環境保全推進事業費	7, 367千円

## 3. 公害防止対策等の推進について

大気、水質、騒音・振動及び悪臭等の監視・測定を行うとともに、ホームページ等により情報提供を行う。また、公害関係法令及び公害防止協定に基づき、工場・事業所へ立入調査し、規制基準等の適合状況の確認や必要に応じた指導を行う。

友好都市である天津市を対象とした国際環境協力を推進する。

【主な事業】 大気汚染対策事業費	81, 935千円
騒音、振動対策事業費	1, 336千円
水質汚濁対策事業費	9, 316千円
国際環境協力推進事業費	4, 066千円

## 4. 公害健康被害の補償及び公害保健福祉事業等について

公害健康被害の補償等に関する法律に基づき、公害健康被害被認定者に対する障害補償費、療養の給付等の補償給付を行う。また、被認定者を対象とするインフルエンザ予防接種費用助成事業などの公害保健福祉事業や、市民を対象とするぜん息予防等講演会、環境保健健康診査などの公害健康被害予防事業を実施する。

【主な事業】 公害健康被害補償等事業費	449, 540千円
公害保健福祉事業費	1, 127千円
環境保健予防事業費	1, 207千円

環境保健健康診査事業費	3, 305千円
環境保健調査事業費	510千円

## 5. 四日市公害と環境未来館環境学習及びエコパートナー事業について

四日市公害の歴史と環境改善の取り組みから得た教訓を生かし、より良い環境を次の世代に引き継ぐとともに、市民が人と環境との関わりについて理解と認識を深め、良好な環境を目指し環境に配慮した行動がとれるよう、各種講座やイベント、ワークショップを行う。

また、本市と協働して環境活動を行う市民、環境活動団体や事業者をエコパートナーとして登録し、その裾野を広げるとともに、四日市市環境計画に基づく市民協働での環境施策をエコパートナーに委託して実施することで、環境学習や環境活動の充実を図る。

【主な事業】 環境学習推進事業費	43, 219千円
エコパートナーシップ推進事業費	5, 284千円

## 6. 四日市公害と環境未来館展示管理運営事業について

常設展示室の機器類の更新など計画的な維持管理を行うほか、地球上のすべての生物種の半数以上と言われる「昆虫」をテーマとした、子どもも大人も楽しく学べる特別展を開催する。

この特別展では、多数の標本やクイズ、実験ブース、パズル・お絵描きコーナーなど、昆虫について楽しく学ぶ「昆虫の世界」の展示や、絵本作家・画家の館野鴻氏の原画等を展示する。また、「三重や四日市の昆虫」では地元で生息する昆虫の魅力を発信していく。これらの展示を通して、近年の環境の変化がもたらす昆虫への影響について紹介し、昆虫を通して生物多様性や気候変動など地球環境問題について考える機会とする。

【主な事業】 展示管理運営費	33, 039千円
----------------	-----------

## 7. ごみの適正処理について

ごみ収集日程表を全世帯に配布するとともに、8か国語に対応したごみガイドブックを市民課及び地区市民センターなどにおいて転入者等に配布する。

資源物の持ち去り行為を抑止するため、警察との連携強化及び民間事業者のパトロール委託を継続する。

民間事業者も活用しつつ円滑なごみの収集及び粗大ごみの戸別収集を行うとともに、ごみ収集車両の更新を計画的に行う。

【主な事業】 ごみ処理一般管理経費	280, 667千円
（うち資源物持ち去り禁止パトロール委託	9, 053千円）
（うち民間事業者収集等委託	258, 090千円）
ごみ収集車両整備事業費	41, 382千円
粗大ごみ戸別収集事業費	36, 683千円

## 8. ごみの減量化・資源化の推進について

令和7年度に中間見直しを実施している「四日市市ごみ処理基本計画」に基づき、「食品ロス削減の推進」「分別啓発の推進」「民間事業者等と連携したごみの減量化・資源化の推進」などの事業を重点施策として推進する。

具体的には、食品ロスの削減推進や、ごみ収集車を用いた小学校への出前講座の開催、資源物・ごみ分別アプリなどを活用した啓発、資源物（主に紙類のほか金属、布・衣類など）の分別収集による資源化促進に向けた取組を強化していくほか、家庭系ごみの分析調査を行い、ごみの排出状況の把握に努める。

【主な事業】	資源物処理事業費	485,424千円
	ごみ減量推進事業費	16,581千円
	生ごみ処理機購入費補助金	3,600千円
	資源物回収活動奨励費	4,700千円

## 9. 廃棄物等適正処理対策について

廃棄物の不法投棄を防止するため、関係機関と連携して不法投棄パトロールを実施し、行為者に対する指導を行う。監視体制の強化を図るため、パトロールに加えて、不法投棄監視カメラによる監視や不法投棄防止看板の設置等を行う。

一般廃棄物収集運搬事業者、自動車リサイクル法関連事業者の許認可、立入検査等で、事業者による適正処理の確保を図るとともに、産業廃棄物の不適正処理事案等について三重県と連携して解決に向けて取り組む。

【主な事業】	廃棄物対策事業費	25,621千円
--------	----------	----------

## 10. し尿処理について

し尿の収集を円滑に行うとともに、中継貯留槽等の適切な施設管理及び衛生処理を行う。

【主な事業】	し尿処理施設管理運営費	34,000千円
	し尿収集運搬事業費	337,975千円
	朝明広域衛生組合負担金	346,890千円

## 11. 清掃工場について

四日市市クリーンセンターにおける安定的かつ効率的なごみ処理に加え、法定基準値より厳しい自主基準値に沿った安全安心な運転管理を行う。また、飛灰等の資源化や、ごみ処理過程で発生する熱を利用した発電を継続する。

周辺環境整備事業として、道路側溝蓋の更新・修繕やカーブミラーの整備などの地元要望事業を行う。

北部清掃工場及び北部埋立処分場の旧浸出水処理施設の解体について、安全かつ安心な施工を継続する。

【主な事業】	清掃工場管理運営費	1,810,278千円
--------	-----------	-------------

清掃工場環境整備事業費	7, 0 0 0 千円
清掃施設整備事業費	1, 3 8 5, 3 8 7 千円

## 1 2. 埋立処分場について

南部埋立処分場の運営について、関係法令を遵守し適正な維持管理を行うとともに、浸出水処理施設においても法定基準値より厳しい自主基準値に沿った適正な運転管理を行うとともに、設備の機能点検を計画的に行い、劣化や損耗具合に応じて補修を実施する。

また、埋立地における浸出水量を低減させるため、第2区画の埋立完了箇所 の最終覆土実施に向けて測量及び設計を実施する。

周辺環境整備事業として道路整備等の地元要望事業を行う。

【主な事業】 埋立処分場管理運営費	1 4 7, 9 3 6 千円
埋立処分場整備事業費	1 5, 5 1 0 千円
埋立処分場環境整備事業費	1 7, 7 1 9 千円

## 1 3. 斎場・墓地の管理運営について

北大谷斎場の適正な運営に努めるとともに、施設の長寿命化及び安全性、快適性の確保を図るため、計画的な修繕を行う。また、火葬炉等の更新工事について、第1期工事として、令和8年度から10年度にかけて火葬炉6基及び周辺設備の更新工事を実施する。

終活支援の一環として進めている合葬墓設置事業について、令和7年度に実施した設計に基づき、設置工事を行うとともに、令和9年度の運用開始に向け条例等の改正を行う。

市営墓地について、定期的な清掃を行うとともに、不具合箇所の修繕を行うなど適正な管理運営に努める。

【主な事業】 北大谷斎場管理運営費	2 4 2, 1 6 0 千円
北部墓地公園管理運営費	1 8, 8 0 1 千円
墓地管理運営費	1 1, 1 2 5 千円
北大谷斎場火葬炉整備事業費	3 0 0, 3 0 0 千円
墓地整備事業費	5, 2 0 0 千円



## 埋立処分場整備事業費

### 1. 目的

南部埋立処分場の埋立地における浸出水量を低減させるため、第2区画の埋立完了箇所において最終覆土を実施する。

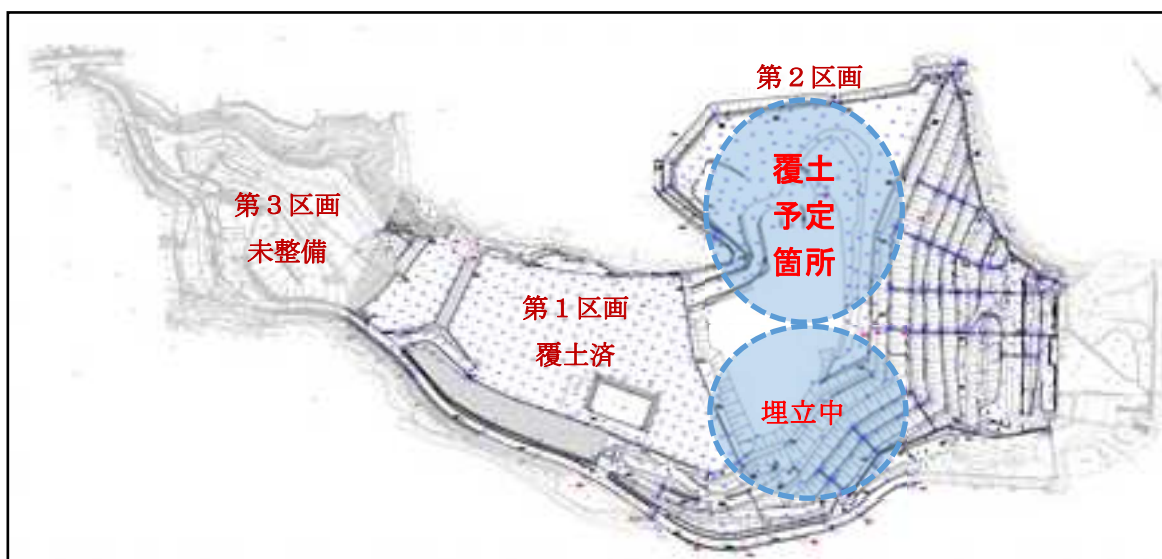
### 2. 内容

南部埋立処分場第2区画最終覆土測量設計業務委託 15,510千円

3. 予算額 15,510千円 (財源内訳) その他特財 15,510千円  
 (前年度 6,600千円) (廃棄物処理施設整備等基金繰入金)

### 【スケジュール】

	令和8年度			令和9年度			令和10年度			
測量設計業務委託	➡									
最終覆土工事					➡					



担当 環境部 環境事業課  
 杉野  
 TEL 340-3202



# 北大谷霊園合葬墓設置事業

## 1. 目的

少子高齢化や核家族化が進む現代社会において、身寄りが無い、頼れる親族がいない等の市民の増加が予想される中、安心して自らが希望する最期を迎えるための終活支援の一環として、民営との役割分担に基づき、合葬墓の設置を行う。

## 2. 内容

- ・北大谷霊園内の萬霊塔の隣に合葬墓を設置する。
- ・4寸骨袋に入った約1,000柱の焼骨を埋蔵できる合葬室を設ける。  
なお、個別安置室(納骨室)は設けない。
- ・モニュメント、献花台を設置する。
- ・記名板は設けない。

### ○対象者(案)

次の条件をいずれも満たす市民

- ①高齢福祉課による終活情報登録事業に登録し、かつ本市が整備する合葬墓への埋葬を希望する旨を登録した市民
- ②所得、資産に関する要件を満たす市民
  - ・月収18万円以下であること
  - ・預貯金が220万円以下であること
  - ・所有する固定資産の評価額が500万円以下であること

**3. 予算額**      5,200千円                      (財源内訳)              一般財源      5,200千円  
(前年度      1,000千円)

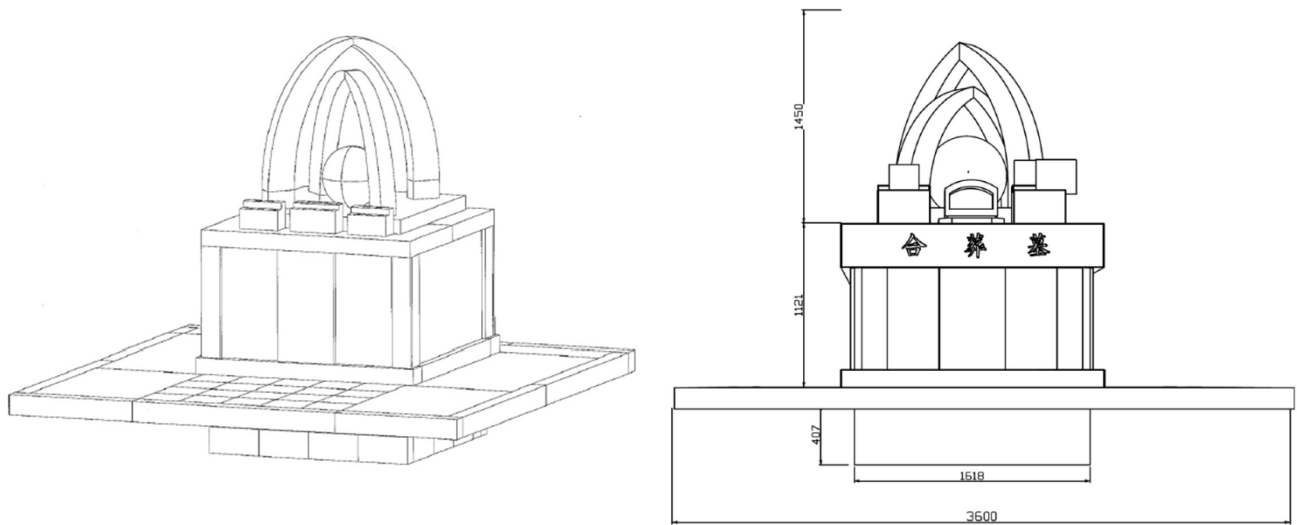
### 【スケジュール】

年度	実施内容
令和7年度	宗教団体等、関係者との調整 合葬墓の仕様検討、基本設計・実施設計
令和8年度	工事实施 条例及び規則の改正
令和9年度	申込受付開始

【合葬墓設置予定箇所】



【合葬墓の完成イメージ】



担当 環境部 生活環境課  
伊藤、角屋  
TEL 354-8191

# 都市整備部

## 新年度予算における基本的な方針

人口減少社会において都市を維持・管理していくために、既存ストックを有効活用し、交通ネットワークと連携した「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」による持続可能なまちづくりを進める。

中心市街地の再開発においては、都市機能の集積や回遊性の向上、交通結節機能の強化を図るため、中央通りの再編や公園の再整備を進めるとともに、土地の高度利用や再開発の誘導を図る。

同時にデジタル技術を活用したまちづくりDXに向けた情報基盤の整備や四日市版MaaSなど、スマートシティの構築を進める。

既成住宅地等においては、住宅や緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の促進、管理不全な空き家の除却促進、空き家・空き地の有効活用に取り組み、地域特性に応じた住環境の向上を図るとともに市街化調整区域の既存集落の維持・地域再生に取り組む。

また、四日市あすなろう鉄道の安全運行や、バス路線の維持・効率化、交通空白地域におけるタクシーを活用したデマンド交通の運行により、公共交通ネットワークの維持に取り組むとともに、中央通り再編に合わせた自動運転バスの定常運行に向け取り組みを進める。

広域幹線道路ネットワークの構築に向けた北勢バイパスの整備促進、市民生活や経済活動を支える道路の整備や渋滞対策、歩行者や自転車への交通安全対策等を進めるとともに、安全・安心なまちづくりの実現に向け、道路施設の維持管理や治水安全度の向上を図る準用河川の改修等に取り組む。

## 1. 均衡のとれた土地利用について

総合計画に掲げた、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」による持続可能なまちづくりを進めるため、都市計画マスタープラン全体構想や立地適正化計画等により適正な土地利用誘導をしていく。

また、市民主体のまちづくり活動を促進するため、地区まちづくり構想の策定支援や地区主体の将来ビジョンの整理に対し、専門家派遣を行うとともに、当初策定から一定の期間が経過した都市計画マスタープラン地域・地区別構想の改定等に取り組む。

【主な事業】	都市計画マスタープラン策定事業費	7,912千円
	都市計画策定費	1,187千円
	まちづくり活動支援事業費	10,609千円

## 2. 中心市街地の再編について

中心市街地の活性化や交通結節機能の強化を図るため、国の直轄事業「バス  
タ四日市」の整備とも連携し、デッキ工事や中央通り公園の整備等、近鉄四日  
市駅周辺からJR四日市駅にかけての中央通りの再編を進めるとともに、鶉の  
森公園及び諏訪公園の再整備を進める。

【主な事業】	中央通り再編事業	5, 250, 615千円
	都市公園整備事業費	476, 600千円

## 3. 持続可能な交通体系の構築について

都市総合交通戦略や地域公共交通計画に基づき、市民や交通事業者等と協働  
し、持続可能な交通体系の構築に向けた施策を推進する。

NPOバス、自主運行バス、こにゅうどうくんライナーの運行を維持し、バ  
スネットワークの構築に取り組むとともに、交通空白地域における移動手段に  
ついては、四日市市デマンドタクシーの継続運行や、交通空白地域の解消に向  
けたバス路線の再編などの検討・整理を進める。

加えて、自動運転バスの実証実験に取り組むとともに、道路インフラへの協  
調システムの導入を図り、中央通り再編に合わせた定常運行に向け、組み  
組みを進める。

また、広域交通の利便性が高まる区域において、多様な機能を有する道の駅  
設置に向けた検討を進める。

【主な事業】	四日市あすなろう鉄道運行事業費	322, 355千円
	四日市あすなろう鉄道利用促進事業費	3, 600千円
	自主運行バス運行等事業費	60, 377千円
	総合交通戦略推進事業費	6, 867千円
	公共交通ネットワーク維持・再編事業費	31, 777千円
	自動運転導入検討事業費	104, 600千円

## 4. 安全・安心な住環境づくりについて

安全・安心なまちづくりの推進を図るため、空家等対策計画に基づき、適切  
に管理が行われていない空家等の所有者に対し、助言・指導等を行うとともに、  
倒壊等の危険性が高い特定空家等の除却を促す。

また、大地震における被害の防止・軽減を図るため、建築物耐震改修促進計  
画に基づき、建築物の耐震化や危険なブロック塀等の安全対策及び瓦屋根の脱  
落防止対策を促進する。

【主な事業】	ブロック塀等安全対策事業費	7, 000千円
	瓦屋根耐風対策事業費	20, 000千円

空家等対策事業費	7, 380千円
耐震化促進事業費	216, 590千円
沿道建築物耐震化促進事業費	50, 297千円

## 5. 道路整備について

### (1) 幹線道路の整備

市民が円滑に移動できるよう国・県道とともに道路ネットワークを形成する幹線道路を整備する。さらに、市内の渋滞緩和に向け、交通のネック箇所において交差点の改良を進める。

<b>【主な事業】</b>	社会資本整備総合交付金事業費（道路）	286, 000千円
	＜小杉新町2号線、泊小古曾線＞	
	道路改良単独事業費	372, 270千円
	＜富士8号線ほか1線、北勢バイパス関連 他＞	
	産業支援・生活拠点道路整備事業費（渋滞対策）	561, 500千円
	＜赤堀小生線、三重橋垂坂線＞	

### (2) 橋梁の整備

橋梁の長寿命化修繕計画に基づき補修を行うとともに、大規模地震に対する備えとして耐震対策を進める。

<b>【主な事業】</b>	橋梁メンテナンス補助事業費	355, 272千円
	＜日永跨線橋、三郎橋跨線橋 他＞	

### (3) 交通安全対策

歩行者の視点に立った道路の改良や自転車通行空間の整備、防護柵・路面標示などの交通安全施設の整備・維持を通して地域や通学路の安全確保に取り組む。

交通安全意識の向上と交通事故防止を図るため、交通安全教育指導員（とみまつ隊）とともに保育・幼稚園児、小中学・高校生や高齢者等への交通安全教育を行う。

また、自動車等の運転に不安を感じている高齢ドライバーの方等に対し、運転免許証の自主返納を支援し、交通事故の防止を図る。

<b>【主な事業】</b>	防災・安全交付金事業費（交安）	86, 000千円
	＜富田富田一色線、大矢知富田1号線 他＞	

防災・安全交付金事業費（通学路交通安全対策）	52,000千円
＜山田10号線、東坂部三ツ谷線＞	
歩行者自転車空間整備事業費	32,000千円
＜三ツ谷8号線、高浜昌栄線＞	
交通安全施設整備単独事業費	289,646千円
＜別名1号線、笹川泊線 他＞	
交通安全教育事業費	4,814千円
交通安全啓発事業費	6,000千円
＜運転免許自主返納支援事業＞	

#### (4) 生活に身近な道路整備

各地区の自主選定組織と連携し、地区土木要望から実施個所を選定し、地域ニーズの高い生活道路の整備を進める。

【主な事業】 生活に身近な道路整備事業費 807,000千円

#### (5) 狭あい道路対策

良好な市街地形成、生活環境の改善を図るため、狭あい道路に面している建物の建替え等に合わせて道路後退用地の整備を行う。また、建築行為等に合わせて建築主が道路後退用地を整備することで早期に狭あい道路の解消が図られるよう、補助制度の活用を促進する。

【主な事業】 狭あい道路対策費 388,892千円

#### (6) 道路の維持・保全

道路を安全・円滑・快適に通行できるよう適切な維持補修を図るとともに、主要道路の計画的な保全を進める。

【主な事業】 道路維持修繕費 1,179,300千円  
 防災・安全交付金事業費（道路） 12,000千円  
 ＜笹川60号線＞  
 産業支援・生活拠点道路整備事業費（再舗装） 164,700千円  
 ＜子酉八王子線、山之一色50号線、川島69号線 他＞

#### (7) 広域道路関連事業

北勢バイパスの整備に伴う周辺道路の整備を検討する。

【主な事業】 広域道路関連事業費 3,000千円

(8) 鉄道駅周辺環境整備

誰もが利用しやすい公共交通の実現に向け、円滑に乗り継ぎができる駅前広場及び駐輪場の整備を行う。

【主な事業】 交通安全施設整備単独事業費 57,200千円  
<高角駅駅前広場 他>

## 6. 土地区画整理事業について

土地区画整理による健全な市街地の造成を図るため、施行しようとする者及び施行者に対し助成を行い、事業の促進を図る。

【主な事業】 午起土地区画整理事業費 4,500千円  
土地区画整理事業費 45,700千円  
<（仮）垂坂第二土地区画整理事業>

## 7. 公園・緑化事業について

(1) 公園・緑地の整備

本市北部に位置する大規模公園の垂坂公園・羽津山緑地の整備を行うとともに、坂部が丘団地内において公園再編を進める。また、公園施設長寿命化計画に基づき、複合遊具の更新を図る。

【主な事業】 垂坂公園・羽津山緑地整備事業費 30,000千円  
都市公園再編事業費 15,000千円  
公園施設長寿命化整備事業費 15,000千円  
<坂部台中央公園>

(2) 公園・緑地の維持管理

公園・緑地・街路樹の適切な管理に努めるとともに、遊具等の公園施設を適切に維持管理し、公園利用者の安全を図る。

また、市民ボランティア団体等が行う公園・緑地等の美化活動に対する支援を行うとともに、市民緑地制度による緑の保全に取り組む。

【主な事業】 公園施設管理費 824,654千円  
公園施設維持補修費 129,541千円  
里山保全事業費 7,110千円  
花と緑いっぱい事業費 8,707千円

市民に親しまれる公園ボランティア支援事業費 9,800千円

## 8. 河川排水事業について

治水安全度の向上を図るため、河川・排水路の改修や三重県が行う三滝川分派整備に合わせた堀川の内水対策を実施するとともに、河川・排水路・調整池等の適切な維持管理を行う。

【主な事業】	準用河川改修事業費	363,000千円
	＜朝明新川、源の堀川＞	
	堀川内水対策事業費	2,303,000千円
	＜放水路、排水機場＞	
	河川等計画保全事業費	56,000千円
	河川改良事業費	160,740千円
	排水路改良事業費	236,170千円

## 9. 道路等の管理について

道路等行政財産（法定外公共物（里道、水路）を含む）や市営駐車場・自転車等駐車場の適正な管理等に努める。また、境界査定を遅滞なく行うほか、地籍調査について、津波浸水が想定される沿岸部及び北勢バイパスの事業進捗に向け国道477号以南の地域で実施する。

【主な事業】	道路等の財産管理事業	416,331千円
	＜駐車場維持管理費、管理課一般経費 他＞	
	境界査定業務費	34,638千円
	地籍調査事業費	119,491千円
	＜尾上町、川島町、小生町 他＞	

## 10. 公共建築物等の整備について

市民の安全と利便性を確保しつつ、環境負荷の低減に資する施設整備を図るため、施設管理者との連携のもと、ユニバーサルデザインの推進に努めるとともに、温室効果ガスの排出抑制に配慮した公共建築物等の整備を進める。

【主な事業】	営繕事務費	16,808千円
--------	-------	----------

## 11. 市営住宅の整備事業について

外壁及び屋上防水の改修工事により既存施設の長寿命化を図るとともに、需要に応じた住宅の供給・維持管理に努める。

【主な事業】	市営住宅整備事業費	212,765千円
	高齢者・障害者向け住宅改良事業費	2,200千円

## 12. 住宅施策推進事業について

住生活基本計画について見直しを行うとともに、増加する空き家の対策として、除却促進や子育て世帯等の住み替え支援、空き家・空き地バンクの利用促進等による空き家・空き地の有効活用に取り組む。さらに、市街化調整区域における空き家を賃貸住宅として活用する際に必要な手続き費用への補助額を拡充し、空き家活用の推進による市街化調整区域の維持・地域再生に取り組む。

【主な事業】	住宅施策推進事業費	1,473千円
	住み替え支援促進事業補助金	25,500千円

# 中央通り再編事業

## 1. 目的

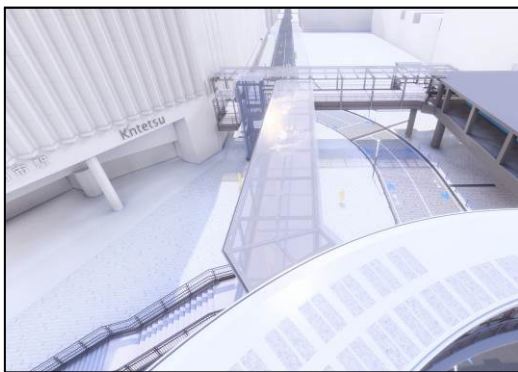
近鉄四日市駅・JR四日市駅周辺において、駅前広場等の整備も含めた中央通りの再編により、中心市街地の活性化や交通機能の向上を図る。

## 2. 内容

近鉄四日市駅周辺における駅東直線デッキや連絡通路、駅西円弧デッキ及び、国道1号から東側における中央通り公園の工事などを行う。

	令和8年度	令和9年度
事業概要	駅東直線デッキ工事 連絡通路工事 駅西既存連絡通路撤去工事 駅西円弧デッキ工事 道路工事 南・東広場工事 中央通り公園工事 地下埋設物支障移転等	駅西円弧デッキ工事 道路工事 中央通り公園工事

**3. 予算額** 5,250,615千円(財源内訳) 国庫支出金(1/2) 1,268,987千円  
 (前年度 3,915,200千円) 市 債 2,019,400千円  
 その他特財 1,962,228千円  
 ( 都市基盤・公共施設等整備基金繰入金 )  
 ( 都市再生協議会受託費 )



<駅東直線デッキのイメージ図>



<中央通り公園のイメージ図>

担当	都市整備部 市街地整備課 戸本・伊藤 TEL 354-8200
----	---------------------------------------

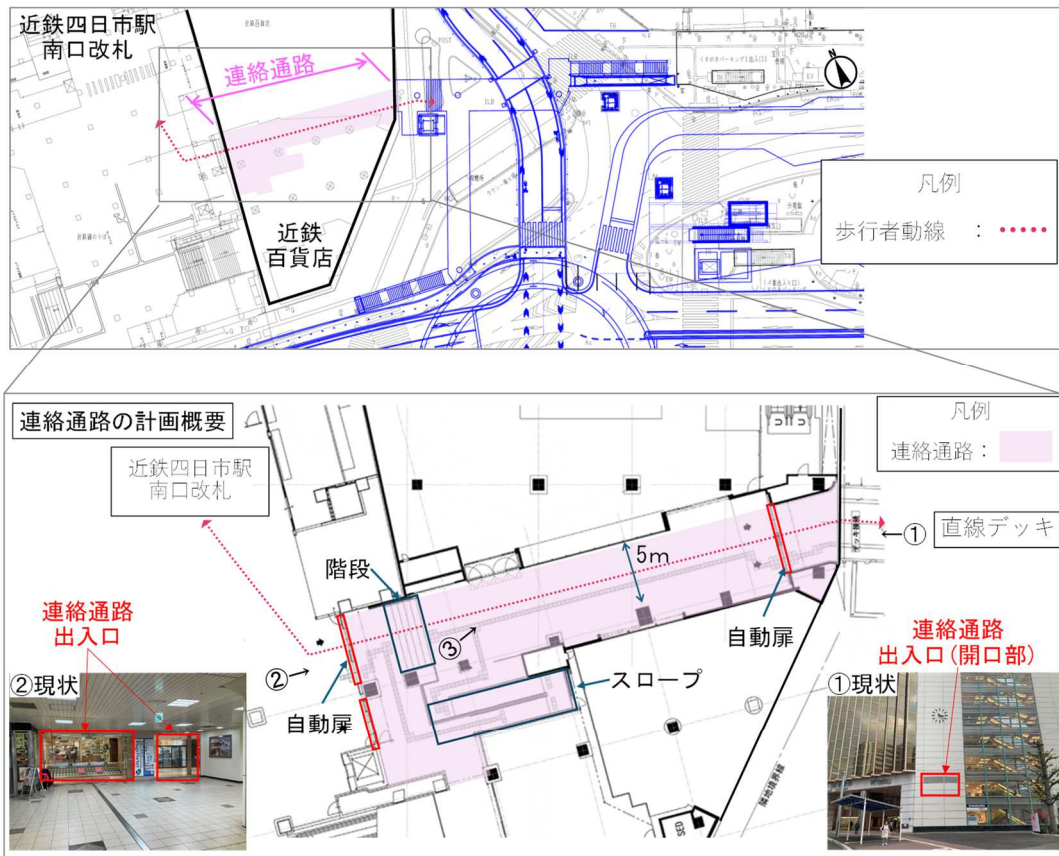
# 連絡通路使用料 (債務負担行為)

## 1. 目的

近鉄四日市駅周辺において、鉄道との円滑な乗り換え動線の確保を目的とする。

## 2. 内容

令和8年6月供用予定の連絡通路について、近鉄百貨店への使用料にかかわる、令和8年度から令和28年度までの債務負担行為を計上する。



## 3. 債務負担行為

### ・連絡通路使用料

限度額 391,927千円 (総事業費 408,257千円)

期間 令和8年度から令和28年度まで

担当	都市整備部 市街地整備課
	戸本・伊藤
TEL	354-8200

# 都市公園整備事業費

## 1. 目的

中央通り再編事業と連携を図り、中心市街地の魅力及び回遊性を向上させるため、鶉の森公園及び諏訪公園の再整備を進める。

## 2. 内容

鶉の森公園：工事（芝生広場、遊び場、照明など）	1式
諏訪公園：工事（芝生広場、水景施設、照明など）	1式

3. 予算額	476,600千円	(財源内訳)	国庫支出金(1/2)	238,300千円
	(前年度 364,550千円)		市債	214,400千円
			その他特財	23,900千円
			(都市基盤・公共施設等整備基金繰入金)	

## 4. 債務負担行為

### ・鶉の森公園整備工事費

限度額 511,400千円 (総事業費 718,000千円)  
 期間 令和8年度から令和9年度まで

### ・諏訪公園整備工事費

限度額 600,000千円 (総事業費 770,000千円)  
 期間 令和8年度から令和10年度まで

### 【 鶉の森公園 】

現 況



将来イメージ図



#### 【凡例】

	第一期事業 (R6～R7)
	第二期事業 (R8～R9)

【 諏訪公園 】

現 況



将来イメージ図



【凡例】

 事業年度 R8～R10

担当 都市整備部 公園緑政課  
市川  
TEL 354-8197



## 公共交通ネットワーク維持・再編事業

### 1. 目的

基幹的な公共交通と末端交通が連携した効率的で持続可能な公共交通ネットワークを構築する。

### 2. 内容

- ①こにゅうどうくんライナー運行事業 5, 534千円  
三重交通と共同で運行する支線バス「こにゅうどうくんライナー」の運行経費の2分の1を補助金として支出する。また、コミュニティターミナルであるイオンタウン四日市泊にあるバス待合室の維持管理を実施する。
- ②【拡充】デマンドタクシー事業 5, 378千円  
市街化調整区域の交通空白地域でタクシーを活用したデマンド交通を実施する。  
令和8年度からは、18歳以上69歳以下の運転免許証非保有者を新たに制度の対象者に加える。
- ③バス待ち環境整備事業補助金 2, 965千円  
交通事業者が行うバス停上屋の新規設置など、バス待ち環境の向上に寄与する整備に必要な経費の2分の1を補助金として支出する。
- ④乗り継ぎ拠点整備 5, 400千円  
バス路線における幹線バスと支線バスの新たな乗り継ぎ箇所の接続点となるよう、地域の商業機能と連携した、コミュニティターミナルの整備に向けた測量、設計などを行う。
- ⑤【拡充】バス路線再編等検討業務 12, 500千円  
今後のバスタ完成によるバス利用者の利便性向上に合わせ、人流データ等を活用した市内バス路線再編の検討を実施する。  
併せて、河原田地区で実施したA I活用型乗合デマンド交通実証事業の結果を分析し、当該交通手段について検証を行う。

3. 予算額 31, 777千円 (財源内訳) 一般財源 31, 777千円  
(前年度 71, 409千円)

担当 都市整備部 都市計画課  
公共交通推進室 藤田・福井  
Tel 354-8095

# 社会資本整備総合交付金事業費（道路）

## 1. 目的

商工業などの経済活動の活性化や交通機能の強化を図るため、国・県道との広域道路ネットワークを形成する道路整備を行う。

## 2. 内容

小杉新町2号線、泊小古曾線の整備を進める。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・小杉新町2号線</li>   <li>・泊小古曾線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路工（路側工等）</li> <li>用地買収、建物補償等</li>   <li>道路工（擁壁工等）</li> <li>用地買収、建物補償等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>L = 100m</li> <li>1式</li>   <li>L = 90m</li> <li>1式</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

<b>3. 予算額</b>	286,000千円	（財源内訳）	国庫支出金(1/2)	143,000千円
	（前年度 368,000千円）		市債	128,700千円
			一般財源	14,300千円



小杉新町2号線



泊小古曾線

担当 都市整備部 道路建設課  
 岩谷  
 TEL 354-8212

## 産業支援・生活拠点道路整備事業費

### 1. 目的

市内の幹線道路となる産業支援道路や住宅団地内を結ぶ生活拠点道路のうち、舗装劣化が進んでいる路線の計画的な再舗装、著しい渋滞が発生している交通ネック箇所の改良や新設道路の整備により安全で快適な道路の機能維持を図る。

※産業支援道路：臨海部工業地帯や内陸部工業地帯の物流の基幹となる道路、災害時に重要な役割を果たす緊急輸送道路及び防災連絡道路

※生活拠点道路：市民活動を支える住宅団地内の幹線道路、住宅団地と国道・県道等を結ぶ幹線道路

### 2. 内容

子酉八王子線ほか6線の再舗装工事及び測量、赤堀小生線ほか1線の渋滞対策に係る工事、用地買収、補償及び測量等を実施する。

#### 【再舗装】

・子酉八王子線	再舗装工	L =	250 m
・山之色 50 号線	再舗装工	L =	200 m
・川島 69 号線	再舗装工	L =	170 m
・平尾開拓 12 号線ほか 1 線	再舗装工	L =	380 m
・桜台 20 号線	測量		1 式
・河原田 24 号線	測量		1 式

#### 【渋滞対策】

・赤堀小生線	用地買収、建物補償等	1 式
・三重橋垂坂線	道路改良工、設計、用地買収等	1 式

<b>3. 予算額</b>	726,200千円	(財源内訳) 市	債	524,400千円
(前年度	634,205千円)	一般財源		201,800千円



子酉八王子線



赤堀小生線 (松本街道)

担当	都市整備部	道路建設課
	本郷・岩谷	
TEL	354-8213	

土地区画整理事業特別会計

(新) 土地区画整理事業費

1. 目的

土地区画整理事業を施行しようとする者に対し助成を行うことにより、事業を円滑に促進させ、健全な市街地の造成を図る。

2. 内容

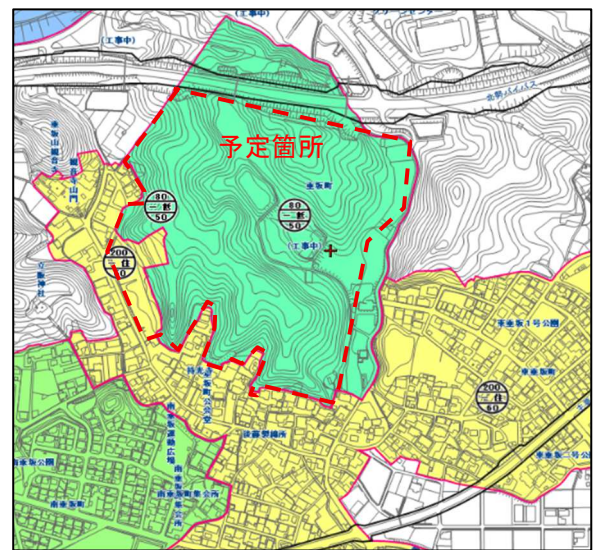
事業名：(仮) 垂坂第二土地区画整理事業

場所：垂坂町地内（面積 約 14ha）※下図参照

用途地域 第一種低層住居専用地域、第一種住居地域

助成対象：測量調査費（組合設立認可申請に必要な経費）

助成範囲：経費の 10/10 以内



3. 予算額 45,700千円

(財源内訳) 一般財源 45,700千円

担当 都市整備部 市街地整備課  
野口  
Tel 354-8289



# 堀川内水対策事業費

## 1. 目的

三重県が行う三滝川分派整備に合わせ、海蔵川へ流入する準用河川堀川の内水対策を実施し、治水安全度の向上を図る。

## 2. 内容

準用河川堀川の内水対策として、放水路及び排水機場の整備を行う。

- ・放水路整備 1式
- ・排水機場整備 1式

3. 予算額 2,303,000千円 (財源内訳) 市債 2,303,000千円  
(前年度 880,000千円)



放水路



排水機場

担当 都市整備部 河川排水課  
山喜多  
TEL 354-8216

# 市営住宅長寿命化事業 (市営住宅整備事業費)

## 1. 目的

市営住宅の供給・管理を適切に実施するため、市営住宅等長寿命化計画に基づき施設の長寿命化を図る。

## 2. 内容

外壁改修及び屋上防水改修工事を実施する。

(工事)	西伊倉町 (4, 7～8号棟) 内部泉町 (1～3号棟) 楠旭町 楠新浜町	事業費	96,300千円
------	------------------------------------------------	-----	----------

(設計)	高花平 (1～3号棟) 末永・本郷	事業費	2,100千円
------	----------------------	-----	---------

<b>3. 予算額</b>	98,400千円	(財源内訳)	国庫支出金(1/2)	44,385千円
(前年度)	125,062千円)		一般財源	54,015千円



内部泉町市営住宅



楠旭町市営住宅

担当 都市整備部 市営住宅課 吉武 TEL 354-8219
--------------------------------------

# 会 計 管 理 課

## 新年度予算における基本的な方針

現金、有価証券、物品の出納及び保管、支出負担行為に関する確認などの会計事務について、本市の会計事務をつかさどる組織として、法令、条例及び規則等に従って適正かつ確実に執行する。

適正かつ確実な会計事務の執行を推進するため、会計機関の牽制機能を発揮しながら、各所属の出納員や会計事務に携わる職員に対して、研修、実地検査等を通じて、必要な支援と指導を行う。

【主な事業】 会計管理経費 予算額 109,548千円

### 1. 適正な会計事務の確保について

公金の支出について、法令、契約等への適合性を厳正に審査することで、支出事務を適正かつ確実に執行する。

また、指定金融機関をはじめとする金融機関との連携・協力関係を維持し、公金収納データ作成業務等を委託することで、適正かつ効率的な収納事務の執行を図る。

### 2. 各所属及び指定金融機関等における適正な事務執行について

公金の支出及び収納・徴収、現金・有価証券・物品の管理などが法令等に従って適正になされることを担保するため、各所属の会計事務の実地検査を実施し、出納員や会計事務に携わる職員に対して、指導や相談対応などの支援を行う。

また、指定金融機関等の検査を定期的実施し、公金の収納、支払事務及び預金管理の状況を把握することで、適切な公金の取扱いに努める。

### 3. 職員の資質向上について

会計管理課職員を外部研修に派遣することで、高い会計事務能力を持った人材の育成を図る。

また、法令改正等を踏まえた会計事務マニュアルの更新を随時行うとともに、その内容につき、庁内掲示板等を活用して、全庁的に情報提供を行う。加えて、同マニュアルの内容を説明する会計事務研修を各所属の出納員や実務担当者に対して実施することにより、会計事務に関する正しい知識の習得を促すとともに会計に関するコンプライアンス意識の醸成を図る。

### 4. 公金の保管運用について

公金の保管については、資金収支計画に基づき、必要な資金を的確に把握するとともに、予期せぬ資金ニーズにも対応できるようにするため、支払準備金を確保する。公金の運用については、引き続き金利の動向を注視しながら、資金管理運用方針に基づき、安全性と流動性を確保した上で、効率性の追求に努める。

# 議 会 事 務 局

## 新年度予算における基本的な方針

令和8年度は、これまで行ってきた取り組みの一層の充実を図ることに加え、議会基本条例の基本方針である、市民との情報共有を図ること、市民参加を推進すること、議員間討議を活性化して政策立案・政策提言を行うこと、の三本柱に沿った議会改革をさらに推進する。議会事務局は、この改革の実現に向けてサポートを行う。

### 1. 議会改革の推進について

議会では議会基本条例の趣旨に基づき、市政の発展、市民生活・福祉の向上に寄与すべく議会改革を継続的に推進しており、昨年度に引き続き議会運営委員会に議会改革小委員会を設置し、議会DXをはじめ、議選監査委員の在り方など、さらなる議会改革に向けた検討を行っている。

また、令和元年度より実施している決算審査を通じた次年度予算への提言については、5項目の提言を行うとともに、提言に対する当初予算への反映状況や事業実施状況について検証を行った。

さらに、議会の権能強化を図るべく議会基本条例の改正案を取りまとめたほか、AIを活用した議会報告を試行するなど新たな取組についても協議・検討を行っている。

令和8年度はこれまでの取組を検証しさらなる充実を図るとともに、引き続き議会改革を推進していく方針であり、議会事務局はこれに対しサポートを行う。

【主な事業】	会議録作製関係経費	8,965千円
	議事関係諸経費（参考人等）	342千円
	議員タブレット関係経費	950千円
	会議用システム関係経費	637千円

### 2. 市民への議会情報の提供及び議会への市民参加の取組について

議会では、情報発信手段の一つである市議会だよりの紙面の充実に継続的に取り組んでいる。令和7年度は、多くの市民に手に取ってもらえるよう、令和7年9月定例月議会号は表紙のデザインを刷新して発行した。このほか、高校生との協働による紙面作成や、小中学生向けに市議会の仕組みなどを分かりやすく説明した「よっかいち市議会だよりの＃こども号」の発行に引き続き取り組んだ。

また、4 常任委員会が学校や団体等に出向いて意見交換を行う「ワイ！ワイ！GIKAI」について、令和7年度は市内の中学校や高校、特別支援学校と意見交換を行った。高校生議会では、参加者が意見を出しやすいよう開催方法を見直した上で開催し、高校生が議論を重ね、意見書を取りまとめて市議会に提出した。

そのほか、常任委員会における審査等での活用を目的とした定例月議会ごとの議案への市民意見の募集など、可能な手法を用いて市議会への興味や理解をより深めてもらうための活動を行った。

市議会モニターと議員との意見交換会の開催や、常任委員会における審査等での活用を目的とした定例月議会ごとの議案への市民からの意見募集の実施など、市議会への興味や理解をより深めてもらうための活動を行った。

令和8年度についても、これまで進めてきた取組をさらに充実させ、「市民との情報共有」、「市民参加の推進」を図る方針である。こうした取組を通して、市民に開かれた議会の実現のためのサポートを行う。

【主な事業】	市議会中継関係経費	10,351千円
	議会報等作製関係経費	18,875千円
	議会広報広聴活動経費	115千円
	インターネット配信関係経費	1,175千円
	市議会モニター関係経費	212千円

### 3. 議会の政策形成機能の充実について

議会は、議会基本条例の基本方針の三本柱の一つである「議員間討議の活性化」を進め、議員間討議により集約された意見から政策立案・政策提言を行い、施策への反映を目指している。

令和7年度には、議員間討議に基づき令和6年度決算審査での政策提言について、新年度予算へ反映された項目があったこと、事業実施手法を見直したことなど、議員間での活発な討議が市の施策へとつながるようになっている。

また、議員政策研究会においては、「四日市市人口維持・増加戦略について考える分科会」が本市の人口推移等の分析を行うとともに、子育て支援などにより人口が増加した他市の事例などの調査研究を行っており、活発に活動しているところである。

さらに、例年実施している議員研修会は、令和7年度においては、三重弁護士会推薦の弁護士による「ハラスメントについて」をテーマに研修を実施しており、議会改革に関する項目だけでなく、個々の政策課題や特定の分野についての見識を深めることにも注力している。

令和7年度は子どもの権利条例等調査特別委員会において、条例の調査研究過程において課題となった事項について調査研究を行うために専門的知見を活用した。また、議会や地方自治制度に関連する特定分野についての研究者の支援を仰ぐために、令和4年度より議会アドバイザー（サポーター）制度を導入しているが、引き続き、当制度で委嘱した専門的知見を有する者を講師として議員研修会を実施するほか、諸課題に対する助言を参考としつつ、諸課題に対する見識を深めながら政策提言能力の向上を図っていく。

議会事務局は、令和8年度においても市民から信頼される議会づくりに向け、議会の政策形成機能充実のための取組についてサポートを行う。

【主な事業】	政務活動費	28,560千円
	行政視察関係経費	9,832千円
	調査法制関係諸経費	2,000千円
	議員研修会関係経費	151千円
	議長車管理経費	2,204千円

# 監 査 事 務 局

## 新年度予算における基本的な方針

監査対象部局の所管する事務及び事業に内在するリスクを想定し、リスクの発現可能性や発現時の影響度の観点から評価を行い、リスクの高い分野を把握した上で監査を行うなど、監査委員による監査が効果的、効率的に行われるよう監査事務を遂行する。

### 1. 財務監査、行政監査等について

監査対象部局の事務及び事業について、想定されるリスクに着目するとともに、法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的に行われているか等の観点から監査を実施する。

監査対象部局の事務及び事業が多様化、複雑化する一方、文書及び財産管理、契約・会計事務等の基本的な内部事務管理の重要性についても注目されている。そのため、行政監査や工事監査等においては、必要に応じて専門的知見を有する監査専門委員を任用するとともに、各種研修などを通じて監査委員の知識・技能の向上などを図り、より質の高い監査の実施に努める。

また、会議システムを活用した監査資料等のデータ提供を行うとともに、他市の先進事例の積極的な収集や各種研修への参加を通じて事務局職員の専門的な知識・技能の向上に取り組み、監査委員を補助する事務局機能の充実を図り、より精度の高い監査に努める。

監査の結果及び措置状況等については、広報よっかいち及び市ホームページ等を通じて迅速に公表を行う。

### 2. その他の監査、検査、審査について

財政援助団体等監査、例月現金出納検査、決算審査、基金運用状況審査、健全化判断比率審査・資金不足比率審査等を実施する。

【主な事業】	監査委員報酬	4, 226千円
	(うち監査専門委員	337千円)
	監査事務一般経費	6, 145千円

# 教 育 委 員 会

## 新年度予算における基本的な方針

先行き不透明で予測困難な時代にあっても、子どもたちが夢や目標に向かってチャレンジし、自分の良さや可能性を伸ばしながら、多様な人々と共に変化を乗り越え、豊かで充実した人生を送ることができるよう、「生きる力」「共に生きる力」を育成する。

そのために、第4次四日市市学校教育ビジョンに基づき、子どもたちに実社会で応用できる資質・能力を育成するとともに、誰一人取り残されない学びを保障するため、四日市市新教育プログラム等の全ての施策を着実に推進する。

また、四日市版コミュニティスクールを核として学校・家庭・地域が一体となった取り組みや、チーム学校として専門スタッフや外部人材の学校運営への参画を促進し、連携や分担による学校マネジメントを行い、教員の働き方改革をより一層進め、総合的な学校の組織力向上を図る。

図書館では、電子図書館や移動図書館などのアウトリーチサービスにおいては、引き続き来館が難しい方への読書環境の充実努める。また、新図書館に移行するまでの間も市民に親しまれる図書館であり続けるために必要な環境整備を行う。

博物館では、魅力的なプラネタリウムイベント企画や美術系の展覧会を開催し、幅広い市民の来館を目指すとともに、児童生徒の学習活動支援に努める。また、ホームページのリニューアルや館内設備を更新し、利便性向上を図る。

## 1. 「夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども」の育成

新教育プログラムの6つのテーマ（柱）のもと、非認知能力の育成を土台として位置づけながら、就学前・小学校・中学校のつながりを意識した一貫性・連続性のある教育を推進する。

「読解力向上」においては、全小中学校に図書館司書を配置し、司書教諭や学校図書館ボランティア等と連携して、日常の読書活動等の推進を図る。また、言語能力等を育成するため、中学校3年生に読解・論理言語力テストを実施し、言語能力等の定着状況の把握や分析を行う。

「論理的思考力向上」では、情報活用能力等を育成するため、思考スキルを活用して考えを整理するなど、論理的思考力の向上を意識した授業づくりをめざし、四日市版情報活用能力体系表を踏まえた発達段階に応じた取組を推進する。

「英語コミュニケーション能力向上」においては、児童生徒の英語コミュニケーション能力を育成するため、全小中学校に英語指導員を派遣するとともに、英検I B Aを中学校全学年で実施し、生徒の英語力定着状況を検証することで、学校の授業改善の取組を支援する。

「体力・運動能力向上」では、子どもたちに良質な水泳授業の環境を整えるため、小学校全37校で民間プール施設を活用した水泳指導を実施する。また、四日市ダンスプログラムにおいては、小学校低学年向けに作成したダンスプログラムを推進するとともに、低学年の取組をベースに中学年向けのダンスプログラムを新たに作成する。

さらに、性に関する正しい知識や生命を尊重する態度等を育成するため、産婦人科医、助産師等の専門家を外部講師とする出前講座を実施する。

「キャリア形成」においては、子どもが自己のキャリア形成の見通しを持ったり、自己の活動を見直したりすることで自己理解を深められるようにするため、「四日市版キャリア・パスポート」活用の推進を図る。

「地域への愛着」では、地域の身近な課題や社会的な課題を解決しようとする子どもを育成するため、全小中学校の「四日市公害と環境未来館」の見学を支援する。

「学びの一体化推進事業」では、就学前・小・中学校間の連携に係る取組を継続するとともに、小学校の高学年の教科担任制を推進し、小・中学校間のなめらかな接続と学力向上を図る。

加えて、人権尊重の精神を養い、差別をなくす実践力を育成するため、各中学校区で子ども人権フォーラムを実施し、子どもが主体となる人権学習を推進する。また、いじめや差別などの人権侵害を解消するため、メディア・リテラシー養成を通じた人権教育を推進し、インターネット上の誹謗中傷や情報の発信・拡散による人権侵害について考え、差別を許さない子どもの育成を目指す。

【主な事業】	学校づくりビジョン推進事業費	24,167千円
	新教育プログラム推進事業費（読解力向上）	60,041千円
	新教育プログラム推進事業費（論理的思考力向上）	381千円
	新教育プログラム推進事業費（英語コミュニケーション能力向上）	151,528千円
	新教育プログラム推進事業費（体力・運動能力向上）	178,182千円
	新教育プログラム推進事業費（キャリア形成）	2,094千円
	新教育プログラム推進事業費（地域への愛着）	20,816千円
	学びの一体化推進事業	16,331千円
	道徳教育総合支援事業費	600千円
	メディア・リテラシー養成を通じた人権教育推進事業	3,148千円
	学校人権教育中学校ブロック人権文化創造事業費	1,185千円

## 2. 家庭や地域社会と連携・協働し、誰一人取り残されない学びの保障

地域とともにある学校づくりを推進するため、四日市版コミュニティスクールにおいて、保護者や地域住民等の教育活動への参画を促進するとともに、地域資源を活かした学校教育活動や、地域が主体となった放課後の学習支援等の充実を図る。

多様な子どもに対する学びの保障を実現するため、不登校対策については、登校サポートセンターや校内ふれあい教室に加え、メタバース空間を活用したオンライン支援の充実を図る。また、オンラインを活用した保護者会の実施やフリースクール等民間施設・団体と協働した保護者相談会の企画など、保護者支援の充実を図る。

外国人児童生徒等の支援については、適応指導員等を配置・派遣する。また、初期適応指導教室「いずみ」において、児童生徒を受け入れ、日本語指導及び適応指導を行うとともに、オンラインを活用した翻訳・通訳業務を実施する。

特別支援教育については、乳幼児期から中学校卒業まで一貫した指導及び支援の充実を図るため、特別支援教育に係る指導者の育成を行い、校内の特別支援教育体制を充実させる。さらに、インクルーシブ教育の推進に向けて、特別支援学級には特別支援学級介助員、通常学級には特別支援教育支援員、医療的ケアが必要な子どもが在籍する学校には医療的ケアサポーター（学校看護師）を配置する。

教育的に不利な環境のもとにある子どもたちの学習意欲の向上や基礎学力及び学習習慣の定着を図るため、教員経験者や大学生などの地域住民による地域子ども教室を実施する。また、教育上配慮を必要とする地域においては、家庭・地域、学校・園が協働し、学習支援活動だけでなく人権学習や体験学習などの活動を通して、子どもたちの自己実現を支援するとともに、自他の人権を尊重する精神と差別をなくすための実践力を育成する。

子育て家庭の経済的負担を軽減し、意欲ある学生が希望する進学先に進めるよう、引き続き経済的理由から修学が困難な高校生、大学生等を対象とした奨学金を支給する。

学校給食費の食材料に係る経費について、これまでは、物価上昇分を市が公費負担することにより保護者負担を軽減してきた。小学校給食は、令和8年度から国が示す交付金の基準額を超える部分を市が公費負担することにより無償化とする。また、中学校給食については、引き続き、物価上昇を鑑みて、保護者負担増につながらないよう物価上昇分を公費負担する。

【主な事業】	四日市版コミュニティスクール推進事業費	10,823千円
	少人数学級拡充事業費	144,689千円
	不登校対策推進事業	77,575千円
	多文化共生教育推進事業	81,275千円
	インクルーシブ教育推進事業	434,323千円
	(うち介助員、支援員、医療的ケアサポーター分)	413,459千円)
	特別支援教育推進事業費	2,268千円
	地域と学校の連携・協働体制構築事業費	1,150千円
	子ども人権文化創造事業費	6,364千円
	自己実現支援事業費	2,869千円
	四日市市奨学金	55,292千円
	学校給食運営費	1,587,149千円
	給食センター管理運営費	678,086千円

### 3. 総合的な学校教育力の向上

子どもたちが安全・安心な学校生活を送り、自律的な学びを進めていくために、教員が子どもに向き合う時間を確保するとともに教職員の資質・能力向上を図る必要がある。そのため、多様な専門スタッフ・外部人材の学校運営及び教育活動への参画を促し、学校業務の連携・分担を行うとともに、校務のデジタル化により、効率化を図る取り組みを進める。

いじめ、不登校、発達障害や支援を要する家庭状況など多様な背景を持つ子どもを取り巻く問題が複合し、生徒指導上の課題が多様化する中、その課題解決に向け、「チーム学校」としてSC（スクールカウンセラー）・SSW（スクールソーシャルワーカー）の配置、SL（スクールロイヤー）の活用の充実を図る。また、学校だけでは対応が困難な事案に対し、中立性・専門性を持った委員から構成される委員会によって解決を図っていく。

いじめ防止については、いじめ予防教育を推進するほか、いじめに関するリスクを可視化できるシステムや、匿名で相談できるSNS相談アプリを全校で活用していく。

中学校の部活動については、令和8年度中に、休日に実施されている学校部活動の全ての種目（16種）を地域クラブ「みんなのブカツ」として地域展開する。また、地域クラブ活動を持続可能なものとするため、統括運営体制の構築について検討する。

教員が子どもと向き合う時間を確保するため、学校が担うべき業務を明確化し、全小中学校に配置した学校業務アシスタントを効果的に活用するとともに、校務支援システムの活用により、よりきめ細かな指導と校務の効率化を図る。

教職員の資質・能力向上のため、教職経験年数（ライフステージ）に応じた研修講座、訪問支援を中心とした若手教員研修を実施する。

【主な事業】	教育情報通信システム運営費	876,827千円
	（うちICT活用による学習環境整備事業	763,424千円）
	学校業務サポート事業費（教育推進課）	74,445千円
	学校業務サポート事業費（学校教育課）	88,373千円
	「チーム学校」推進事業	71,114千円
	部活動サポート事業	189,064千円
	教職員研修費	2,421千円
	大学及び企業等との連携による教師力向上事業費	1,325千円

#### 4. 良好な学習環境の整備

子どもたちのより良い学びを実現するため、良好な学習環境の整備を進める。

校舎の改築整備については、改築時期を迎える橋北小学校の設計を引き続き行うとともに、仮設校舎の建設工事に着手する。

良好な学習環境の確保と施設の長寿命化を図るため、小中学校の校舎や屋内運動場、武道場、給食室における大規模改修、長寿命化改修、保全改修の工事または設計を行う。

エレベーター整備は、小学校において工事または設計を行う。

その他の施設整備として、川島小学校法面整備工事や朝明中学校防球ネット設置工事などを行う。

空調が未整備であった小中学校の屋内運動場、武道場や特別教室については、令和9年度からの供用開始に向け、空調整備を完了させる。

児童生徒数減少による学校の小規模化の課題に対して、合同交流授業を行うなど、魅力ある学校づくりへの支援のほか、令和8年度も水沢小学校において小規模特認校

制度を継続する。

【主な事業】	橋北小学校改築整備事業費	84,373千円
	小中学校大規模改修事業費	1,621,801千円
	小中学校その他施設整備費	679,072千円
	小中学校空調設備整備事業費	2,925千円
	学校規模等適正化事業費	5,425千円

## 5. 図書館、博物館の施策の充実

図書館においては、市民に親しまれる図書館であり続けるために必要な環境整備を行う。また、来館が困難な方に向けた移動図書館においては、新たなコースでの定期巡回及び子育て支援施設等への派遣により利用者の増大を図る。

博物館においては、美術系の展覧会2本と学習支援展示「昭和のくらし」展を行い、大人から子どもまでより多くの市民の来館を目指す。プラネタリウムについても、魅力的なイベントを計画し、さらなる集客を図る。また、館内Wi-Fi環境の整備や博物館ホームページのリニューアルを行うほか、経年により老朽化した展示ケースなどの設備を更新する。

【主な事業】	図書資料整備費	35,466千円
	人権啓発拠点推進事業費	907千円
	図書館維持管理費	65,636千円
	移動図書館運営費	13,911千円
	図書管理システム運営費	37,609千円
	電子図書館運営費	15,303千円
	博物館特別展等開催費	31,087千円
	プラネタリウム投映事業費	26,511千円
	施設設備維持管理費	105,555千円

# 橋北小学校改築整備事業費

## 1. 目的

橋北小学校の校舎については、昭和33年に建築され、改築の目安とされる築70年を迎える。

教室や管理諸室、便所などの適切な配置による効率的な動線の確保や、様々な学習形態に活用できるワークスペースを教室に併設するなど、効果的な施設整備を行うことで、より良い学習環境の確保を目指す。また、建物性能の向上により省エネルギー化を図る。

## 2. 内容

○橋北小学校改築整備事業

- ・改築工事に係る基本設計及び実施設計業務委託（令和7～8年度）

校舎改築（鉄筋コンクリート造4階建、延床面積：約4,450㎡）

〔普通教室（7教室、ワークスペース共）、少人数教室、特別教室、管理諸室（職員室、校長室等）、昇降口、エレベーター等〕

特別教室棟長寿命化改修、給食室保全改修、渡り廊下改築（鉄骨造）、既設校舎及びプール解体、運動場及び遊具整備、仮設校舎

- ・運動場整備に係る測量業務委託（令和8年度）

- ・仮設校舎リース（令和8年～11年度）

- ・校舎改築、校舎改修、既設校舎解体工事（令和9～11年度）

- ・運動場整備に係る設計業務委託（令和10年度）

- ・運動場及び遊具整備（令和11～12年度）

**3. 予算額** 84,373千円（財源内訳）市債 44,800千円  
（前年度 49,600千円） 一般財源 39,573千円

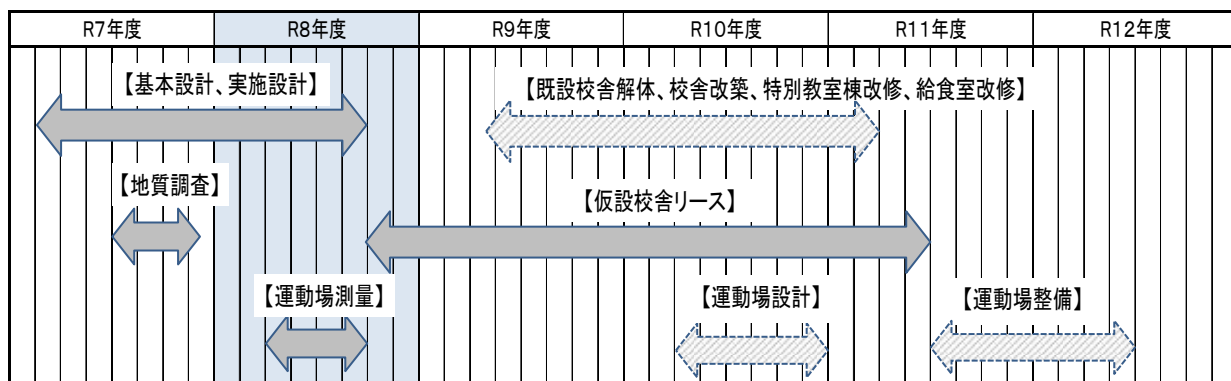
## 4. 債務負担行為

- ・橋北小学校仮設校舎リース

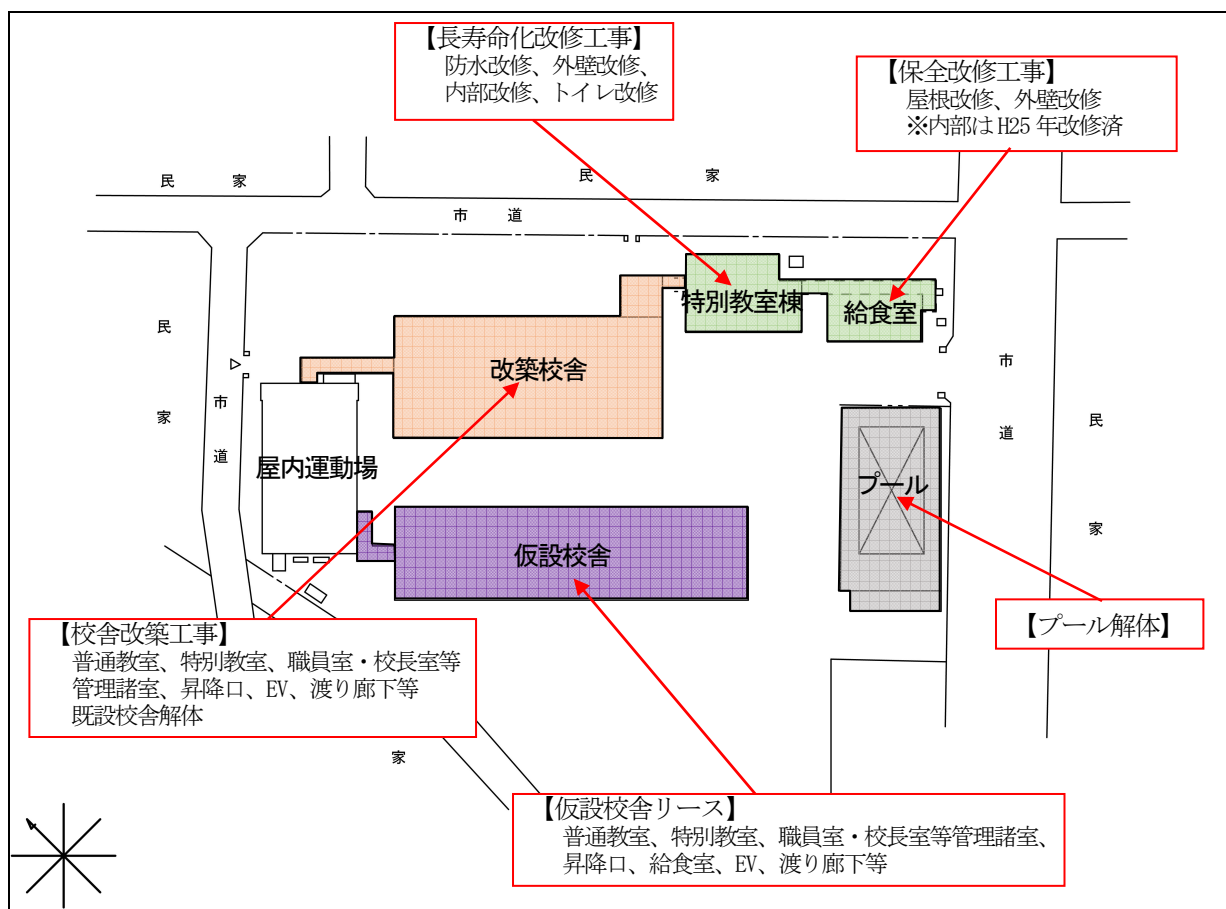
限度額 829,800千円（総事業費 829,800千円）

期間 令和8年度から令和11年度まで

○事業スケジュール



○配置図



担当 教育委員会 教育施設課  
藤吉  
TEL 354-8245

# 新教育プログラム推進事業費

## 1. 目的

本市独自の「新教育プログラム」において、6つのテーマ（柱）ごとに就学前から中学校卒業時までには育成すべき資質・能力を掲げ、その実現に向けた取り組みを進めることで、「夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども」の育成を目指す。

## 2. 内容

- |                                 |           |
|---------------------------------|-----------|
| (1) 読解力向上プログラム                  | 60,041千円  |
| ・ 図書館司書の派遣による読書活動の推進            |           |
| ・ 読解・論理言語力テストの実施                |           |
| ・ 中学生スピーチコンテスト「THE BENRON」の実施   |           |
| (2) 論理的思考力向上プログラム               | 381千円     |
| ・ 「論理的思考力」及び「表現力」向上の取組          |           |
| (3) 英語コミュニケーション能力向上             | 151,528千円 |
| ・ 英語指導員の活用                      |           |
| (小) 英語指導員派遣業務委託                 |           |
| (中) YEF報酬等経費                    |           |
| ・ 小学校英語専科教員の全校配置                |           |
| ・ 中学校全学年での「英検 IBA」の実施           |           |
| (4) 体力・運動能力向上プログラム              | 178,182千円 |
| ・ <b>【拡充】</b> 学校水泳民間委託プール施設活用事業 |           |
| R7：小学校21校 → R8：小学校全37校          |           |
| ・ 四日市市ダンスプログラムの開発及び指導員派遣業務委託    |           |
| ・ 生命及び性に関する出前講座                 |           |
| (5) キャリア形成プログラム                 | 2,094千円   |
| ・ 「四日市版キャリア・パスポート」の活用           |           |
| ・ プレ社会人セミナーの支援                  |           |
| ・ 職場体験学習に係る保険                   |           |

(6) 地域への愛着プログラム

20,816千円

- ・四日市公害と環境未来館の見学
- ・SDGsのためのESD教育の推進
- ・小学校社会科副読本「のびゆく四日市」の編集

**3. 予算額** 413,042千円 (財源内訳) その他特財 10,100千円  
(前年度 318,087千円) (職員宿舎等使用料)  
一般財源 402,942千円

担当	教育委員会	教育推進課
	重内	
	Tel	354-8255

# 学びの一体化推進事業

## 1. 目的

一人一人の学びや育ちについて、就学前から義務教育終了までを見通した連続性を持たせ、就学前・小学校・中学校が協働して子どもの教育に携わることで、「確かな学力」と「健やかな成長」の充実を図る。

## 2. 内容

- (1) **【拡充】** 小学校高学年の一部教科担任制 9,391千円  
算数の教科担任制を実施するため、小学校高学年に非常勤講師を配置し、中学校の学びにつながる系統的な指導の充実と子どもたちの学力向上を図る。  
・教科担任制実施にかかる非常勤講師の配置 小学校6校
- (2) 就学前・小学校・中学校間による接続、連携に係る取組 1,220千円  
推進校の公開研究会や担当者研修会等を通して、就学前から中学校の子どもの実態に応じた「自己選択、自己決定できる学習（学び）」を発信することで、自律した学び手の育成を目指す。  
中学校入学に向けた小学校6年生用の春休み学習課題を提供することで、学力面での中学校へのなめらかな接続につなげる。
- (3) 学力診断支援 5,720千円  
三重県学力診断テスト「みえスタディ・チェック」について、採点業務を委託し、迅速な採点・分析をすることで、日々の指導改善につなげる。また、児童生徒の意識調査を実施し、授業改善及び学校教育活動の評価に生かす。

3. **予算額** 16,331千円 (財源内訳) 一般財源 16,331千円  
(前年度 17,483千円)

担当 教育委員会 教育推進課  
重内  
TEL 354-8255

## 四日市版コミュニティスクール推進事業費

### 1. 目的

地域とともにある学校づくりを推進するため、四日市版コミュニティスクールにおいて、保護者や地域住民等の教育活動への参画を促進する。

また、今後は教育活動への参画に加え、地域が主体となった放課後の学習支援等を進める。

### 2. 内容

- (1) 四日市版コミュニティスクールの充実 8,019千円  
学校づくりビジョンの実現に向けて、地域人材等をゲストティーチャーとして有効活用し、地域の特性を活かした教育活動の充実を図る。また、各地域の活動の活性化を図るため、運営協議会委員研修会や委員長会議を開催する。
- (2) 【拡充】 地域が主体となった放課後の学習支援 2,804千円  
コミュニティスクールが中心となって地域人材を活用し、中学校を核とした放課後の学習支援等のこどもの居場所づくりにつながる取組の充実を図る。  
R7：4校 → R8：8校

3. 予算額 10,823千円 (財源内訳) 県支出金(2/3) 1,869千円  
(前年度 9,555千円) 一般財源 8,954千円

担当	教育委員会	教育推進課
	重内	
Tel	354-8255	

## 部活動サポート事業

### 1. 目的

休日における学校部活動は令和8年度秋以降、地域指導者による地域クラブ「みんなのブカツ」に地域展開する。この事業が持続可能な活動となるよう、環境を整備し、本市中学生のスポーツ、文化・芸術活動の充実を図る。

### 2. 内容

#### (1) 平日学校部活動支援

① 部活動指導員 6, 248千円

平日学校部活動における指導員を34部活に配置する。

② 部活動協力員 342千円

部活動の顧問が他の業務等により現場を離れている間に、部活動を行う生徒の安全を見守る。教員数が少ない小規模校2校に配置する。

#### (2) 【拡充】休日部活動地域展開支援

① 総合型地域スポーツクラブ 41, 140千円

中学生へスポーツ、文化・芸術活動を指導するため、総合型地域スポーツクラブに対し、地域クラブ活動業務を委託する。

② 地域クラブ（総合型地域スポーツクラブ除く） 135, 370千円

・地域クラブにおいて、中学生へスポーツ、文化・芸術活動を指導し、地域クラブ活動を行うため、指導員報酬等を支払う。（年39回を想定）

・地域クラブ活動の運営にかかる業務を委託する。（消耗品購入等）

③ その他（アプリ利用料、体験会保険料、在り方検討会等） 5, 964千円

・スケジュールの共有・出欠報告・保護者との連絡を行うためのアプリ利用料、体験会のイベント保険料。

・部活動の在り方検討会において、今後の運営体制等について協議する。

3. 予算額 189, 064千円（財源内訳） 県支出金（2/3） 139, 166千円  
（前年度 54, 036千円） 一般財源 49, 898千円

担当 教育委員会 教育推進課  
みんなのブカツ推進室 水谷  
TEL 354-8142

**図書館維持管理費**  
(利便性向上に資する経費)

**1. 目的**

新図書館へ移行するまでの間も、現図書館が市民に親しまれる図書館であり続けるために必要な環境整備を行う。

**2. 内容**

- |                              |             |
|------------------------------|-------------|
| (1) 【拡充】授乳ブースの設置             | 8 4 6 千円    |
| 授乳ブースをリースし、館内に設置する。          |             |
| (2) 【拡充】多目的トイレへのおむつ台設置       | 3 6 0 千円    |
| 1階の多目的トイレにおむつ台を設置する。         |             |
| (3) 視覚障害者閲覧用パソコン更新           | 3 9 4 千円    |
| 点字・録音資料室の老朽化した閲覧用パソコンの更新を行う。 |             |
| (4) 突発的な不具合対応のための施設修繕        | 4, 0 0 0 千円 |
| 突発的に発生した不具合を迅速に解消する。         |             |

- 3. 予算額**      5, 6 0 0 千円    (財源内訳) 一般財源      5, 6 0 0 千円  
(前年度      2, 5 0 0 千円)

**4. 債務負担行為**

- ・図書館授乳ブースリース
- |     |                 |       |              |
|-----|-----------------|-------|--------------|
| 限度額 | 2, 5 3 8 千円     | (総事業費 | 3, 3 8 4 千円) |
| 期 間 | 令和8年度から令和11年度まで |       |              |

担当	教育委員会 図書館 谷本、浅野 TEL 3 5 2 - 5 1 0 8
----	-------------------------------------------

# 消 防 本 部

## 新年度予算における基本的な方針

本市の消防救急体制は、一刻も早く災害現場に到着し、消防活動や救急活動が行えるよう、8分消防5分救急の体制の構築に取り組んできたところであり、消防活動拠点の整備については令和7年度をもって完了した。令和8年度は、これまでに整備した消防活動拠点を有効に活用し、市民に対し、より安全・安心を提供できる消防救急体制に向け取り組みを進めるとともに、消防力の維持・強化を目的とした菰野町との消防広域化に向けた協議を進める。

また、迅速な救急搬送の実施に向けて、引き続き救急業務の高度化に取り組むとともに、救急業務の効率化に資する資機材の整備を図っていく。

このように、消防本部は、災害から市民の生命、身体及び財産を守るため、総合計画の基本的政策に掲げる「市民を守る消防救急体制の確立」に向け、以下の事項の取り組みを進める。

### 1. 消防力の充実強化について

消防車両更新計画に基づき、老朽化した北消防署救助工作車や中消防署及び西分署の高規格救急自動車等を更新する。また、老朽化した南消防署救助工作車の救助資機材を更新する。

【主な事業】	消防車両整備事業	267,130千円
--------	----------	-----------

### 2. 消防指令センターの共同運用について

四日市市、桑名市及び三重郡菰野町の3消防本部で共同運用している三重北消防指令センターの消防指令システム等について、令和8年4月の新消防指令システムの運用開始に伴い、令和8年度は旧消防指令システムの撤去及び旧消防指令センターの建築改修工事を行うとともに、適切なシステムの維持管理を行い消防指令センターの円滑な運用を図る。

【主な事業】	消防指令システム整備事業費	66,698千円
	消防指令センター共同運用事業費	17,641千円

### 3. 救急業務の充実強化について

マイナ保険証を活用し、より正確に傷病者情報を把握して円滑な病院選定を図る。また、救急映像等伝送システムの運用の習熟により、現場到着から医療機関へ搬送開始するまでの時間短縮を図る。あわせて、令和7年度に日勤救急隊用の救急車に導入した電動ストレッチャー及び自動式心マッサージ器を車両更新にあわせて他の救急車へ導入し、救急業務の効率化と隊員の身体的負担の軽減に努める。

また、救急ワークステーションの運用により救急救命士の研修時間を確保し、医療機関との連携強化を図る。

さらに、救急救命士が、救急車に複数名乗車できる体制を目指して計画的な養成を行う。

【主な事業】	救急関係事業活動費	35,001千円
	救急救命士養成事業	10,025千円

#### 4. 火災予防対策の推進について

コンビナート事業所や防火対象物に対して立入検査や消防訓練を行い、関係者に防火安全指導を行う。

建物火災は火災件数の中で最も多いため、引き続きSNSなどを活用して住宅防火対策を推進し、市民の防火意識の向上を図る。

また、リチウムイオン電池を搭載した機器などによる新たな火災の注意喚起や大規模地震時の電気火災対策として感震ブレーカーの普及啓発を行う。

【主な事業】	火災予防関係事業活動費	2,267千円
--------	-------------	---------

#### 5. 消防団の充実強化について

地域防災の要である消防団について、老朽化した消防分団車庫を改築するとともに、令和7年度に導入したタブレット端末の効果的な運用により、消防団活動の円滑化を図る。

また、令和7年度に配備したオフロードバイクを活用した実践的な訓練を実施し、大規模災害時における道路寸断時においても迅速な情報収集が可能な体制を構築する。

あわせて消防団の災害対応能力を強化することで、地域防災力の更なる向上を図る。

【主な事業】	消防分団車庫整備事業費	134,690千円
--------	-------------	-----------

#### 6. 消防広域化について

人口減少や高齢化に伴う救急需要の増加、大規模災害の激甚化など社会環境の変化に対応するため、消防本部の規模拡大によるスケールメリットを活かし、消防力の維持・強化を目的とした消防広域化について、令和7年9月に菰野町から申出を受けたことから、今後、消防広域化に向けた協議を行う。

令和8年度は、四日市市および菰野町の双方にメリットのある消防体制の構築を図るため、消防署の適正配置を検討するための調査業務を進めていく。

【主な事業】	消防広域化適正配置調査負担金	1,455千円
--------	----------------	---------

# 消防車両整備事業

## 1. 目的

火災・救急・救助等に迅速かつ的確に対応するため、消防車両更新計画に基づき、車両の更新及び機能強化を行う。

## 2. 内容

### (1) 車両更新事業

#### ○救助工作車【北消防署】

平成 21 年度に配備した救助工作車（Ⅱ型）を更新する。

#### ○高規格救急自動車【中消防署、西分署】

令和元年度に配備した高規格救急自動車 2 台を更新する。

#### ○資機材搬送車【消防救急課】

平成 20 年度に配備した資機材搬送車（クレーン付き）を更新する。

### (2) 消防活動用機器整備事業

#### ○救助工作車資機材の更新

南消防署救助工作車の老朽化した救助資機材を更新する。

#### ○高規格救急自動車用 A E D の整備

高規格救急自動車用 A E D を 4 台更新する。



救助工作車



高規格救急自動車



資機材搬送車

<b>3. 予算額</b>	267,130千円	(財源内訳)	県支出金(10/10)	69,100千円
(前年度)	481,700千円)		市 債	62,200千円
			その他特財	2,300千円
			(不用物品売払収入)	
			一般財源	133,530千円

## 4. 債務負担行為

### ・消防車両購入費（水槽付消防ポンプ自動車）

限度額 88,300千円（総事業費 88,300千円）

期 間 令和8年度から令和9年度まで

### ・消防車両購入費（消防ポンプ自動車）

限度額 28,400千円（総事業費 28,400千円）

期 間 令和8年度から令和9年度まで

担当 消防本部 総務課  
川村  
TEL 356-2003

## 消防分団車庫整備事業費

### 1. 目的

地域の消防防災活動拠点である消防分団車庫のうち、老朽化の著しい車庫について整備を行う。

### 2. 内容

昭和 62 年度に建築した大矢知分団車庫は築後 38 年が経過、昭和 63 年度に建築した小山田分団車庫は築後 37 年が経過し、老朽化が進んでいることから改築工事を行う。

#### ○大矢知分団車庫の改築後の建物概要

- ・建物構造 鉄骨造 2 階建て
- ・延べ面積 約 82 m<sup>2</sup>
- ・建物用途 1 階 消防車庫  
2 階 詰所



改築後のイメージ

#### ○小山田分団車庫の改築後の建物概要

- ・建物構造 鉄骨造平屋建て
- ・延べ面積 約 68 m<sup>2</sup>
- ・建物用途 1 階 消防車庫、詰所



改築後のイメージ

**3. 予算額** 134,690千円 (財源内訳) 市債 90,000千円  
(前年度 110,680千円) 一般財源 44,690千円

担当 消防本部 総務課  
川村  
TEL 356-2003

(新) 消防広域化適正配置調査負担金  
(一般管理費)

**1. 目的**

消防力の維持・強化のための消防体制の構築を図ることを目的とした消防広域化に向けて、菰野町と検討及び協議を行うための調査を実施する。

**2. 内容**

令和7年9月に菰野町から消防広域化の協議について申出を受けたことから、菰野町が発注主体となり、四日市市と菰野町の双方にメリットのある消防体制の構築について、検討及び協議を行うための消防力適正配置調査を実施するにあたり、負担金を支払う。

**○調査スケジュール**

令和8年度												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	★ 契約	←—————→										
								完了				

**3. 予算額** 1,455千円 (財源内訳) 一般財源 1,455千円

三重県負担 1/2 (補助額 2,910千円)	四日市市負担 1/4 (負担額 1,455千円)	菰野町負担 1/4 (負担額 1,455千円)
総事業費 5,820千円		

※三重県が総事業費の1/2を補助(消防広域化推進補助金)し、残りの1/2を四日市市及び菰野町がそれぞれ負担する。

担当	消防本部 総務課
	柴原
	TEL 356-2002

# 上 下 水 道 局

## 新年度予算における基本的な方針

上下水道は、市民生活に直結する重要なライフラインであることから、より一層市民に信頼される上下水道を目指し、計画的な施設整備を進めるとともに、計画的に施設修繕や更新を行うなど適切な維持管理に努め、昨今の物価高騰などの急激に変化する社会経済情勢下にあっても健全で安定した上下水道サービスの提供を行う。

また、昨年1月に発生した下水道管の腐食による八潮市道路陥没事故、4月に発生した京都市における水道管の破裂事故を踏まえ、着実に老朽管路対策事業を行うとともに、昨年9月に本市を襲った豪雨災害を踏まえ、市民の生命、財産を守るため、雨水対策を迅速に取り組み、計画的に施設整備・更新を進めていく。

水道事業については、節水型社会の進展やライフスタイルの変化などの影響から、水需要が平成8年度をピークに総じて減少傾向を示している。令和8年度についても、給水戸数は増加し、大口利用者の水需要もコロナ禍の影響から回復しつつあるものの、一般利用者については戸当たり水量は減少し収益は減少する見通しである。このような状況においても、安全で良質な水道水を引き続き安定して供給するため、四日市市水道ビジョン2019及び四日市市水道事業経営戦略を基本とした第3期水道施設整備計画に基づいて、基幹管路の耐震化及び経年管路施設の更新等を図るとともに、漏水事故による社会的な影響を回避するために鋳鉄管を早期に更新する方針が国から示されたことから、令和17年度を目標年度に更新に取り組む。

また、水道施設の老朽化が進む中、今後も施設のさらなる長寿命化のために、既存施設の有効活用を促進することで財政負担の軽減と平準化を目指す中長期的な更新需要の見通しを示したアセットマネジメント計画を策定する。

さらに、人工衛星画像を活用した漏水箇所の調査などのDX技術の活用や官民連携を進めながら、業務の効率化を図りコストの削減に努めるほか、水道法に基づく水質検査を引き続き適切に行う。

下水道事業については、四日市市生活排水処理施設整備計画（アクションプログラム）及び四日市市下水道事業経営戦略に基づき市街化区域における令和8年度の概成に向け污水管整備を推進するとともに、既存施設の更新及び施設の適正な維持管理に一層努め、包括維持管理委託やウォーターPPPの導入などの官民連携やWEB会議システムを利用した遠隔工事検査などのDX技術の活用により業務の効率化に努める。また、下水道の整備区域外における合併浄化槽の普及と適正な維持管理を進め、「水洗化による生活環境の向上」及び「川や海などの公共用水域の水質保全」を図る。

さらに、「雨に強いまちづくり」を進めるため、令和7年9月12日からの大雨に伴う浸水被害を踏まえ、市内中心部の浸水被害の軽減を図るため、新阿瀬

知ポンプ場の整備を可能な限り早急に行うための基本設計の見直しを行う。

また、まつの雨水2号幹線管渠布設工事を引き続き実施し、令和9年4月からの供用開始を行うほか落合川排水路改良工事に着手する。

また、雨水管理総合計画に基づき市街化区域における総合的な雨水対策として、日永地区の六呂見調整池の用地取得を進めるとともに、詳細設計にも着手するほか、雨水排水対策施設の整備や施設更新及び適正な維持管理を行う。

農業集落排水事業についても、農村集落の生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図るため、農業集落排水施設の適切な維持管理を行うとともに業務の効率化を図り経費の削減に努める。

なお、上下水道事業は公営企業として、使用料等の財源確保に努めるとともに、経営の効率化を図り、将来にわたり持続可能で健全な経営を行う。

## 水 道 事 業

将来にわたって安全安心で良質な水道水を安定して供給していくため、第3期水道施設整備計画（令和元年度～令和10年度）に基づき整備を進めるとともに、適切な維持管理を行う。

小牧水源地において紫外線処理施設の整備を行うとともに、基幹施設の耐震化並びに経年管及び経年施設の更新に取り組む。

【主な事業】	第3期水道施設整備事業	2,878,000千円
	・高度浄水処理施設整備	
	・基幹施設耐震化	
	・経年管路更新	
	・経年施設更新	
	・中央通り再編事業に伴う管網整備	

## 下 水 道 事 業

### 1. 汚水対策事業について

生活環境の向上及び川や海などの公共用水域の水質保全を図るため、四日市市生活排水処理施設整備計画（アクションプログラム）に基づき、汚水管渠の整備を進めるとともに、既存施設の耐震化及び更新に取り組み適切な維持管理を行う。

【主な事業】	公共下水道汚水対策事業	7,156,531千円
	・管渠整備：各地区における整備	
	・管渠更新：特別重点調査に伴う重要下水道管路更新	

- 団地内老朽管及びストックマネジメント計画に基づく管更生
- 中央通り再編事業に伴う管渠更新（諏訪栄町）
- 中央通り再編事業に伴う管渠移設
- ウォーターPPP発注支援
- ・施設更新：ストックマネジメント計画に基づく施設更新及び耐震化

## 2. 雨水対策事業について

市街化区域の集中豪雨等による浸水対策を図るため、雨水管理総合計画に基づき、雨水排水施設の整備を推進するとともに、施設更新及び耐震化に取り組み、適切な維持管理を行う。

【主な事業】 公共下水道雨水対策事業 6,223,460 千円

- ・市内中心部：新阿瀬知ポンプ場基本設計見直し
- 浸水対策 まつの雨水2号幹線管渠布設工事
- 落合川排水路改良工事
- ・施設整備：六呂見調整池（日永地区）用地、建物補償及び詳細設計
- ・管渠更新：特別重点調査に伴う重要下水道管路更新
- 中央通り再編事業に伴う管渠更新（諏訪栄町）
- 中央通り再編事業に伴う管渠移設
- ウォーターPPP発注支援
- ・施設更新：ストックマネジメント計画に基づく施設更新及び耐震化

## 農業集落排水事業

農村集落の生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図るため、農業集落排水施設の適切な維持管理を行う。

【主な事業】 施設維持管理経費（11地区） 273,880 千円

## コミュニティ・プラント事業

生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図るため、コミュニティ・プラント施設の適切な維持管理を行う。

【主な事業】 施設維持管理経費（2地区） 91,343 千円

## 合併浄化槽事業

生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図るため、個人の合併浄化槽設置及び適正管理に対して、補助金を交付する。

【主な事業】	合併浄化槽整備促進事業	65,057 千円
	合併浄化槽水質浄化促進事業	103,872 千円

# 水道事業会計

## 第3期水道施設整備事業

### 1. 目的

安全安心で良質な水道水を将来にわたって安定的に供給し、市民から信頼される水道事業を持続するために、施設の耐震化と経年管及び経年施設の更新を進める。

### 2. 内容

(1) 高度浄水処理施設整備事業 296,600千円

小牧水源系において、クリプトスポリジウム等の指標菌が検出されたことから、安全安心な水道水の供給を行うため、紫外線処理設備の整備を行う。

(2) 基幹施設耐震化事業 144,000千円

配水管の耐震化を図り、被災時における市民生活への影響を最低限に抑える。

配水管の布設替 L=300m

主な整備箇所：生桑町、小牧町 他

(3) 経年管路更新事業 1,025,400千円

水道水の安定供給を図るため、経年管路更新計画に基づき、配水管を更新する。また、漏水事故による社会的な影響を回避するために铸铁管を早期に更新する方針が国から示されたことから、令和17年度を目標年度に更新に取り組む。

配水管の布設替 L=5,920m

主な整備箇所：山田町、川島町 他

**【拡充】** 铸铁管更新事業：地下埋設物調査

(4) 経年施設更新事業 1,262,000千円

水道施設の電気・機械設備の更新を行う。

対象施設：小牧水源地、あがた加圧ポンプ所 他

(5) 中央通り再編事業に伴う管網整備事業 150,000千円

中央通り再編事業に伴い、中心市街地周辺部における管網整備を行う。

3. 予算額 2,878,000千円

(前年度 3,810,000千円)

(財源内訳) 国庫補助金(1/3・1/4) 77,209千円

企業債 1,281,700千円

他会計補助金 123,070千円

自己財源 1,396,021千円

担当	上下水道局	水道建設課
	新美 TEL	354-8365
	上下水道局	施設課
	櫻井 TEL	354-8364

## 水道事業会計

### 漏水対策管路更新事業

#### 1. 目的

安全安心で良質な水道水を将来にわたって安定的に供給し、市民から信頼される水道事業を持続するために、近年増加している漏水履歴のある老朽管の更新を進める。

#### 2. 内容

【拡充】配水管の布設替え

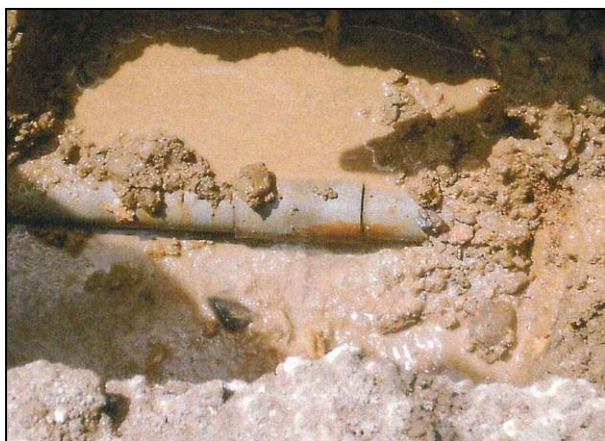
φ 50 布設替 L=1,660m

φ 75 布設替 L= 50m

φ 100 布設替 L=1,060m

主な整備箇所：大字羽津、河原田町 他

<b>3. 予算額</b>	322,615千円	(財源内訳)	企業債	151,600千円
(前年度)	226,900千円)		他会計補助金	19,242千円
			自己財源	151,773千円



更新前  
(塩ビ管)



更新後  
(配水用ポリエチレン管) ※耐震管

担当	上下水道局	水道維持課
	鈴木	TEL 354-8360

# 水道事業会計

## (新) 水道施設アセットマネジメント計画策定業務委託

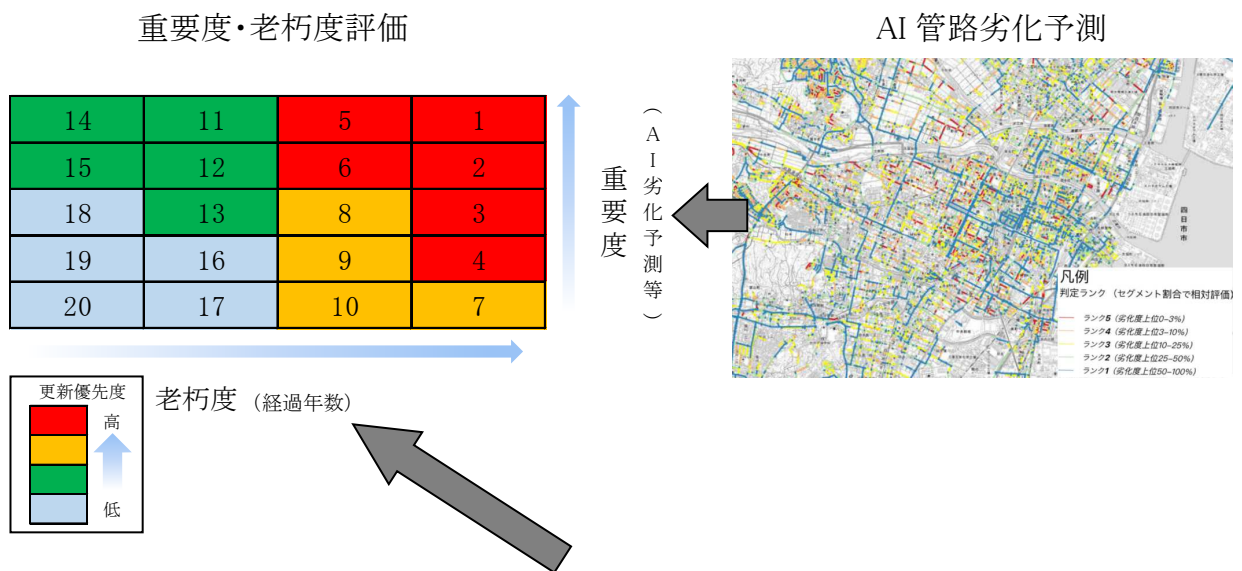
### 1. 目的

高度経済成長期以降に大量に整備した水道施設の老朽化が進むなか、より効率的・合理的な施設更新を行っていくため、概ね30～40年を見据えた中長期的な施設更新需要の見通しを示すアセットマネジメント計画を策定する。

### 2. 内容

水道管・施設のアセットマネジメントの高度化に向けて、AIを活用した管路劣化予測等を「重要度」に、管種別の経過年数を「老朽度」として組み合わせ、今後の最適な管路更新計画を策定する。また、施設については電気・機器設備の個別評価により優先度を判定し、計画的に予防保全型メンテナンスへの転換を加速させる。

＜重要度と老朽度評価による更新優先度の設定＞



水道管の管種別の法定耐用年数と実使用年数 (一部)

管種		法定耐用年数	実使用年数	使用年度	備考
ダクタイト 铸铁管	耐震型継手	40年	100年	H15-	長期の耐久性が期待できる
硬質塩化 ビニル管	TS継手	40年	40年	S39-S48	漏水が多く発生している

### 3. 予算額

12,000千円

(財源内訳) 自己財源 12,000千円

担当 上下水道局 経営企画課  
追塩 TEL 354-8369

## 下水道事業会計

### 公共下水道汚水対策事業

#### 1. 目的

生活排水処理及び川や海などの公共用水域の水質保全を図るために、公共下水道（汚水）施設を計画的に整備する。

#### 2. 内容

(1) 管渠整備 4, 261, 033千円

各地区において計画的に推進してきた汚水管渠の整備（面的な整備）を引き続き進める。

○整備地区：下野、大矢知、羽津、三重、桜、常磐、四郷、内部、河原田（L=13.0 km）

4, 261, 033千円

(2) 管渠更新 1, 548, 359千円

○重点調査（国・市単独）に伴う管渠更新 269, 500千円

○泊山汚水幹線管渠更新 495, 280千円

○ストックマネジメント計画に基づく管更生 440, 775千円

○管渠耐震調査設計 39, 750千円

○団地内老朽管の管更生（あかつき台） 他 303, 054千円

(3) 施設更新 1, 347, 139千円

ストックマネジメント計画に基づく施設更新及び耐震化を行う。

○処理場・ポンプ場（更新）

日永浄化センター第3系統 他 1, 280, 154千円

○処理場・ポンプ場（耐震化）

日永浄化センター第3系統 他 66, 985千円

3. 予算額 7, 156, 531千円

（前年度 6, 531, 445千円）

（財源内訳） 国庫補助金(5.5/10・1/2) 2, 401, 079千円

企業債 4, 453, 600千円

自己財源 301, 852千円

担当	上下水道局	下水建設課
	柳川	TEL 354-8223
	上下水道局	施設課
	田島	TEL 354-8220

## 下水道事業会計

### 公共下水道雨水対策事業

#### 1. 目的

市民の生命・財産を守る「雨に強いまちづくり」を進めるため、市街化区域の雨水排水施設の整備を推進する。

#### 2. 内容

(1) 【拡充】 市内中心部浸水対策 663,250千円

令和7年9月12日からの大雨に伴う浸水被害を踏まえ、中心市街地の浸水被害の軽減を図るため、浸水対策を可能な限り早急に行う。

○新阿瀬知ポンプ場整備 40,000千円

・基本設計見直し【令和8-9年債務】

令和8年度 0千円

令和9年度 80,000千円

・補償算定業務委託 他 40,000千円

○まつの雨水2号幹線管渠布設工事 447,500千円

○落合川排水路改良工事 175,750千円

(2) 施設整備 590,712千円

特に浸水被害の多い地域について施設整備を進める。

○六呂見雨水調整池（日永地区）詳細設計 110,000千円

○六呂見雨水調整池（日永地区）用地及び建物補償 190,000千円

○排水路改良工事 及び 土木要望対応 他 290,712千円

(3) 管渠更新 1,829,167千円

ストックマネジメント計画に基づく管渠更新等を行う。

○重点調査（国・市単独）に伴う管渠更新 1,290,500千円

○管渠耐震調査設計 43,000千円

○管渠更新（納屋・阿瀬知排水区） 他 495,667千円

(4) 施設更新 3,140,331千円

ストックマネジメント計画に基づく施設更新及び耐震化を行う。

○処理場・ポンプ場（更新） 雨池ポンプ場 他 3,115,498千円

○処理場・ポンプ場（耐震化） 白須賀ポンプ場 他 24,833千円

#### 3. 予算額 6,223,460千円

(前年度 4,169,990千円)

(財源内訳) 国庫補助金(5.5/10・1/2・4/10) 2,433,398千円

企業債 3,356,400千円

他会計負担金 17,200千円

負担金 2,909千円

自己財源 413,553千円

担当	上下水道局	下水建設課
	柳川 TEL	354-8223
	上下水道局	施設課
	田島 TEL	354-8220

## 下水道事業会計

### (新) 管渠布設費 (重要下水道管路更新事業)

#### 1. 目的

市民の安全を確保するため、老朽化した下水道管の改築工事を行う。

#### 2. 内容

令和7年1月に発生した埼玉県八潮市の陥没事故を受け、国からの要請のあった「下水道管路全国特別重点調査」に基づき、緊急度Iと判定された管路改築工事を行う。

管更生工延長 L=1,470m

合流管 L=710m (φ2,000mm~2,500mm)

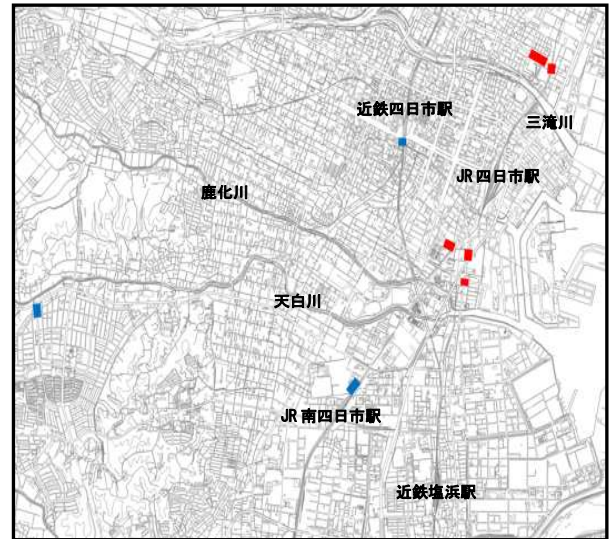
雨水管(函) L=760m (φ2,000mm、□3,000×2,000mm他)

#### 3. 予算額

1,500,000千円	(財源内訳)	国庫補助金(1/2)	750,000千円
		企業債	675,000千円
		自己財源	75,000千円



北部位置図



南部位置図

(凡例 ■ : 合流管 ■ : 雨水管(函))

担当 上下水道局 下水維持課

戸谷 TEL 354-8370

# 合併浄化槽整備促進事業

## 1. 目的

合併浄化槽の新設や、単独浄化槽又は汲取便槽から合併浄化槽への転換にかかる費用の一部を補助することにより、生活環境の向上及び河川や海などの公共用水域の水質保全を図る。

## 2. 内容

住宅の新築及び改築、増築等に伴い合併浄化槽を設置する者及び既存建築物の単独浄化槽や汲取便槽から合併浄化槽に転換する者に対して補助金を交付する。

なお、令和8年度より、加算額の算出根拠となる国の交付金基準額が改正され、撤去費用が増額されることから、転換補助金額を改正する。

### ① 新築補助 (137 基)

単位：円

人槽規模	補助金額
5人槽	180,000
6～7人槽	231,000
8～50人槽	292,000

※新築補助に係る基準額の改正はなかったため、補助金額に変更なし。

### ② 転換補助 (59 基)

単位：円

人槽規模	現行			➔	改正後		
	基本額	加算額	合計額		基本額	加算額	合計額
5人槽	360,000	<u>180,000</u>	<u>540,000</u>		360,000	<u>210,000</u>	<u>570,000</u>
6～7人槽	462,000	<u>180,000</u>	<u>642,000</u>		462,000	<u>210,000</u>	<u>672,000</u>
8～50人槽	585,000	<u>180,000</u>	<u>765,000</u>		585,000	<u>210,000</u>	<u>795,000</u>

※転換補助において高齢者（65歳以上）のみが居住し、かつ非課税世帯の場合は10%の割り増しを行う。

## 3. 予算額 65,057千円

(財源内訳)

(前年度 63,785千円)

国庫支出金 (1/3) 19,780千円

県支出金 (1/3) 12,222千円

一般財源 33,055千円

担当	上下水道局 生活排水課
	北川 Tel 354-8402

## 合併浄化槽水質浄化促進事業

### 1. 目的

合併浄化槽の保守点検、清掃、法定検査の維持管理を行った浄化槽管理者に補助金を交付することで、合併浄化槽の適正な維持管理を促進し、公共用水域の水質保全を図る。

### 2. 内容

公共用水域の水質保全の目的から、浄化槽の法定検査の適正率向上に向け、合併浄化槽の適正な維持管理を行った浄化槽管理者に補助金を交付する。

人槽別補助金額	単位：円
人槽規模	金額
5～6人槽	16,000
7～9人槽	18,000
10～50人槽	22,000

補助基数 5,949 基

**3. 予算額** 103,872千円 (財源内訳) 一般財源 103,872千円  
(前年度 113,980千円)

担当 上下水道局 生活排水課  
北川 TEL 354-8402

# 市立四日市病院

## 新年度予算における基本的な方針

コロナ禍を経て、医療界は大きな転換期を迎えており、当院においても創設以来の経営の危機的状況に直面している。インフレの進行は留まるところを知らず、物価や人件費に加え、建築・設備費なども高騰するなど、例外なく全てのコストが上昇している。一方で、患者の受診行動も変容し、患者数の減少が続いている病院も多く、当院を含む全国の病院において、経営状況は悪化の一途を辿っている。

こうした状況を反映し、令和6年度決算では、多くの病院で赤字となり、とりわけ不採算部門を担う公立病院では約8割が赤字という経営の危機的状況に陥っている。これを受けて、先般行われた国の補正予算において、賃上げ・物価上昇に対する支援が示されるとともに、令和8年6月に行われる次期診療報酬改定においても、本体で平均+3.09%となり、薬価等の△0.87%と合わせて12年ぶりのプラス改定となる旨が決定されたところである。

しかしながら、近年上昇を続け、費用の約半分を占める処遇改善に伴う給与費の増加の影響も大きく、患者数も伸び悩む中、今般示された次期診療報酬改定率では、費用の上昇分を賄うことができる水準には至っておらず、今後も予断を許さない厳しい経営環境が続くものと想定される。

当院としては、北勢地域の中核病院として存続し、今後も求められる救急医療、高度医療などの急性期医療を提供し続けなければならない。その実現のために、職員一丸となって経営改善活動に取り組み、経営改革を進めていかななくてはならない。具体的には、令和6年度から活動を継続している経営改善プロジェクトについて、メンバーを入れ替え、新たな視点で収益改善やコスト削減などに取り組むとともに、事務局による改善活動も継続する。併せて、令和7年度に実施している外部の視点を取り入れた経営状況分析及び経営改善支援業務委託において、受託者から提案を受けた改善策をもとに、経営改善計画を策定し、順次実行に移していく。これらの改善活動を通じて経営基盤の強化を進め、地域に誇れる病院となるべく、より柔軟で強固な組織づくりにも努めていく考えである。

こうした方針の下、令和8年度予算については、コロナ5類移行後2年以上が経過しても患者数が回復しない現状を踏まえつつ、令和8年4月から開始する無痛分娩料も加味した上で、入院及び外来収益を計上している。一方、費用では、高度急性期医療の提供に不可欠となる、手術用の診療材料費や投薬治療用の薬品費などの材料費をはじめ、物価・労務費上昇を踏まえた経費や医療従事者を含む職員の給与費などを計上している。その結果生じる収支の不均衡については、赤字の継続により運営資金が減少しているため、一般会計からの支援強化により予算を編成している。

また、施設整備については、令和4年度に工事着手した配管・配線類等をはじめ

めとする老朽化した病院施設の大規模改修事業において、最終年度となる令和8年度は中央検査室の改修工事等を行う。並行して、病院施設の適切な維持管理を図るため、更新時期を迎えた設備機器等も更新する。さらに、3年目となる病院施設更新計画の策定に向けた取り組みとして、新病院の目指す姿や使命・役割のほか、将来の方向性といった当院のあり方について検討を行う。このほか、医療機器等の整備については、患者に安全・安心で高度な医療を安定的に提供するため、必要に応じた医療機器の更新を行うとともに、情報セキュリティの強化や医療DXの推進など、電算等のシステム整備も図っていく。

当院を取り巻く経営環境は、非常に厳しい状況が続くものと想定されるが、今後も当院が、北勢地域の命と暮らしを守り、地域から“選ばれる病院”であり続け、地域医療の“最後の砦”として持続可能な医療を提供できるよう、全職員が一丸となってより一層の経営改善を実行していくことで、より強固な経営基盤づくりに努めるとともに、質の高い医療水準を確保し、地域の医療機関とのより一層の連携強化も図りながら、救急医療、高度医療などの急性期医療を安定的に提供できるよう努めていく。

## 1. 病院施設大規模改修

昭和53年の移転新築以来、未改修のままである配管・配線類等のインフラ更新に併せて、薬局、中央検査室、中央放射線室を中心とした部門改修及び患者支援のための入退院支援センターの新設、院内セキュリティ対策の強化などを行う。工事開始から5年目を迎え、最終年度となる令和8年度は、中央検査室の改修工事等を行う。

【主な事業】病院施設大規模改修工事（3期）	1,527,600千円
病院施設大規模改修工事監理業務委託（3期）	25,000千円
備品等移設支援業務委託	1,540千円
備品等移設業務委託	22,605千円
ネットワーク整備業務委託	28,380千円
備品購入	36,300千円
仮設プレハブ設置及び賃貸借	10,960千円

## 2. その他病院施設改修

病院施設の適切な維持管理を図るため、更新時期を迎えた設備機器等を更新する。令和8年度は、屋上防水、サービス棟電気室低圧配電盤及びER棟昇降機の改修工事を行う。

【主な事業】屋上防水改修工事	61,600千円
サービス棟電気室低圧配電盤改修工事	43,153千円
ER棟昇降機改修工事	27,665千円

### 3. 病院施設更新計画検討

病院施設更新計画の策定に向けた取り組みとして、令和6年度に実施した現地建替検討、令和7年度に行う基礎調査に続き、新たな地域医療構想を踏まえた新病院の目指す姿や使命・役割のほか、医療機能をはじめとする将来の方向性といった当院のあり方について検討を行う。

【主な事業】病院施設更新計画策定に向けたあり方検討業務委託 13,200千円

### 4. 医療機器等整備

患者に安全・安心で高度な医療を安定的に提供するため、ハイブリッド手術室用血管造影X線診断装置、放射線情報管理システム、周産期情報管理システムをはじめとした医療機器等の整備・更新を図る。

【主な事業】ハイブリッド手術室用血管造影X線診断装置、放射線情報管理システム、周産期情報管理システムほか購入 500,000千円

### 5. 情報セキュリティ強化、DX推進

情報セキュリティ強化の一環として、令和7年度に導入した総合医療情報システム統合型バックアップストレージに格納したバックアップデータを、有事の際に安全かつ確実に復旧できるよう適切な運用を図る。また、業務効率化に向けた医療DX推進の一環として、医療向け生成AIサービスを利用し、医療文書作成支援や音声メモ機能などの機能を活用することにより医療従事者の負担軽減を図る。さらに、セキュリティが確保された病院専用のチャットツールを採用し、医療従事者間の安全な情報共有を図る。

【主な事業】総合医療情報システム統合型バックアップストレージ

運用保守業務委託	2,121千円
医療向け生成AIサービス使用料	3,776千円
チャットツール使用料	2,601千円

### 6. 経営改善に向けた取り組みについて

令和元年度以降6年連続の赤字決算となる中、令和6年度以降取り組んできた経営改善プロジェクトや経営改善事務局会議による院内での改善活動に加えて、令和7年度には外部の視点を取り入れた多角的な改善を進めるため、医療経営コンサルタントによる経営状況分析及び経営改善支援の中で改善提案を受けるなどの経営改善に向けた取り組みを進めている。

令和8年度は、これらの改善提案などを含め、主に次のとおりの改善項目について、更なる経営改善を推進していく。

- 以下(1)による改善効果見込額 令和8年度末累計 2.5億円  
令和9年度末累計 5.5億円

(1) 実行済み又は今後実行する項目

区 分	R7 年度	R8 年度	R9 年度
職員数の見直し 〔医師定数の見直し、非常勤医師削減など〕	実行	→	→
SPD (物品・診療材料の一元管理委託) の導入 〔物品・診療材料の発注・納品・管理の委託化で経費削減〕		(契約)	実行
診療材料の共同購入による経費削減 〔全国規模の組織体に参加して共同で購入〕		(加入手続き)	実行
医療機器更新費の抑制 〔医療機器更新間隔の見直し〕		実行	→
医療機器保守委託内容の変更 〔メンテナンス方法の一部見直し〕		実行	→

(2) 実行に向け検討を進め、順次実行に移す項目

区 分	備 考
病床数の適正化 〔医療需要に応じた病床数の適正化〕	引き続き検討を進め、実行可能なものから順次実行
就職準備資金の廃止 〔7:1 体制導入に伴い増員を図ってきた看護師の充足〕	
自費料金の見直し (文書料、室料差額料金、普通駐車場使用料など) 〔コストに見合う料金への見直し〕	
業務委託の仕様及び発注スキームの見直し 〔委託仕様内容など見直し〕	
高額医療機器更新時のクラウドファンディング 〔資金確保手段の拡大〕	
院内託児所の運営費の低減 〔院内託児所の運営に係るコストの低減〕	

### 1. 目的

病院運営を継続していくために必要となる、経年劣化が進むインフラを主とした病院施設の老朽化対策とともに、患者にとって安全、安心で快適な医療環境の改善や、医療従事者にとっても働きやすい労働環境の整備を行う。

### 2. 内容

昭和53年の移転新築以来、未改修のままである配管・配線類等のインフラ更新や薬局、中央検査室、中央放射線室を中心とした部門改修に併せて、患者支援のための入退院支援部門の新設および院内セキュリティ対策の強化などを行う。

令和8年度は、3期に分割して進める計画のうち、令和7年度に引き続き3期分を実施する。

<b>3. 予算額</b>	1, 6 5 2, 3 8 5 千円	(財源内訳)	企業債	1, 5 8 8, 9 0 0 千円
(前年度	1, 0 0 4, 2 4 7 千円)		自己財源	6 3, 4 8 5 千円

(参考)

○事業費の内訳

(単位：千円)

区 分	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	令和7年度 決算見込額	令和8年度 予定額	計
大規模改修工事(1期)	71,600	577,136	—	—	—	648,736
大規模改修工事監理業務委託(1期)	2,970	12,430	—	—	—	15,400
備品等移設支援業務委託(1期)	2,405	2,003	—	—	—	4,408
仮設プレハブ設置及び賃貸借	0	90,382	8,718	1,757	10,960	111,817
その他委託等	3,893	2,981	5,215	51	—	12,140
大規模改修工事(2期)	—	262,051	1,243,763	—	—	1,505,814
大規模改修工事監理業務委託(2期)	—	6,600	19,800	—	—	26,400
備品等移設支援業務委託(2期)	—	3,520	7,858	—	—	11,378
機器・備品移設業務委託	—	9,845	42,570	—	—	52,415
ネットワーク整備業務委託	—	23,100	33,440	—	—	56,540
備品購入	—	—	136,400	—	—	136,400
大規模改修工事(3期)	—	—	0	844,000	1,527,600	2,371,600
大規模改修工事監理業務委託(3期)	—	—	0	20,000 (債務計 2,416,600)	25,000	45,000
備品等移設支援業務委託(3期)	—	—	—	6,202	1,540	7,742
機器・備品移設業務委託	—	—	—	40,200	22,605	62,805
ネットワーク整備業務委託	—	—	—	34,430	28,380	62,810
備品購入	—	—	—	57,607	36,300	93,907
合 計	80,868	990,048	1,497,764	1,004,247	1,652,385	5,225,312

○事業スケジュール (予定)

区 分	R4	R5	R6	R7	R8
工事・工事監理・備品等移設支援	1期分		2期分		3期分
主な 工事 内容	①インフラ改修				
	②部門改修		薬局・中央放射線室(MRI)	中央検査室	
	③入退院支援部門の設置				
	④セキュリティ対策の 強化など			自動扉設置	院内サイン
仮設プレハブ設置及び賃貸借					

担当 市立四日市病院施設課 古市  
 総務課 山川、森  
 TEL 354-1111

令和8年度 行政のデジタル化関連事業について

(単位:千円)

会計	款	項	所属	事業名	令和8年度 予算	事業概要
一般会計	総務費	総務管理費	危機管理課	防災倉庫整備事業費	32,000	防災備蓄品の管理業務の効率化と災害発生時における拠点防災倉庫での迅速な荷捌き及び配送体制の強化に資する「防災備蓄品管理システム」の導入
			調達契約課	電子契約システム運用経費	410	契約業務の効率化、コスト削減、コンプライアンス強化等を目的とした電子契約システムの導入
			デジタル戦略課	A I ・ R P A等活用促進事業費	4,950	職員の業務引継ぎや均一化を目的とした、A Iを用いた業務解析・マニュアル作成ツールの導入
				行政手続のデジタル化事業費 (L I N E公式アカウント運用管理及び再構築)	19,180	各種行政手続の周知や案内などの情報を配信する市の公式L I N Eアカウントの運用管理及び、利用者の利便性の向上、運用保守にかかる委託費の縮減を目的とした再構築の実施
				行政手続のデジタル化事業費 (窓口のデジタル化推進)	106,723	窓口業務のデジタル化を図るため、「四日市市窓口業務デジタル化実施計画」に基づく、「書かない窓口」、「回らない窓口」などの各種施策の実施
			市民生活課	多文化共生推進事業費	4,160	日本語の理解が困難な外国人市民に対して、総合的な相談業務を円滑に実施するためのモバイル端末機によるテレビ電話通訳サービスや、電話による多言語三者間通訳の実施
			文化課	こどもみらいクーポン事業	36,264	こどもみらいクーポン事業を実施するためのシステム開発・保守運用及びW i - F i 端末の導入
		戸籍住民基本台帳費	市民課	コンビニ交付事業費	7,648	マイナンバーカードを利用して住民票等の各種証明書を簡単に取得できるコンビニ交付サービスの利用促進のために、市役所1階に設置したキオスク端末の運用及び市民への操作支援の実施
	衛生費	保健所費	食品衛生検査所	食肉衛生検査事業費	136	H A C C Pに基づくと畜解体作業について外部検証(監視・指導)を記録するためのタブレットの導入
	農林水産業費	農業費	農業委員会事務局	荒廃農地状況調査費	867	市内の全農地を対象に行う利用状況調査で使用する、人工衛星データとA Iを活用した農地利用状況調査効率化システムの導入
				農業委員会一般経費	1,565	遊休農地調査及び農業委員会月例会議で使用されるタブレットの導入
	土木費	道路橋梁費	用地課	境界査定業務費	14,234	境界査定記録を窓口にて閲覧可能にする四日市市官民境界査定資料管理・閲覧システムの改修
	<b>一般会計小計</b>					<b>228,137</b>

(単位:千円)

会計	款	項	所属	事業名	令和8年度 予算	事業概要
企業会計	病院事業費用	医業費用	市立四日市病院	電算等システム整備事業費 (ライセンス賃借料)	3,776	診察や問診時の会話を文字で記録し、編集等が可能な生成A Iの導入
				電算等システム整備事業費 (ライセンス賃借料)	2,601	医師や看護師等の職員間で、携帯端末などからのチャットや通話を用いて、患者の病態に応じた処置等の情報のやりとりを行うことができるツールの導入
				電算等システム整備事業費 (ライセンス賃借料)	2,640	入院時のインフォームドコンセント(説明と同意)などに活用するための動画作成ツールの導入
				電算等システム整備事業費 (病診連携W e b 予約導入委託料)	1,369	地域の医療機関が、現在電話で行っている紹介患者の検査等の予約をW e bで行うことができるツールの導入
<b>企業会計小計</b>					<b>10,386</b>	
<b>合計</b>					<b>238,523</b>	

### 中期財政収支見通し総括表(一般会計)

財政プランR5～R7まで公表

決算 決算見込

(単位:億円)

		6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	備考
歳入	市税	718	745	750	746	750	749	744	744	【前提条件等】 ・物価上昇: R9まで毎年2%上昇、以降横ばい ・人件費: R9まで毎年正職3%、会任パート7.7%上昇、以降横ばい ・市税: R13まで740億円台で推移  ・地方消費税交付金: 現行制度が継続すると仮定
	うち 個人市民税	193	213	221	224	228	226	225	223	
	うち 法人市民税	54	75	56	60	63	65	66	66	
	うち 償却資産	177	159	172	164	159	156	154	153	
	地方譲与税等	141	133	137	136	139	141	144	146	
	うち 地方消費税交付金	82	87	90	91	94	96	98	101	
	地方交付税	5	5	5	4	4	4	4	4	
	国・県支出金	341	357	365	345	341	354	342	364	
	市債	40	88	122	70	117	210	106	85	
	その他	202	216	143	154	152	185	166	149	
うち 財政調整基金繰入金	14	8	7					0		
うち 都市基盤・公共施設等整備基金繰入金	5	19	17	7	16	34	21	16		
計(A)	1,447	1,544	1,522	1,455	1,503	1,643	1,506	1,492		
歳出	人件費	232	257	262	258	269	258	270	258	・アセットマネジメント基金はR12に200億円の目標額を積立完了
	うち 退職手当	13	3	11	3	13	3	13	3	
	扶助費	359	368	368	368	370	372	373	375	
	うち 補助	291	313	330	331	332	333	335	336	
	うち 単独	68	55	38	36	36	36	36	36	
	公債費	50	43	43	47	51	55	60	58	
	普通建設事業費	191	215	252	199	241	377	232	219	
	うち 中央通り再編事業	34	53	53	14			7		
	うち 知と交流の拠点施設(新図書館等拠点施設)				9	54	100			
	うち 大学等拠点施設				2	5	88	88	88	
	うち ドーム改修				5	22	38			
	維持補修費	35	31	32	33	33	33	33	33	
	補助費等(公営企業等含む)	154	205	171	166	167	167	167	167	
	繰出金	99	103	110	109	110	110	110	110	
	うち 国民健康保険	20	19	19	18	18	18	18	18	
うち 介護保険	35	38	42	42	42	42	42	42		
うち 後期高齢者医療	38	40	43	44	44	45	45	45		
積立金	35	43	14	18	16	16	15	5		
うち 都市基盤・公共施設等整備基金	1	15	1	1	1	1	1	0		
うち アセットマネジメント基金	10	10	10	10	10	10	9	0		
その他	241	271	270	252	255	253	251	254		
計(B)	1,396	1,536	1,522	1,450	1,512	1,641	1,511	1,479		
収支差(C)(A-B)	51	8	0	5	△9	2	△5	13		